

MITSUBISHI ELECTRIC ENGINEERING

RFIDインタフェースユニット

形名

ECLEF-V680D2

FBライブラリ リファレンスマニュアル

(MELSEC-Qシリーズ用)

Products for Monitoring and Traceability



CC-Link IE Field

《目次》

リファレンスマニュアル改訂履歴.....	2
1. 概要.....	3
1.1 FB ライブラリ概要.....	3
1.2 FB ライブラリ機能内容.....	3
1.3 システム構成例.....	4
1.4 CC-Link IE Field Network システムマスタ局のネットワークパラメータ設定.....	5
1.4.1 ネットワークパラメータの設定.....	5
1.4.2 ネットワーク構成設定.....	6
1.4.3 リフレッシュパラメータの設定.....	7
1.5 グローバルラベル設定.....	8
1.6 インタロックプログラムの作成.....	9
1.7 関連マニュアル.....	9
1.8 お願い.....	9
2. FB ライブラリ詳細.....	10
2.1 P+MEE-ECLEF-V680D2_InitDataSet (イニシャルデータ設定).....	10
2.2 P+MEE-ECLEF-V680D2_Read (ID タグのリード).....	18
2.3 P+MEE-ECLEF-V680D2_Write (ID タグのライト).....	25
2.4 P+MEE-ECLEF-V680D2_Fill (ID タグのデータフィル).....	33
2.5 P+MEE-ECLEF-V680D2_UIDRead (ID タグの UID リード).....	40
2.6 P+MEE-ECLEF-V680D2_MeasureNoise (ノイズ測定).....	46
2.7 P+MEE-ECLEF-V680D2_InitDataRead (イニシャルデータリード).....	52
2.8 P+MEE-ECLEF-V680D2_StatusRead (ユニット状態読出し).....	60
2.9 P+MEE-ECLEF-V680D2_Copy (ID タグ間のコピー).....	65
付録 1. 2 枚以上のマスタ・ローカルユニットで FB を使用する方法.....	71
付録 1.1 ネットワークパラメータの入力.....	72
付録 1.2 グローバルラベルの設定.....	75
付録 1.3 2 枚目用 FB を作成するための MELSOFT Library をコピー.....	76
付録 1.4 2 枚目用 FB を作成するためのデバイス置換.....	77
付録 2. FB ライブラリ使用例.....	78

リファレンスマニュアル改訂履歴

※取扱説明書番号は、本説明書の裏表紙の左下に記載してあります。

改訂年月	※取扱説明書番号	改訂内容
2015年10月	50CM-D180203-A	新規作成
2023年 9月	50CM-D180203-B	表紙と裏表紙のデザイン変更

本書によって、工業所有権その他の権利の実施に対する保証、または実施権を許諾するものではありません。また本書の掲載内容の使用により起因する工業所有権上の諸問題については、当社は一切その責任を負うことができません。

©2015 (2023) MITSUBISHI ELECTRIC ENGINEERING COMPANY LIMITED ALL RIGHTS RESERVED

1. 概要

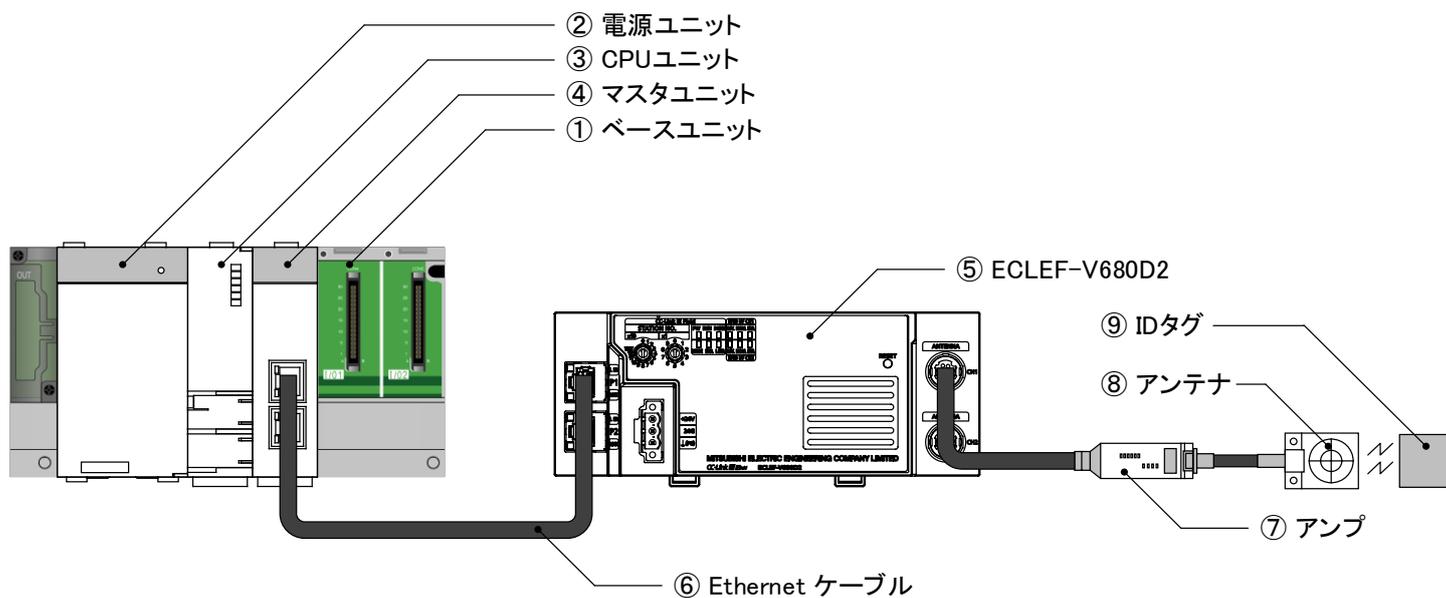
1.1 FB ライブラリ概要

本 FB ライブラリは、MELSEC CC-Link IE Field Network システムを利用して、CC-Link IE Field Network 用オムロン V680 シリーズ対応 RFID インタフェースユニット ECLEF-V680D2 を使用するシステムの FB ライブラリです。

1.2 FB ライブラリ機能内容

No.	項目	内容
1	P+MEE-ECLEF-V680D2_InitDataSet	ユニットのイニシャルデータを設定します。 ※ 電源投入後またはリセット解除後、必ず最初に実行してください。
2	P+MEE-ECLEF-V680D2_Read	ID タグからデータを読み出します。
3	P+MEE-ECLEF-V680D2_Write	ID タグヘデータを書込みます。
4	P+MEE-ECLEF-V680D2_Fill	指定したデータで ID タグを初期化します。
5	P+MEE-ECLEF-V680D2_UIDRead	ID タグの UID(個別識別番号)を読み出します。
6	P+MEE-ECLEF-V680D2_MeasureNoise	アンテナ周囲のノイズ環境を測定します。
7	P+MEE-ECLEF-V680D2_InitDataRead	イニシャルデータを読み出します。
8	P+MEE-ECLEF-V680D2_StatusRead	ユニット状態を読み出します。
9	P+MEE-ECLEF-V680D2_Copy	ID タグ間のコピーを行います。

1.3 システム構成例



No.	機器名	説明						
①	シーケンサ	ベースユニット (MELSEC-L シリーズの場合は不要です)						
②		電源ユニット						
③		CPU ユニット						
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>シリーズ</th> <th>モデル</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>MELSEC-Q シリーズ</td> <td>ユニバーサルモデル QCPU</td> </tr> <tr> <td>MELSEC-L シリーズ</td> <td>LCPU ※1</td> </tr> </tbody> </table>	シリーズ	モデル	MELSEC-Q シリーズ	ユニバーサルモデル QCPU	MELSEC-L シリーズ	LCPU ※1
シリーズ	モデル							
MELSEC-Q シリーズ	ユニバーサルモデル QCPU							
MELSEC-L シリーズ	LCPU ※1							
		※1 シリアル No. の上 5 桁が“13012”以降						
④	マスタ・ローカルユニット	CC-Link IE Field Network システムマスタ・ローカルユニット						
⑤	ECLEF-V680D2	CC-Link IE Field Network 用オムロン V680 シリーズ対応 RFID インタフェースユニット						
⑥	Ethernet ケーブル	CC-Link IE Field Network 用 Ethernet ケーブル						
⑦	RFID アンプ	オムロン V680 シリーズアンプ						
⑧	RFID アンテナ	オムロン V680 シリーズアンテナ						
⑨	ID タグ	オムロン V680 シリーズ ID タグ						

1.4 CC-Link IE Field Network システムマスタ局のネットワークパラメータ設定

1.3 項「システム構成例」に基づくマスタ局のネットワークパラメータ設定の内容を説明します。GX Works2 を用いて、以下の項目を設定します。

1.4.1 ネットワークパラメータの設定

項目	内容
ネットワーク種別	局種別を設定します。 「CC IE Field (マスタ局)」を選択します。
先頭 I/ONo.	マスタユニットの先頭入出力番号を、16 点単位で設定します。 「0000」を設定します。
ネットワーク No.	ネットワーク No. を設定します。 「1」を設定します。
総(子)局数	「1」を設定します。
モード	「オンライン(標準モード)」を設定します。

Q シリーズのネットワークパラメータ



1.4.2 ネットワーク構成設定

項目	内容
局番	1
局種別	「インテリジェントデバイス局」を設定します。
RX/R _Y 設定	以下のように設定します。 点数: 32 先頭: 0000
R _{Ww} /R _{Wr} 設定	以下のように設定します。 点数: 1024 先頭: 0000

ネットワーク構成を設定します。

割付方法
 点数/先頭
 先頭/最終

リフレッシュデバイスの表示欄の内容は、リフレッシュパラメータの設定内容に従って変更されます。
 リフレッシュパラメータを変更した場合は、リフレッシュパラメータを設定終了後、本画面を開きなおしてください。

台数	局番	局種別	RX/R _Y 設定			R _{Ww} /R _{Wr} 設定			リフレッシュデバイス				予約/エラー無効局	
			点数	先頭	最終	点数	先頭	最終	RX	R _Y	R _{Ww}	R _{Wr}		
0	0	マスタ局												
1	1	インテリジェントデバイス局	32	0000	001F	1024	0000	03FF	X1000(32点)	Y1000(32点)	W600(1024点)	W100(1024点)	設定なし	

1. 4. 3 リフレッシュパラメータの設定

項目	内容
特殊リレー(SB) リフレッシュデバイス	特殊リレー(SB)の先頭デバイス No.を設定します。 「SB0」を設定します。
特殊レジスタ(SW) リフレッシュデバイス	特殊レジスタ(SW)の先頭デバイス No.を設定します。 「SW0」を設定します。
リモート入力(RX) リフレッシュデバイス	リモートユニットに割り当てるリモート入力(RX)の先頭デバイス No.を設定します。 「X1000」を設定します。
リモート出力(RY) リフレッシュデバイス	リモートユニットに割り当てるリモート出力(RY)の先頭デバイス No.を設定します。 「Y1000」を設定します。
リモートレジスタ(RW _r) リフレッシュデバイス	リモートユニットに割り当てるリモートレジスタ(RW _r)の先頭デバイス No.を設定します。 「W100」を設定します。
リモートレジスタ(RW _w) リフレッシュデバイス	リモートユニットに割り当てるリモートレジスタ(RW _w)の先頭デバイス No.を設定します。 「W600」を設定します。

[PRG]R 書込 MAIN (1417)ステップ * デバイス/バッファメモリ括モニター-1 ネットワークパラメータ Ethernet/CC I. ネット

割付方法
 点数/先頭
 先頭/最終

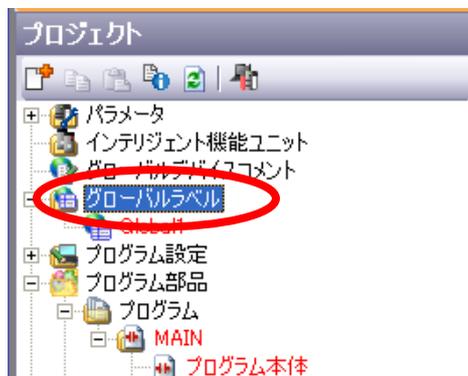
	リンク側				↔	CPU側			
	デバイス名	点数	先頭	最終		デバイス名	点数	先頭	最終
SB転送	SB	512	0000	01FF	↔	SB	512	0000	01FF
SW転送	SW	512	0000	01FF	↔	SW	512	0000	01FF
転送1	RX	2048	0000	07FF	↔	X	2048	1000	17FF
転送2	RY	2048	0000	07FF	↔	Y	2048	1000	17FF
転送3	RW _r	1280	0000	04FF	↔	W	1280	000100	0005FF
転送4	RW _w	1280	0000	04FF	↔	W	1280	000600	000AFF
転送5					↔				
転送6					↔				
転送7					↔				
転送8					↔				

デフォルト チェック 設定終了 キャンセル

1.5 グローバルラベル設定

本 FB を使用する際は、以下のグローバルラベルの設定が必要です。グローバルラベルの設定を説明します。

(1) ナビゲーションウィンドウのプロジェクトタブにある「グローバルラベル」を選択します。



(2) M_RY リモート出力(RY)の設定を行います。

項目	内容
クラス	「VAR_GLOBAL」を選択します。
ラベル名	「M_RY」を入力します。
データ型	「ビット」を選択します。
デバイス	1.4.1 項にて入力したリモート出力(RY)に「Z9」を付加して入力します。 「Y1000Z9」を入力します。

(3) M_RWw リモートレジスタ(RWw)の設定を行います。

項目	内容
クラス	「VAR_GLOBAL」を選択します。
ラベル名	「M_RWw」を入力します。
データ型	「ワード[符号付き]」を選択します。
デバイス	1.4.1 項にて入力したリモート出力(RWw)に「Z8」を付加して入力します。 「W600Z8」を入力します。

	クラス	ラベル名	データ型	定数値	デバイス	コメント
1	VAR_GLOBAL	M_RY	ビット	...	Y1000Z9	RYリフレッシュデバイス
2	VAR_GLOBAL	M_RWw	ワード[符号付き]	...	W600Z8	RWwリフレッシュデバイス
3				...		
4				...		
5				...		

1.6 インタロックプログラムの作成

本 FB を使用する際は、インタロックプログラムの作成が必要です。以下にインタロックプログラムの例を示します。

サイクリック伝送のプログラムでは、下記のリンク特殊リレー(SB)およびリンク特殊レジスタ(SW)でインタロックをとってください。

- ・ CC-Link IE フィールドネットワーク側の自局のデータリンク状態 (SB0049)
- ・ CC-Link IE フィールドネットワーク側の各局のデータリンク状態 (SW00B0～SW00B7)

例 インタロック例 (CC-Link IE Field Network 局番 1)



1.7 関連マニュアル

- ・ ECLEF-V680D2 ユーザーズマニュアル(詳細編) (50CM-D180188)
- ・ MELSEC-Q CC-Link IE フィールドネットワークマスタ・ローカルユニットユーザーズマニュアル (SH-080916)
- ・ MELSEC-L CC-Link IE フィールドネットワークマスタ・ローカルユニットユーザーズマニュアル (SH-080971)

1.8 お願い

ご使用にあたりましては、必ず対象製品のユーザーズマニュアルをお読みいただきますようお願い申し上げます。

2. FB ライブラリ詳細

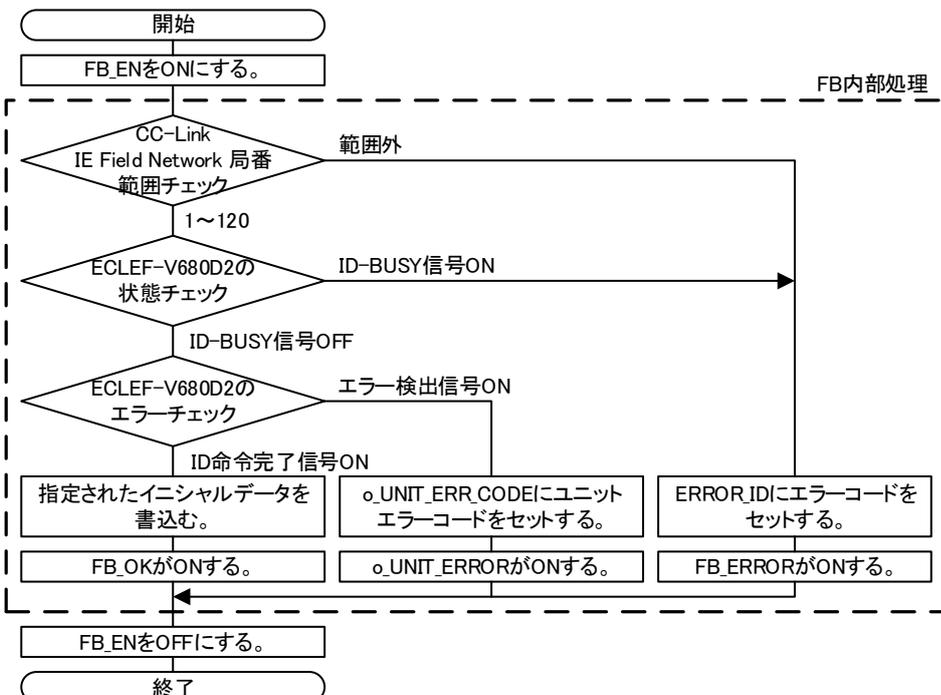
2.1 P+MEE-ECLEF-V680D2_InitDataSet (イニシャルデータ設定)

名称

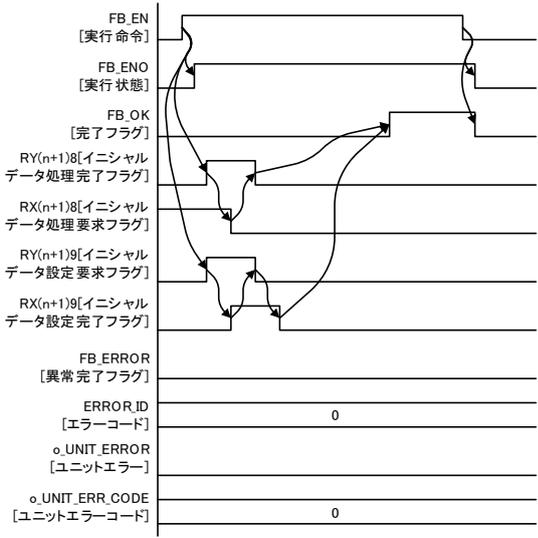
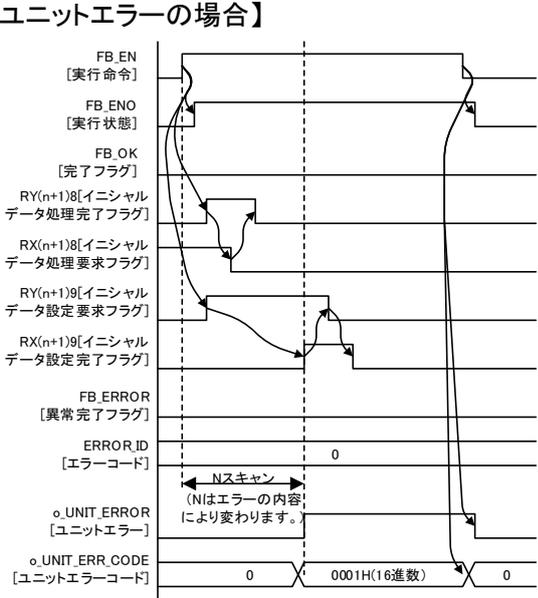
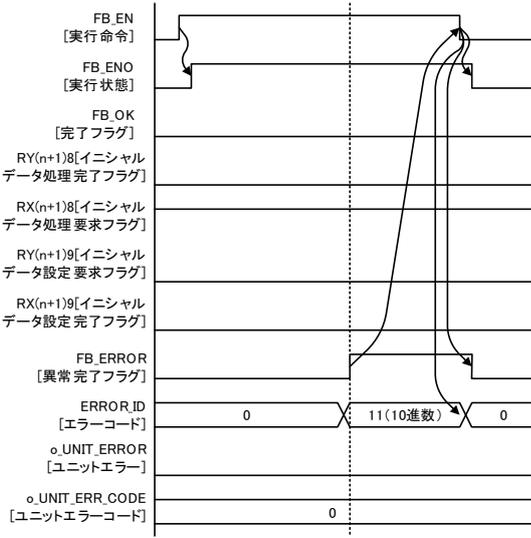
P+MEE-ECLEF-V680D2_InitDataSet

機能内容

項目	内容																																																	
機能概要	ユニットのイニシャルデータを設定します。 イニシャル処理実行時またはイニシャルデータ変更時に実行してください。 ※ 電源投入後またはリセット解除後、必ず最初に実行してください。																																																	
シンボル	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="4">P+MEE-ECLEF-V680D2_InitDataSet</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: right;">実行命令</td> <td style="border: 1px solid black;">B:FB_EN</td> <td style="border: 1px solid black;">FB_ENO:B</td> <td style="text-align: left;">実行状態</td> </tr> <tr> <td style="text-align: right;">マスタユニット装着 XYアドレス</td> <td style="border: 1px solid black;">W:i_Start_IO_No</td> <td style="border: 1px solid black;">FB_OK:B</td> <td style="text-align: left;">完了フラグ</td> </tr> <tr> <td style="text-align: right;">CC-Link IE Field Network 局番</td> <td style="border: 1px solid black;">W:i_Station_No</td> <td style="border: 1px solid black;">FB_ERROR:B</td> <td style="text-align: left;">異常完了フラグ</td> </tr> <tr> <td style="text-align: right;">交信指定(CH1)</td> <td style="border: 1px solid black;">W:i_CH1_Communicat</td> <td style="border: 1px solid black;">ERROR_ID:W</td> <td style="text-align: left;">エラーコード</td> </tr> <tr> <td style="text-align: right;">交信設定(CH1)</td> <td style="border: 1px solid black;">W:i_CH1_ComSetting</td> <td style="border: 1px solid black;">o_UNIT_ERROR:B</td> <td style="text-align: left;">ユニットエラー</td> </tr> <tr> <td style="text-align: right;">処理指定(CH1)</td> <td style="border: 1px solid black;">W:i_CH1_Prcsing_No</td> <td style="border: 1px solid black;">o_UNIT_ERR_CODE:W</td> <td style="text-align: left;">ユニットエラーコード</td> </tr> <tr> <td style="text-align: right;">オート系コマンド 待ち時間設定(CH1)</td> <td style="border: 1px solid black;">W:i_CH1_Wait</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: right;">交信指定(CH2)</td> <td style="border: 1px solid black;">W:i_CH2_Communicat</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: right;">交信設定(CH2)</td> <td style="border: 1px solid black;">W:i_CH2_ComSetting</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: right;">処理指定(CH2)</td> <td style="border: 1px solid black;">W:i_CH2_Prcsing_No</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: right;">オート系コマンド 待ち時間設定(CH2)</td> <td style="border: 1px solid black;">W:i_CH2_Wait</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		P+MEE-ECLEF-V680D2_InitDataSet				実行命令	B:FB_EN	FB_ENO:B	実行状態	マスタユニット装着 XYアドレス	W:i_Start_IO_No	FB_OK:B	完了フラグ	CC-Link IE Field Network 局番	W:i_Station_No	FB_ERROR:B	異常完了フラグ	交信指定(CH1)	W:i_CH1_Communicat	ERROR_ID:W	エラーコード	交信設定(CH1)	W:i_CH1_ComSetting	o_UNIT_ERROR:B	ユニットエラー	処理指定(CH1)	W:i_CH1_Prcsing_No	o_UNIT_ERR_CODE:W	ユニットエラーコード	オート系コマンド 待ち時間設定(CH1)	W:i_CH1_Wait			交信指定(CH2)	W:i_CH2_Communicat			交信設定(CH2)	W:i_CH2_ComSetting			処理指定(CH2)	W:i_CH2_Prcsing_No			オート系コマンド 待ち時間設定(CH2)	W:i_CH2_Wait		
P+MEE-ECLEF-V680D2_InitDataSet																																																		
実行命令	B:FB_EN	FB_ENO:B	実行状態																																															
マスタユニット装着 XYアドレス	W:i_Start_IO_No	FB_OK:B	完了フラグ																																															
CC-Link IE Field Network 局番	W:i_Station_No	FB_ERROR:B	異常完了フラグ																																															
交信指定(CH1)	W:i_CH1_Communicat	ERROR_ID:W	エラーコード																																															
交信設定(CH1)	W:i_CH1_ComSetting	o_UNIT_ERROR:B	ユニットエラー																																															
処理指定(CH1)	W:i_CH1_Prcsing_No	o_UNIT_ERR_CODE:W	ユニットエラーコード																																															
オート系コマンド 待ち時間設定(CH1)	W:i_CH1_Wait																																																	
交信指定(CH2)	W:i_CH2_Communicat																																																	
交信設定(CH2)	W:i_CH2_ComSetting																																																	
処理指定(CH2)	W:i_CH2_Prcsing_No																																																	
オート系コマンド 待ち時間設定(CH2)	W:i_CH2_Wait																																																	
対象機器	対象ユニット	ECLEF-V680D2																																																
	対象 CC-Link IE Field Network システム	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>シリーズ</th> <th>モデル</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>MELSEC-Q シリーズ</td> <td>QJ71GF11-T2 ※1 QD77GF16 ※2</td> </tr> <tr> <td>MELSEC-L シリーズ</td> <td>LJ71GF11-T2 ※1</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 シリアル No. の上 5 桁が“14102”以降 ※2 シリアル No. の上 5 桁が“14111”以降</p>	シリーズ	モデル	MELSEC-Q シリーズ	QJ71GF11-T2 ※1 QD77GF16 ※2	MELSEC-L シリーズ	LJ71GF11-T2 ※1																																										
シリーズ	モデル																																																	
MELSEC-Q シリーズ	QJ71GF11-T2 ※1 QD77GF16 ※2																																																	
MELSEC-L シリーズ	LJ71GF11-T2 ※1																																																	

項目	内容							
	対象 CPU	<table border="1"> <thead> <tr> <th>シリーズ</th> <th>モデル</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>MELSEC-Q シリーズ</td> <td>ユニバーサルモデル QCPU</td> </tr> <tr> <td>MELSEC-L シリーズ</td> <td>LCPU ※1</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 シリアル No. の上 5 桁が“13012”以降</p>	シリーズ	モデル	MELSEC-Q シリーズ	ユニバーサルモデル QCPU	MELSEC-L シリーズ	LCPU ※1
シリーズ	モデル							
MELSEC-Q シリーズ	ユニバーサルモデル QCPU							
MELSEC-L シリーズ	LCPU ※1							
対象機器	GX Works2	<table border="1"> <thead> <tr> <th>シリーズ</th> <th>モデル</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>MELSEC-Q シリーズ</td> <td>Version1.11M 以降</td> </tr> <tr> <td>MELSEC-L シリーズ</td> <td>Version1.20W 以降</td> </tr> </tbody> </table>	シリーズ	モデル	MELSEC-Q シリーズ	Version1.11M 以降	MELSEC-L シリーズ	Version1.20W 以降
シリーズ	モデル							
MELSEC-Q シリーズ	Version1.11M 以降							
MELSEC-L シリーズ	Version1.20W 以降							
記述言語	ラダー							
ステップ数	893Step(MELSEC-Q シリーズ ユニバーサルモデルの場合) ※ プログラムに組み込んだ FB のステップ数は、使用する CPU モデルや、入出力定義によって異なります。							
機能説明	<p>①FB_EN(実行命令)の ON で、設定した各種イニシャルデータを ECLEF-V680D2 に書込みます。書込みが完了すると FB_OK(完了フラグ)が ON します。</p>  <p>②エラーの場合は、FB_ERROR(異常完了フラグ)が ON し、FB の処理を中断します。また、ERROR_ID にはエラーコードをセットします。エラーコードの詳細は、エラーコード一覧を参照してください。</p> <p>③ECLEF-V680D2 がエラーとなった場合は、o_UNIT_ERROR(ユニットエラー)が ON し、処理を中断します。また、o_UNIT_ERR_CODE(ユニットエラーコード)にはエラーコードをセットします。エラーコードの詳細は、ECLEF-V680D2 ユーザーズマニュアル(詳細編)を参照してください。</p>							
FB コンパイル方式	マクロ型							

項目	内容
制約事項・注意事項等	<p>① 電源投入後またはリセット解除後、必ず最初に実行してください。</p> <p>② 本 FB は、エラーを復帰する処理は含んでいません。エラー復帰処理については、お客様のシステムや要求動作に合わせて、別途作成してください。</p> <p>③ CC-Link IE Field Network パラメータ設定のリフレッシュデバイスの設定を 1.4 項に従って行ってください。</p> <p>④ グローバルラベルの設定を 1.5 項の内容に従って行ってください。</p> <p>⑤ 割り込みプログラム内で FB を使用することはできません。</p> <p>⑥ 本 FB を複数使用する場合、対象 CC-Link IE Field Network 局番が重複しないように注意してください。</p> <p>⑦ 1 回しか実行されないプログラム(例えば、サブルーチンプログラムや FOR~NEXT)で FB を使用すると、FB_EN(実行命令)の OFF 処理を実行することができず正常な動作ができなくなるため、FB_EN(実行命令)の OFF を実行できるプログラムで使用してください。</p> <p>⑧ 本 FB ではインデックスレジスタ Z5~Z9 を使用しています。割り込みプログラムを使用する場合は、当インデックスレジスタを使用しないでください。</p> <p>⑨ FB_EN(実行命令)ON 中は、以下の値を変更しないでください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ i_Start_IO_No (マスタユニット装着 XY アドレス) ・ i_Station_No (CC-Link IE Field Network 局番) ・ i_CH1_Communicat, i_CH2_Communicat (交信指定) ・ i_CH1_ComSetting, i_CH2_ComSetting (交信設定) ・ i_CH1_Prcsing_No, i_CH2_Prcsing_No (処理指定) ・ i_CH1_Wait, i_CH2_Wait (オート系コマンド待ち時間設定) <p>⑩ FB 内部でインデックス修飾を用いて Y 信号を操作しているため、本 FB を複数個使用した場合、コンパイル時に 2 重コイルワーニングが発生することがありますが、使用上特に問題はありません。</p> <p>⑪ CC-Link IE Field Network システム用 FB は 1 枚のマスタ・ローカルユニットしか制御できません。2 枚以上のマスタ・ローカルユニットを FB で制御する場合には「付録 1 2 枚以上のマスタ・ローカルユニットで FB を使用する方法」をご参照ください。</p> <p>⑫ 本 FB の処理が完了しない場合、i_Start_IO_No(マスタユニット装着 XY アドレス)が間違っていないか、または i_Station_No(CC-Link IE Field Network 局番)はネットワークの局番と一致しているか、または RFID インタフェースユニットのリモート出力(RY)を ON していないか確認ください。</p>
FB 動作	パルス型(複数スキャン実行型)

項目	内容	
入出力信号の動き	<p>【正常終了の場合】</p>  <p>【ユニットエラーの場合】</p> 	<p>【異常終了の場合】</p>  <p>n: 局番設定により、マスタユニットに割り付けられたアドレス</p>
関連マニュアル	<p>ECLEF-V680D2 ユーザーズマニュアル(詳細編) (50CM-D180188)</p> <p>MELSEC-Q CC-Link IE フィールドネットワークマスタ・ローカルユニットユーザーズマニュアル (SH-080916)</p> <p>MELSEC-L CC-Link IE フィールドネットワークマスタ・ローカルユニットユーザーズマニュアル (SH-080971)</p>	

エラーコード

■エラーコード一覧

エラーコード	内容	処置方法
11(10進数)	i_Station_No(CC-Link IE Field Network 局番)の指定が範囲外です。	CC-Link IE Field Network 局番は 1~120 を指定してください。
14(10進数)	ECLEF-V680D2 が ID 命令実行中です。	ID 命令実行が終了してから FB を起動してください。

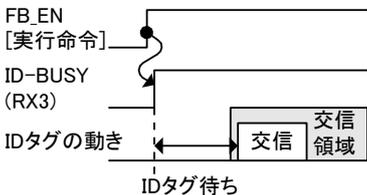
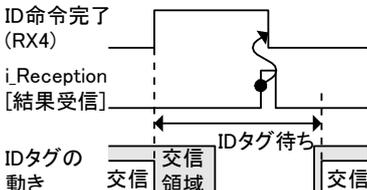
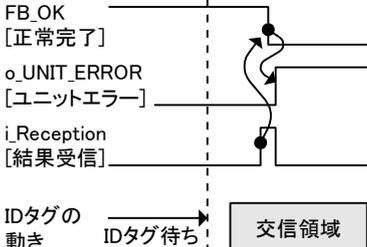
使用ラベル

■入カラベル

名称	変数名	データ型	有効範囲	説明
実行命令	FB_EN	ビット	—	ON:FB を起動する。 OFF:FB を起動しない。
マスタユニット装着 XY アドレス	i_Start_IO_No	ワード	対象の CPU ユニットの入出力点数範囲によります。 詳細範囲は、対象 CPU のユーザーズマニュアルを参照してください。	対象の CC-Link IE Field Network システムマスタ・ローカルユニットが装着されている先頭 XY アドレスを 16 進数で指定します。(例えば X10 の場合、H10 を入力してください)
CC-Link IE Field Network 局番	i_Station_No	ワード	1~120(10進数)	接続する ECLEF-V680D2 の局番を入力します。
交信指定	i_CH1_Communicat (CH1) i_CH2_Communicat (CH2)	ワード	0:トリガ 1:オート 2:リピートオート 3:FIFOトリガ 4:FIFOリピート	ID タグに対する交信方法を指定します。



名称	変数名	データ型	有効範囲	説明										
交信設定	i_CH1_ComSetting (CH1) i_CH2_ComSetting (CH2)	ワード	0000~000F (16進数)	<p>ID タグに対する交信設定を選択します。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>ビット</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>0</td> <td>ライトベリファイ設定 0: 実行する 1: 実行しない</td> </tr> <tr> <td>1</td> <td>ID タグ交信速度設定 0: 標準モード 1: 高速モード</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>ライトプロテクト設定 0: 有効 1: 無効</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>リード/ライトデータコード設定 0: ASCII/HEX 変換なし 1: ASCII/HEX 変換あり</td> </tr> </tbody> </table>	ビット	内容	0	ライトベリファイ設定 0: 実行する 1: 実行しない	1	ID タグ交信速度設定 0: 標準モード 1: 高速モード	2	ライトプロテクト設定 0: 有効 1: 無効	3	リード/ライトデータコード設定 0: ASCII/HEX 変換なし 1: ASCII/HEX 変換あり
ビット	内容													
0	ライトベリファイ設定 0: 実行する 1: 実行しない													
1	ID タグ交信速度設定 0: 標準モード 1: 高速モード													
2	ライトプロテクト設定 0: 有効 1: 無効													
3	リード/ライトデータコード設定 0: ASCII/HEX 変換なし 1: ASCII/HEX 変換あり													
処理指定	i_CH1_Prcsing_No (CH1) i_CH2_Prcsing_No (CH2)	ワード	0,1	<p>ID タグに対するデータ格納順を指定します。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>コマンド</th> <th>処理指定</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>リード</td> <td rowspan="3">データ格納順 0: 上位→下位 1: 下位→上位</td> </tr> <tr> <td>ライト</td> </tr> <tr> <td>データフィル</td> </tr> </tbody> </table> <p>詳細は、各コマンドの機能説明を参照してください。 上記コマンド以外は、処理指定を使用しません。</p>	コマンド	処理指定	リード	データ格納順 0: 上位→下位 1: 下位→上位	ライト	データフィル				
コマンド	処理指定													
リード	データ格納順 0: 上位→下位 1: 下位→上位													
ライト														
データフィル														

名称	変数名	データ型	有効範囲	説明
オート系コマンド 待ち時間設定	i_CH1_Wait (CH1) i_CH2_Wait (CH2)	ワード	1~9999, 0 (10進数)	<p>i_CH1_Communicat, または i_CH2_Communicat (交信指定)がオート系コマンド(オート、リピートオート、FIFO リピート)の場合に、IDタグの検出待ち時間を0.1秒単位で設定します。 (例えば30秒の場合、K300を入力してください。) 0または有効範囲外の値を設定した場合はIDタグからの応答があるまで検出待ちをします。 各FBでコマンドを実行するときの待ち時間を下図に示します。</p> <p>【オート、リピートオート、FIFOリピートの場合】</p>  <p>【リピートオート、FIFOリピートの場合】</p>  <p>i_Reception(結果受信)ON前に設定した待ち時間が経過したときは、i_Reception(結果受信)ON後にo_UNIT_ERROR(ユニットエラー)がONします。</p> 

■出カラベル

名称	変数名	データ型	初期値	説明
実行状態	FB_ENO	ビット	OFF	ON:FB 実行中。 OFF:FB 未実行。
完了フラグ	FB_OK	ビット	OFF	ON:FB 正常完了。 OFF:FB 未完了。
異常完了フラグ	FB_ERROR	ビット	OFF	ON:FB 異常完了。 OFF:FB 未完了。
エラーコード	ERROR_ID	ワード	0	FB 内で発生したエラーコードを格納します。
ユニットエラー	o_UNIT_ERROR	ビット	OFF	ON:イニシャルデータ設定値エラー。 OFF:正常。
ユニットエラーコード	o_UNIT_ERR_CODE	ワード	0	RFID インタフェースユニットで発生したエラー詳細を格納します。

FB のバージョンアップ履歴

バージョン	日付	内容
1.00A	2015/10/05	新規作成

お願い

本章はファンクションブロックの機能について記載しております。

ユニットやシーケンサ CPU の使用上の制限事項、組み合わせによる制限事項などについては記載しておりません。

ご使用にあたりましては、必ず対象製品のユーザーズマニュアルをお読みいただきますようお願い申し上げます。

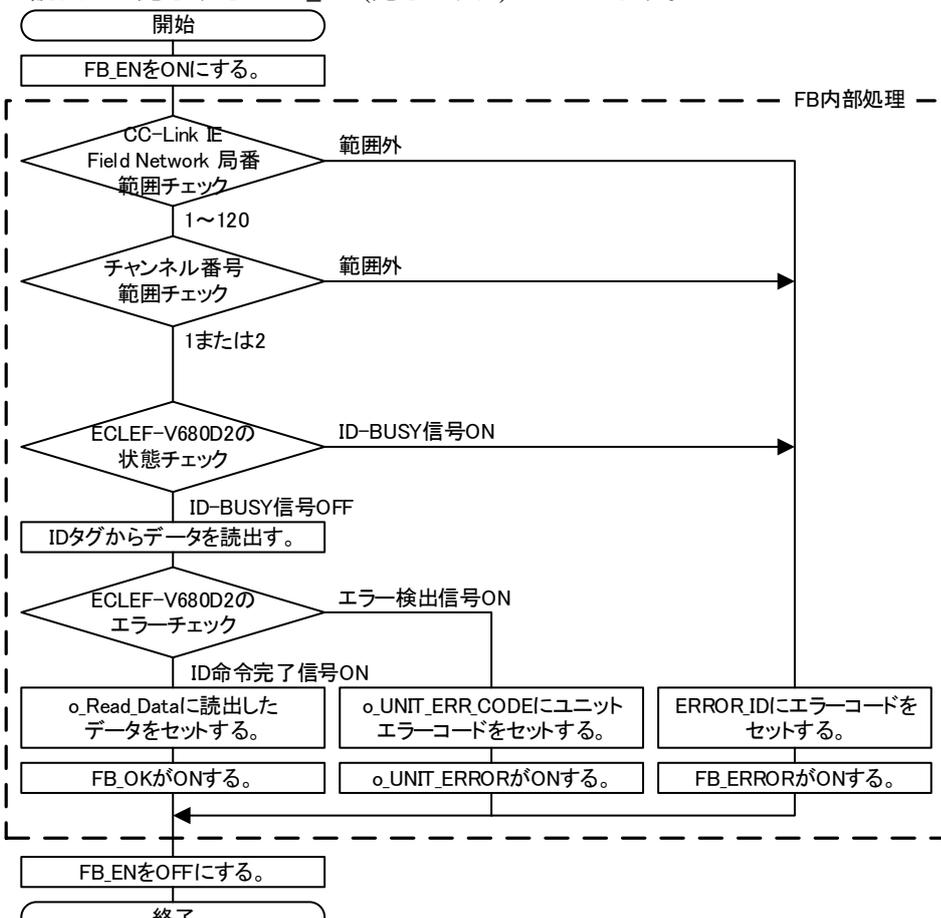
2.2 P+MEE-ECLEF-V680D2_Read (ID タグのリード)

名称

P+MEE-ECLEF-V680D2_Read

機能内容

項目	内容																																					
機能概要	ID タグからデータを読み出します。																																					
シンボル	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="4">P+MEE-ECLEF-V680D2_Read</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: right;">実行命令</td> <td>B:FB_EN</td> <td>FB_ENO:B</td> <td>実行状態</td> </tr> <tr> <td style="text-align: right;">マスタユニット装着 XYアドレス</td> <td>W:i_Start_IO_No</td> <td>FB_OK:B</td> <td>完了フラグ</td> </tr> <tr> <td style="text-align: right;">CC-Link IE Field Network 局番</td> <td>W:i_Station_No</td> <td>FB_ERROR:B</td> <td>異常完了フラグ</td> </tr> <tr> <td style="text-align: right;">チャンネル番号</td> <td>W:i_CH</td> <td>ERROR_ID:W</td> <td>エラーコード</td> </tr> <tr> <td style="text-align: right;">先頭アドレス指定</td> <td>W:i_Address_No</td> <td>o_UNIT_ERROR:B</td> <td>ユニットエラー</td> </tr> <tr> <td style="text-align: right;">処理点数指定</td> <td>W:i_Read_Byte</td> <td>o_UNIT_ERR_CODE:W</td> <td>ユニットエラーコード</td> </tr> <tr> <td style="text-align: right;">結果受信</td> <td>B:i_Reception</td> <td>o_Read_Data:W</td> <td>読み出しデータ</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>o_ID_Com_End:B</td> <td>ID通信完了</td> </tr> </tbody> </table>		P+MEE-ECLEF-V680D2_Read				実行命令	B:FB_EN	FB_ENO:B	実行状態	マスタユニット装着 XYアドレス	W:i_Start_IO_No	FB_OK:B	完了フラグ	CC-Link IE Field Network 局番	W:i_Station_No	FB_ERROR:B	異常完了フラグ	チャンネル番号	W:i_CH	ERROR_ID:W	エラーコード	先頭アドレス指定	W:i_Address_No	o_UNIT_ERROR:B	ユニットエラー	処理点数指定	W:i_Read_Byte	o_UNIT_ERR_CODE:W	ユニットエラーコード	結果受信	B:i_Reception	o_Read_Data:W	読み出しデータ			o_ID_Com_End:B	ID通信完了
P+MEE-ECLEF-V680D2_Read																																						
実行命令	B:FB_EN	FB_ENO:B	実行状態																																			
マスタユニット装着 XYアドレス	W:i_Start_IO_No	FB_OK:B	完了フラグ																																			
CC-Link IE Field Network 局番	W:i_Station_No	FB_ERROR:B	異常完了フラグ																																			
チャンネル番号	W:i_CH	ERROR_ID:W	エラーコード																																			
先頭アドレス指定	W:i_Address_No	o_UNIT_ERROR:B	ユニットエラー																																			
処理点数指定	W:i_Read_Byte	o_UNIT_ERR_CODE:W	ユニットエラーコード																																			
結果受信	B:i_Reception	o_Read_Data:W	読み出しデータ																																			
		o_ID_Com_End:B	ID通信完了																																			
対象機器	対象ユニット	ECLEF-V680D2																																				
	対象 CC-Link IE Field Network システム	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>シリーズ</th> <th>モデル</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>MELSEC-Q シリーズ</td> <td>QJ71GF11-T2 ※1 QD77GF16 ※2</td> </tr> <tr> <td>MELSEC-L シリーズ</td> <td>LJ71GF11-T2 ※1</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 シリアル No. の上 5 桁が“14102”以降 ※2 シリアル No. の上 5 桁が“14111”以降</p>	シリーズ	モデル	MELSEC-Q シリーズ	QJ71GF11-T2 ※1 QD77GF16 ※2	MELSEC-L シリーズ	LJ71GF11-T2 ※1																														
シリーズ	モデル																																					
MELSEC-Q シリーズ	QJ71GF11-T2 ※1 QD77GF16 ※2																																					
MELSEC-L シリーズ	LJ71GF11-T2 ※1																																					
対象機器	対象 CPU	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>シリーズ</th> <th>モデル</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>MELSEC-Q シリーズ</td> <td>ユニバーサルモデル QCPU</td> </tr> <tr> <td>MELSEC-L シリーズ</td> <td>LCPU ※1</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 シリアル No. の上 5 桁が“13012”以降</p>	シリーズ	モデル	MELSEC-Q シリーズ	ユニバーサルモデル QCPU	MELSEC-L シリーズ	LCPU ※1																														
	シリーズ	モデル																																				
MELSEC-Q シリーズ	ユニバーサルモデル QCPU																																					
MELSEC-L シリーズ	LCPU ※1																																					
対象機器	GX Works2	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>シリーズ</th> <th>モデル</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>MELSEC-Q シリーズ</td> <td>Version1.11M 以降</td> </tr> <tr> <td>MELSEC-L シリーズ</td> <td>Version1.20W 以降</td> </tr> </tbody> </table>	シリーズ	モデル	MELSEC-Q シリーズ	Version1.11M 以降	MELSEC-L シリーズ	Version1.20W 以降																														
シリーズ	モデル																																					
MELSEC-Q シリーズ	Version1.11M 以降																																					
MELSEC-L シリーズ	Version1.20W 以降																																					
記述言語	ラダー																																					
ステップ数	1451Step(MELSEC-Q シリーズ ユニバーサルモデルの場合) ※ プログラムに組み込んだ FB のステップ数は、使用する CPU モデルや、入出力定義によって異なります。																																					

項目	内容																																		
機能説明	<p>①FB_EN(実行命令)の ON で、ID タグの i_Address_No(先頭アドレス指定)から i_Read_Byte(処理点数指定)で指定したバイト数のデータを読み出します。読み出したデータは、o_Read_Data(読み出しデータ)で指定した先頭デバイスから格納されます。読み出しが完了すると FB_OK(完了フラグ)が ON します。</p>  <p>②P+MEE-ECLEF-V680D2_InitDataSet(イニシャルデータ設定)で指定した処理指定が 0 のときは上位→下位、1 のときは下位→上位のデータ格納順になります。</p> <p>(例)</p> <table border="0" data-bbox="383 1388 1340 1612"> <tr> <td style="text-align: center;">0: 上位→下位</td> <td></td> <td style="text-align: center;">1: 下位→上位</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;"> <table border="1" style="display: inline-table; margin-right: 20px;"> <thead> <tr><th>ID タグの アドレス</th><th>メモリ</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>0010</td><td>Data1</td></tr> <tr><td>0011</td><td>Data2</td></tr> <tr><td>0012</td><td>Data3</td></tr> <tr><td>0013</td><td>Data4</td></tr> </tbody> </table> </td> <td style="text-align: center; vertical-align: middle;">→</td> <td style="text-align: center;"> <table border="1" style="display: inline-table; margin-right: 20px;"> <thead> <tr><th colspan="2">CPU ユニットの デバイス</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>Data1</td><td>Data2</td></tr> <tr><td>Data3</td><td>Data4</td></tr> </tbody> </table> </td> <td style="text-align: center; vertical-align: middle;">→</td> <td style="text-align: center;"> <table border="1" style="display: inline-table;"> <thead> <tr><th>ID タグの アドレス</th><th>メモリ</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>0010</td><td>Data1</td></tr> <tr><td>0011</td><td>Data2</td></tr> <tr><td>0012</td><td>Data3</td></tr> <tr><td>0013</td><td>Data4</td></tr> </tbody> </table> </td> </tr> </table> <p>③P+MEE-ECLEF-V680D2_InitDataSet(イニシャルデータ設定)で指定した通信指定が 2(リポートオート)、4(FIFO リポート)のときは、i_Reception(結果受信)の ON で、次の ID タグの検出を開始します。</p> <p>④エラーの場合は、FB_ERROR(異常完了フラグ)が ON し、FB の処理を中断します。また、ERROR_ID にはエラーコードをセットします。エラーコードの詳細は、エラーコード一覧を参照してください。</p>	0: 上位→下位		1: 下位→上位	<table border="1" style="display: inline-table; margin-right: 20px;"> <thead> <tr><th>ID タグの アドレス</th><th>メモリ</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>0010</td><td>Data1</td></tr> <tr><td>0011</td><td>Data2</td></tr> <tr><td>0012</td><td>Data3</td></tr> <tr><td>0013</td><td>Data4</td></tr> </tbody> </table>	ID タグの アドレス	メモリ	0010	Data1	0011	Data2	0012	Data3	0013	Data4	→	<table border="1" style="display: inline-table; margin-right: 20px;"> <thead> <tr><th colspan="2">CPU ユニットの デバイス</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>Data1</td><td>Data2</td></tr> <tr><td>Data3</td><td>Data4</td></tr> </tbody> </table>	CPU ユニットの デバイス		Data1	Data2	Data3	Data4	→	<table border="1" style="display: inline-table;"> <thead> <tr><th>ID タグの アドレス</th><th>メモリ</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>0010</td><td>Data1</td></tr> <tr><td>0011</td><td>Data2</td></tr> <tr><td>0012</td><td>Data3</td></tr> <tr><td>0013</td><td>Data4</td></tr> </tbody> </table>	ID タグの アドレス	メモリ	0010	Data1	0011	Data2	0012	Data3	0013	Data4
0: 上位→下位		1: 下位→上位																																	
<table border="1" style="display: inline-table; margin-right: 20px;"> <thead> <tr><th>ID タグの アドレス</th><th>メモリ</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>0010</td><td>Data1</td></tr> <tr><td>0011</td><td>Data2</td></tr> <tr><td>0012</td><td>Data3</td></tr> <tr><td>0013</td><td>Data4</td></tr> </tbody> </table>	ID タグの アドレス	メモリ	0010	Data1	0011	Data2	0012	Data3	0013	Data4	→	<table border="1" style="display: inline-table; margin-right: 20px;"> <thead> <tr><th colspan="2">CPU ユニットの デバイス</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>Data1</td><td>Data2</td></tr> <tr><td>Data3</td><td>Data4</td></tr> </tbody> </table>	CPU ユニットの デバイス		Data1	Data2	Data3	Data4	→	<table border="1" style="display: inline-table;"> <thead> <tr><th>ID タグの アドレス</th><th>メモリ</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>0010</td><td>Data1</td></tr> <tr><td>0011</td><td>Data2</td></tr> <tr><td>0012</td><td>Data3</td></tr> <tr><td>0013</td><td>Data4</td></tr> </tbody> </table>	ID タグの アドレス	メモリ	0010	Data1	0011	Data2	0012	Data3	0013	Data4					
ID タグの アドレス	メモリ																																		
0010	Data1																																		
0011	Data2																																		
0012	Data3																																		
0013	Data4																																		
CPU ユニットの デバイス																																			
Data1	Data2																																		
Data3	Data4																																		
ID タグの アドレス	メモリ																																		
0010	Data1																																		
0011	Data2																																		
0012	Data3																																		
0013	Data4																																		

項目	内容
	<p>⑤ ECLEF-V680D2 がエラーとなった場合は、o_UNIT_ERROR(ユニットエラー)が ON し、処理を中断します。また、o_UNIT_ERR_CODE(ユニットエラーコード)にはエラーコードをセットします。エラーコードの詳細は、ECLEF-V680D2 ユーザーズマニュアル(詳細編)を参照してください。</p> <p>⑥ 読出し処理中に FB_EN(実行命令)を OFF した場合は FB の処理を中断します。o_Read_Data(読出しデータ)には中断するまで読出したデータが格納されます。</p>
FB コンパイル方式	マクロ型
制約事項・注意事項等	<p>① 本 FB は、エラーを復帰する処理は含んでいません。エラー復帰処理については、お客様のシステムや要求動作に合わせて、別途作成してください。</p> <p>② CC-Link IE Field Network パラメータ設定のリフレッシュデバイスの設定を 1.4 項に従って行ってください。</p> <p>③ グローバルラベルの設定を 1.5 項の内容に従って行ってください。</p> <p>④ 割込みプログラム内で FB を使用することはできません。</p> <p>⑤ 本 FB を複数使用する場合、対象 CC-Link IE Field Network 局番が重複しないように注意してください。</p> <p>⑥ 1 回しか実行されないプログラム(例えば、サブルーチンプログラムや FOR~NEXT)で FB を使用すると、FB_EN(実行命令)の OFF 処理を実行することができず正常な動作ができなくなるため、FB_EN(実行命令)の OFF を実行できるプログラムで使用してください。</p> <p>⑦ 本 FB ではインデックスレジスタ Z5~Z9 およびデータレジスタ D5000~D5001 を使用していません。割込みプログラムを使用する場合は、当インデックスレジスタおよび当データレジスタを使用しないでください。</p> <p>⑧ ID タグのリードの発信指定、発信設定、処理指定およびオート系コマンド待ち時間設定は、本 FB を実行する前に P+MEE-ECLEF-V680D2_InitDataSet(イニシャルデータ設定)で指定してください。</p> <p>⑨ o_Read_Data(読出しデータ)には、読出したデータを格納するエリアの先頭デバイスを必ず指定してください。省略はできません。</p> <p>⑩ FB_EN(実行命令)ON 中は、i_Start_IO_No(マスタユニット装着 XY アドレス)、i_Station_No(CC-Link IE Field Network 局番)、i_CH(チャンネル番号)、i_Address_No(先頭アドレス指定)、i_Read_Byte(処理点数指定)の値を変更しないでください。</p> <p>⑪ P+MEE-ECLEF-V680D2_InitDataSet(イニシャルデータ設定)で指定した発信指定が 0(トリガ)、1(オート)、3(FIFO トリガ)のとき、i_Reception(結果受信)は無視されます。</p> <p>⑫ i_Reception(結果受信)にはパルスを入力してください。</p> <p>⑬ FB 内部でインデックス修飾を用いて Y 信号を操作しているため、本 FB を複数個使用した場合、コンパイル時に 2 重コイルワーニングが発生することがありますが、使用上特に問題はありません。</p> <p>⑭ CC-Link IE Field Network システム用 FB は 1 枚のマスタ・ローカルユニットしか制御できません。2 枚以上のマスタ・ローカルユニットを FB で制御する場合には項「付録 1 2 枚以上のマスタ・ローカルユニットで FB を使用する方法」をご参照ください。</p>



項目	内容
	<p>⑮ 本 FB の処理が完了しない場合、i_Start_IO_No(マスタユニット装着 XY アドレス)が間違っていないか、または i_Station_No(CC-Link IE Field Network 局番)はネットワークの局番と一致しているか、または本 FB を実行する前に P+MEE-ECLEF-V680D2_InitDataSet(イニシャルデータ設定)が完了しているか確認ください。</p>
FB 動作	パルス型(複数スキャン実行型)
入出力信号の動き	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 48%;"> <p>【正常終了の場合】 (トリガ, オート, FIFO トリガ)</p> </div> <div style="width: 48%;"> <p>【正常終了の場合】 (リピートオート, FIFO リピート)</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-top: 20px;"> <div style="width: 48%;"> <p>【異常終了の場合】</p> </div> <div style="width: 48%;"> <p>【ユニットエラーの場合】</p> </div> </div>

項目	内容
関連マニュアル	ECLEF-V680D2 ユーザーズマニュアル(詳細編) (50CM-D180188) MELSEC-Q CC-Link IE フィールドネットワークマスタ・ローカルユニットユーザーズマニュアル (SH-080916) MELSEC-L CC-Link IE フィールドネットワークマスタ・ローカルユニットユーザーズマニュアル (SH-080971)

エラーコード

■エラーコード一覧

エラーコード	内容	処置方法
11(10進数)	i_Station_No(CC-Link IE Field Network 局番)の指定が範囲外です。	CC-Link IE Field Network 局番は 1~120 を指定してください。
12(10進数)	i_CH(チャンネル番号)の指定が範囲外であるか無効な値です。	チャンネル番号は、1 または 2 を指定してください。
13(10進数)	i_Read_Byte(処理点数指定)が範囲外です。	【トリガの場合】 処理点数指定は 0001~0800(16進数)を指定してください。 【トリガ以外の場合】 1 回の ID 命令で読出し可能なデータ量を指定してください。 詳細範囲は、RFID インタフェースユニットユーザーズマニュアル(詳細編)を参照してください。
14(10進数)	ECLEF-V680D2 が ID 命令実行中です。	ID 命令実行が終了してから FB を起動してください。

使用ラベル

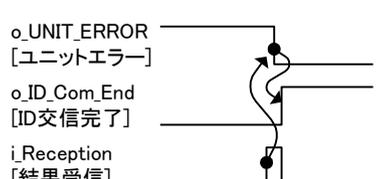
■入カラベル

名称	変数名	データ型	有効範囲	説明
実行命令	FB_EN	ビット	—	ON:FB を起動する。 OFF:FB を起動しない。
マスタユニット装着 XY アドレス	i_Start_IO_No	ワード	対象の CPU ユニットの入出力点数範囲によります。 詳細範囲は、対象 CPU のユーザーズマニュアルを参照してください。	対象の CC-Link IE Field Network システムマスタ・ローカルユニットが装着されている先頭 XY アドレスを 16 進数で指定します。(例えば X10 の場合、H10 を入力してください)

名称	変数名	データ型	有効範囲	説明
CC-Link IE Field Network 局番	i_Station_No	ワード	1～120(10進数)	接続する ECLEF-V680D2 の局番を入力します。
チャンネル番号	i_CH	ワード	1, 2	書き込みを行うチャンネル番号を指定します。
先頭アドレス指定	i_Address_No	ワード	0000～FFFF (16進数)	ID タグから読出しを行う先頭アドレスを指定します。
処理点数指定	i_Read_Byte	ワード	【トリガの場合】 0001～0800 (16進数) 【トリガ以外の場合】 1回のID命令で読出し可能なデータ量によります。 詳細範囲は、RFID インタフェースユニットユーザーズマニュアル(詳細編)を参照してください。	ID タグから読出しを行う処理バイト数を指定します。
結果受信	i_Reception	ビット	—	複数のIDタグから読出し処理を行う命令を実行した際、次の結果を受信するためにパルスを入力します。 ON: 次のIDタグの検出を開始します。

■出カラベル

名称	変数名	データ型	初期値	説明
実行状態	FB_ENO	ビット	OFF	ON: FB 実行中。 OFF: FB 未実行。
完了フラグ	FB_OK	ビット	OFF	ON: FB 正常完了。 OFF: FB 未完了。
異常完了フラグ	FB_ERROR	ビット	OFF	ON: FB 異常完了。 OFF: FB 未完了。
エラーコード	ERROR_ID	ワード	0	FB 内で発生したエラーコードを格納します。

名称	変数名	データ型	初期値	説明
ユニットエラー	o_UNIT_ERROR	ビット	OFF	ON:RFID インタフェースユニットでエラー発生。 OFF: 正常。
ユニットエラーコード	o_UNIT_ERR_CODE	ワード	0	RFID インタフェースユニットで発生したエラー詳細を格納します。
読出しデータ	o_Read_Data	ワード	0	読出したデータを格納するエリアの先頭デバイスを指定してください。 読出しデータは、i_Read_Byte(処理点数指定)で指定したバイト数のエリアに格納されます。
ID 交信完了	o_ID_Com_End	ビット	OFF	アンテナ未接続などの要因でRFID インタフェースユニット側が交信を打ち切る際、i_Reception(結果受信)ON後にONします。 

FB のバージョンアップ履歴

バージョン	日付	内容
1.00A	2015/10/05	新規作成

お願い

本章はファンクションブロックの機能について記載しております。
ユニットやシーケンサ CPU の使用上の制限事項、組み合わせによる制限事項などについては記載しておりません。
ご使用にあたりましては、必ず対象製品のユーザーズマニュアルをお読みいただきますようお願い申し上げます。

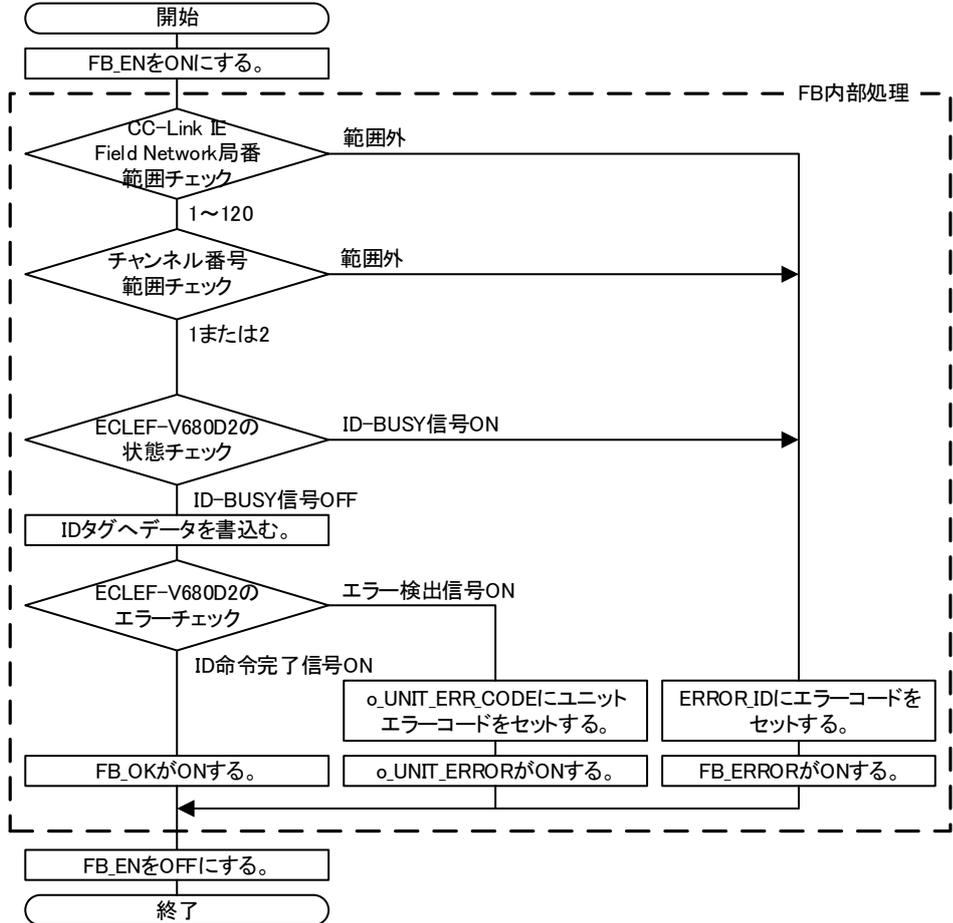
2.3 P+MEE-ECLEF-V680D2_Write (ID タグのライト)

名称

P+MEE-ECLEF-V680D2_Write

機能内容

項目	内容																																					
機能概要	ID タグヘータを書込みます。																																					
シンボル	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="4">P+MEE-ECLEF-V680D2_Write</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="width: 20%;">実行命令</td> <td style="width: 20%;">B:FB_EN</td> <td style="width: 20%;">FB_ENO:B</td> <td style="width: 40%;">実行状態</td> </tr> <tr> <td>マスタユニット装着 XYアドレス</td> <td>W:i_Start_IO_No</td> <td>FB_OK:B</td> <td>完了フラグ</td> </tr> <tr> <td>CC-Link IE Field Network 局番</td> <td>W:i_Station_No</td> <td>FB_ERROR:B</td> <td>異常完了フラグ</td> </tr> <tr> <td>チャンネル番号</td> <td>W:i_CH</td> <td>ERROR_ID:W</td> <td>エラーコード</td> </tr> <tr> <td>先頭アドレス指定</td> <td>W:i_Address_No</td> <td>o_UNIT_ERROR:B</td> <td>ユニットエラー</td> </tr> <tr> <td>処理点数指定</td> <td>W:i_Write_Byte</td> <td>o_UNIT_ERR_CODE:W</td> <td>ユニットエラーコード</td> </tr> <tr> <td>書込みデータ</td> <td>W:i_Write_Data</td> <td>o_ID_Com_End:B</td> <td>ID送信完了</td> </tr> <tr> <td>結果受信</td> <td>B:i_Reception</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		P+MEE-ECLEF-V680D2_Write				実行命令	B:FB_EN	FB_ENO:B	実行状態	マスタユニット装着 XYアドレス	W:i_Start_IO_No	FB_OK:B	完了フラグ	CC-Link IE Field Network 局番	W:i_Station_No	FB_ERROR:B	異常完了フラグ	チャンネル番号	W:i_CH	ERROR_ID:W	エラーコード	先頭アドレス指定	W:i_Address_No	o_UNIT_ERROR:B	ユニットエラー	処理点数指定	W:i_Write_Byte	o_UNIT_ERR_CODE:W	ユニットエラーコード	書込みデータ	W:i_Write_Data	o_ID_Com_End:B	ID送信完了	結果受信	B:i_Reception		
P+MEE-ECLEF-V680D2_Write																																						
実行命令	B:FB_EN	FB_ENO:B	実行状態																																			
マスタユニット装着 XYアドレス	W:i_Start_IO_No	FB_OK:B	完了フラグ																																			
CC-Link IE Field Network 局番	W:i_Station_No	FB_ERROR:B	異常完了フラグ																																			
チャンネル番号	W:i_CH	ERROR_ID:W	エラーコード																																			
先頭アドレス指定	W:i_Address_No	o_UNIT_ERROR:B	ユニットエラー																																			
処理点数指定	W:i_Write_Byte	o_UNIT_ERR_CODE:W	ユニットエラーコード																																			
書込みデータ	W:i_Write_Data	o_ID_Com_End:B	ID送信完了																																			
結果受信	B:i_Reception																																					
対象機器	対象ユニット	ECLEF-V680D2																																				
	対象 CC-Link IE Field Network システム	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>シリーズ</th> <th>モデル</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>MELSEC-Q シリーズ</td> <td>QJ71GF11-T2 ※1 QD77GF16 ※2</td> </tr> <tr> <td>MELSEC-L シリーズ</td> <td>LJ71GF11-T2 ※1</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 シリアル No. の上 5 桁が“14102”以降 ※2 シリアル No. の上 5 桁が“14111”以降</p>	シリーズ	モデル	MELSEC-Q シリーズ	QJ71GF11-T2 ※1 QD77GF16 ※2	MELSEC-L シリーズ	LJ71GF11-T2 ※1																														
シリーズ	モデル																																					
MELSEC-Q シリーズ	QJ71GF11-T2 ※1 QD77GF16 ※2																																					
MELSEC-L シリーズ	LJ71GF11-T2 ※1																																					
対象機器	対象 CPU	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>シリーズ</th> <th>モデル</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>MELSEC-Q シリーズ</td> <td>ユニバーサルモデル QCPU</td> </tr> <tr> <td>MELSEC-L シリーズ</td> <td>LCPU ※1</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 シリアル No. の上 5 桁が“13012”以降</p>	シリーズ	モデル	MELSEC-Q シリーズ	ユニバーサルモデル QCPU	MELSEC-L シリーズ	LCPU ※1																														
	シリーズ	モデル																																				
MELSEC-Q シリーズ	ユニバーサルモデル QCPU																																					
MELSEC-L シリーズ	LCPU ※1																																					
対象機器	GX Works2	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>シリーズ</th> <th>モデル</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>MELSEC-Q シリーズ</td> <td>Version1.11M 以降</td> </tr> <tr> <td>MELSEC-L シリーズ</td> <td>Version1.20W 以降</td> </tr> </tbody> </table>	シリーズ	モデル	MELSEC-Q シリーズ	Version1.11M 以降	MELSEC-L シリーズ	Version1.20W 以降																														
シリーズ	モデル																																					
MELSEC-Q シリーズ	Version1.11M 以降																																					
MELSEC-L シリーズ	Version1.20W 以降																																					
記述言語	ラダー																																					

項目	内容																																
ステップ数	1456Step(MELSEC-Q シリーズ ユニバーサルモデルの場合) ※ プログラムに組み込んだ FB のステップ数は、使用する CPU モデルや、入出力定義によって異なります。																																
機能説明	<p>①FB_EN(実行命令)の ON で、i_Write_Data(書込みデータ)で指定した先頭デバイスから格納されたデータを ID タグの i_Address_No(先頭アドレス指定)から i_Write_Byte(処理点数指定)で指定されたバイト数書込みます。 書込みが完了すると FB_OK(完了フラグ)が ON します。</p>  <p>②P+MEE-ECLEF-V680D2_InitDataSet(イニシャルデータ設定)で指定した処理指定が 0 のときは上位→下位、1 のときは下位→上位のデータ格納順になります。 (例)</p> <p>0: 上位→下位</p> <table border="1" style="display: inline-table; margin-right: 20px;"> <tr><th colspan="2">CPU ユニットのデバイス</th></tr> <tr><td>Data1</td><td>Data2</td></tr> <tr><td>Data3</td><td>Data4</td></tr> </table> <p>→</p> <table border="1" style="display: inline-table; margin-right: 20px;"> <tr><th>アドレス</th><th>ID タグのメモリ</th></tr> <tr><td>0010</td><td>Data1</td></tr> <tr><td>0011</td><td>Data2</td></tr> <tr><td>0012</td><td>Data3</td></tr> <tr><td>0013</td><td>Data4</td></tr> </table> <p>1: 下位→上位</p> <table border="1" style="display: inline-table; margin-right: 20px;"> <tr><th colspan="2">CPU ユニットのデバイス</th></tr> <tr><td>Data2</td><td>Data1</td></tr> <tr><td>Data4</td><td>Data3</td></tr> </table> <p>→</p> <table border="1" style="display: inline-table;"> <tr><th>アドレス</th><th>ID タグのメモリ</th></tr> <tr><td>0010</td><td>Data1</td></tr> <tr><td>0011</td><td>Data2</td></tr> <tr><td>0012</td><td>Data3</td></tr> <tr><td>0013</td><td>Data4</td></tr> </table> <p>③P+MEE-ECLEF-V680D2_InitDataSet(イニシャルデータ設定)で指定した交信指定が 2(リポートオート)、4(FIFO リポート)のときは、i_Reception(結果受信)の ON で、次の ID タグの検出を開始します。</p>	CPU ユニットのデバイス		Data1	Data2	Data3	Data4	アドレス	ID タグのメモリ	0010	Data1	0011	Data2	0012	Data3	0013	Data4	CPU ユニットのデバイス		Data2	Data1	Data4	Data3	アドレス	ID タグのメモリ	0010	Data1	0011	Data2	0012	Data3	0013	Data4
CPU ユニットのデバイス																																	
Data1	Data2																																
Data3	Data4																																
アドレス	ID タグのメモリ																																
0010	Data1																																
0011	Data2																																
0012	Data3																																
0013	Data4																																
CPU ユニットのデバイス																																	
Data2	Data1																																
Data4	Data3																																
アドレス	ID タグのメモリ																																
0010	Data1																																
0011	Data2																																
0012	Data3																																
0013	Data4																																

項目	内容
	<p>④エラーの場合は、FB_ERROR(異常完了フラグ)が ON し、FB の処理を中断します。また、ERROR_ID にはエラーコードをセットします。 エラーコードの詳細は、エラーコード一覧を参照してください。</p> <p>⑤ECLEF-V680D2 がエラーとなった場合は、o_UNIT_ERROR(ユニットエラー)が ON し、処理を中断します。また、o_UNIT_ERR_CODE(ユニットエラーコード)にはエラーコードをセットします。 エラーコードの詳細は、ECLEF-V680D2 ユーザーズマニュアル(詳細編)を参照してください。</p> <p>⑥書込み処理中に FB_EN(実行命令)を OFF した場合は FB の処理を中断します。 ID タグヘデータ書込み中であれば中断するまでのデータが書込まれます。</p>
FB コンパイル方式	マクロ型
制約事項・注意事項等	<p>① 本 FB は、エラーを復帰する処理は含んでいません。エラー復帰処理については、お客様のシステムや要求動作に合わせて、別途作成してください。</p> <p>② CC-Link IE Field Network パラメータ設定のリフレッシュデバイスの設定を 1.4 項に従って行ってください。</p> <p>③ グローバルラベルの設定を 1.5 項の内容に従って行ってください。</p> <p>④ 割込みプログラム内で FB を使用することはできません。</p> <p>⑤ 本 FB を複数使用する場合、対象 CC-Link IE Field Network 局番が重複しないように注意してください。</p> <p>⑥ 1 回しか実行されないプログラム(例えば、サブルーチンプログラムや FOR~NEXT)で FB を使用すると、FB_EN(実行命令)の OFF 処理を実行することができず正常な動作ができなくなるため、FB_EN(実行命令)の OFF を実行できるプログラムで使用してください。</p> <p>⑦ 本 FB ではインデックスレジスタ Z5~Z9 およびデータレジスタ D5000~D5001 を使用していません。割込みプログラムを使用する場合は、当インデックスレジスタおよび当データレジスタを使用しないでください。</p> <p>⑧ ID タグのライトの交信指定、交信設定、処理指定およびオート系コマンド待ち時間設定は、本 FB を実行する前に P+MEE-ECLEF-V680D2_InitDataSet(イニシャルデータ設定)で指定してください。</p> <p>⑨ i_Write_Data(書込みデータ)には、書込むデータを格納したエリアの先頭デバイスを必ず指定してください。省略はできません。</p> <p>⑩ FB_EN(実行命令)ON 中は、i_Start_IO_No(マスタユニット装着 XY アドレス)、i_Station_No(CC-Link IE Field Network 局番)、i_Address_No(先頭アドレス指定)、i_CH(チャンネル番号)、i_Write_Byte(処理点数指定)、i_Write_Data(書込みデータ)の値を変更しないでください。</p> <p>⑪ P+MEE-ECLEF-V680D2_InitDataSet(イニシャルデータ設定)で指定した交信指定が 0(トリガ)、1(オート)、3(FIFO トリガ)のとき、i_Reception(結果受信)は無視されます。</p> <p>⑫ i_Reception(結果受信)にはパルスを入力してください。</p> <p>⑬ FB 内部でインデックス修飾を用いて Y 信号を操作しているため、本 FB を複数個使用した場合、コンパイル時に 2 重コイルワーニングが発生することがありますが、使用上特に問題はありませぬ。</p>



項目	内容
	<p>⑭ CC-Link IE Field Network システム用 FB は 1 枚のマスタ・ローカルユニットしか制御できません。2 枚以上のマスタ・ローカルユニットを FB で制御する場合には項「付録1 2 枚以上のマスタ・ローカルユニットで FB を使用する方法」をご参照ください。</p> <p>⑮ 本 FB の処理が完了しない場合、i_Start_IO_No(マスタユニット装着 XY アドレス)が間違っていないか、または i_Station_No(CC-Link IE Field Network 局番)はネットワークの局番と一致しているか、または本 FB を実行する前に P+MEE-ECLEF-V680D2_InitDataSet(イニシャルデータ設定)が完了しているか確認ください。</p>

FB 動作	パルス型(複数スキャン実行型)
-------	-----------------

入出力信号の動き	【正常終了の場合】 (トリガ, オート, FIFO トリガ)	【正常終了の場合】 (リピートオート, FIFO リピート)
	<p>【異常終了の場合】</p>	<p>【ユニットエラーの場合】</p>

項目	内容
関連マニュアル	ECLEF-V680D2 ユーザーズマニュアル(詳細編) (50CM-D180188) MELSEC-Q CC-Link IE フィールドネットワークマスタ・ローカルユニットユーザーズマニュアル (SH-080916) MELSEC-L CC-Link IE フィールドネットワークマスタ・ローカルユニットユーザーズマニュアル (SH-080971)

エラーコード

■エラーコード一覧

エラーコード	内容	処置方法
11(10進数)	i_Station_No(CC-Link IE Field Network 局番)の指定が範囲外です。	CC-Link IE Field Network 局番は 1~120 を指定してください。
12(10進数)	i_CH(チャンネル番号)の指定が範囲外であるか無効な値です。	チャンネル番号は、1 または 2 を指定してください。
13(10進数)	i_Write_Byte(処理点数指定)が範囲外です。	【トリガの場合】 処理点数指定は 0001~0800(16進数)を指定してください。 【トリガ以外の場合】 1 回の ID 命令で書込み可能なデータ量を指定してください。 詳細範囲は、RFID インタフェースユニットユーザーズマニュアル(詳細編)を参照してください。
14(10進数)	ECLEF-V680D2 が ID 命令実行中です。	ID 命令実行が終了してから FB を起動してください。

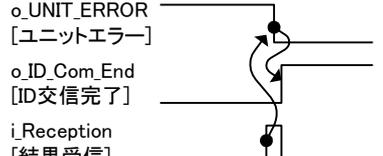
■入カラベル

名称	変数名	データ型	有効範囲	説明
実行命令	FB_EN	ビット	—	ON:FB を起動する。 OFF:FB を起動しない。
マスタユニット装着 XY アドレス	i_Start_IO_No	ワード	対象の CPU ユニットの 入出力点数範囲によります。 詳細範囲は、対象 CPU のユーザーズ マニュアルを参照し てください。	対 象 の CC-Link IE Field Network システムマスタ・ロー カルユニットが装着されている 先頭 XY アドレスを 16 進数で 指定します。(例えば X10 の場 合、H10 を入力してください)
CC-Link IE Field Network 局番	i_Station_No	ワード	1~120(10 進数)	接続する ECLEF-V680D2 の 局番を入力します。
チャンネル番号	i_CH	ワード	1, 2	書込みを行うチャンネル番号 を指定します。
先頭アドレス指定	i_Address_No	ワード	0000~FFFF (16 進数)	ID タグへ書込みを行う先頭ア ドレスを指定します。
処理点数指定	i_Write_Byte	ワード	【トリガの場合】 0001~0800 (16 進数) 【トリガ以外の場合】 1 回の ID 命令で書 込み可能なデータ 量によります。 詳細範囲は、RFID インタフェースユニ ットユーザーズマニ ュアル(詳細編)を 参照してください。	ID タグへ書込みを行う処理バ イト数を指定します。



名称	変数名	データ型	有効範囲	説明
書き込みデータ	i_Write_Data	ワード	0000~FFFF (16進数)	書込むデータを格納したエリアの先頭デバイスを指定してください。 書き込みデータは、i_Write_Byte(処理点数指定)で指定したバイト数のデータを書込みます。
結果受信	i_Reception	ビット	—	複数のIDタグへ書き込み処理を行う命令を実行した際、次の結果を受信するためにパルスを入力します。 ON: 次のIDタグの検出を開始します。

■出カラベル

名称	変数名	データ型	初期値	説明
実行状態	FB_ENO	ビット	OFF	ON: FB 実行中。 OFF: FB 未実行。
完了フラグ	FB_OK	ビット	OFF	ON: FB 正常完了。 OFF: FB 未完了。
異常完了フラグ	FB_ERROR	ビット	OFF	ON: FB 異常完了。 OFF: FB 未完了。
エラーコード	ERROR_ID	ワード	0	FB 内で発生したエラーコードを格納します。
ユニットエラー	o_UNIT_ERROR	ビット	OFF	ON: RFID インタフェースユニットでエラー発生。 OFF: 正常。
ユニットエラーコード	o_UNIT_ERR_CODE	ワード	0	RFID インタフェースユニットで発生したエラー詳細を格納します。
ID 交信完了	o_ID_Com_End	ビット	OFF	アンテナ未接続などの要因でRFID インタフェースユニット側が交信を打ち切る際、i_Reception(結果受信)ON後にONします。 



FB のバージョンアップ履歴

バージョン	日付	内容
1.00A	2015/10/05	新規作成

お願い

本章はファンクションブロックの機能について記載しております。
ユニットやシーケンサ CPU の使用上の制限事項、組み合わせによる制限事項などについては記載しておりません。
ご使用にあたりましては、必ず対象製品のユーザーズマニュアルをお読みいただきますようお願い申し上げます。

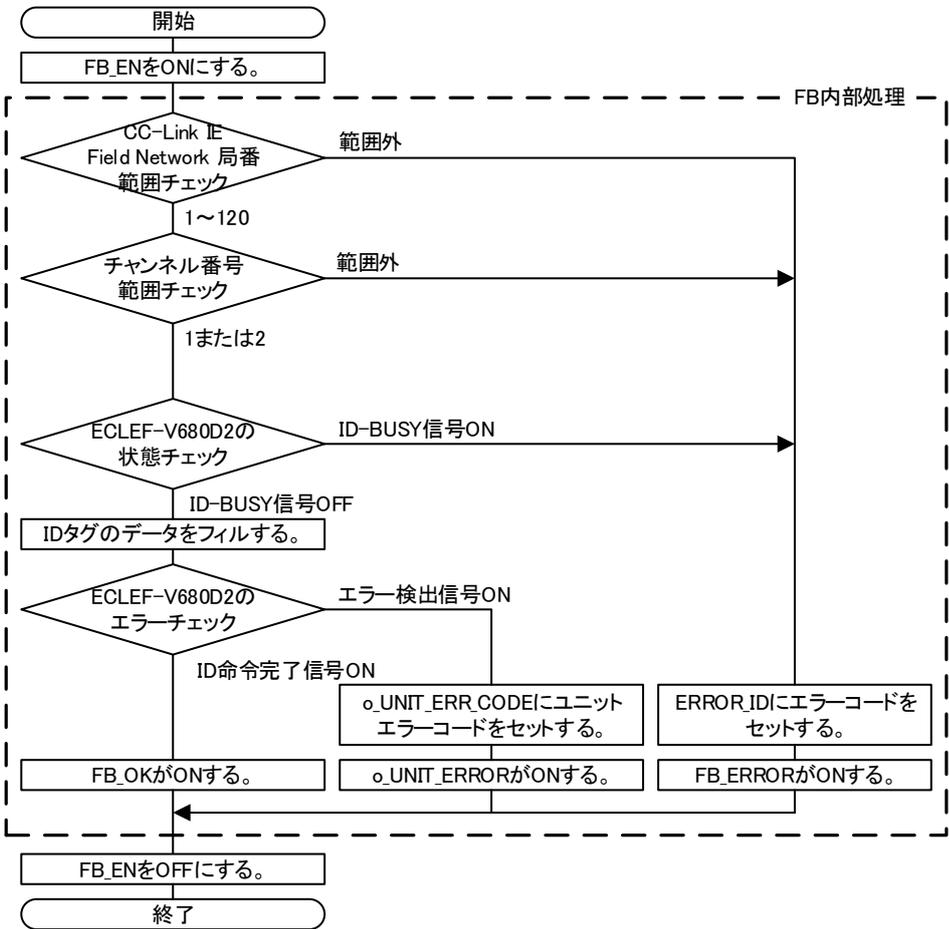
2.4 P+MEE-ECLEF-V680D2_Fill (ID タグのデータフィル)

名称

P+MEE-ECLEF-V680D2_Fill

機能内容

項目	内容																																					
機能概要	指定したデータで ID タグを初期化します。																																					
シンボル	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="4">P+MEE-ECLEF-V680D2_Fill</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: right;">実行命令</td> <td style="border-left: 1px solid black;">B:FB_EN</td> <td style="border-right: 1px solid black;">FB_ENO:B</td> <td>実行状態</td> </tr> <tr> <td style="text-align: right;">マスタユニット装着 XYアドレス</td> <td style="border-left: 1px solid black;">W:i_Start_IO_No</td> <td style="border-right: 1px solid black;">FB_OK:B</td> <td>完了フラグ</td> </tr> <tr> <td style="text-align: right;">CC-Link IE Field Network 局番</td> <td style="border-left: 1px solid black;">W:i_Station_No</td> <td style="border-right: 1px solid black;">FB_ERROR:B</td> <td>異常完了フラグ</td> </tr> <tr> <td style="text-align: right;">チャンネル番号</td> <td style="border-left: 1px solid black;">W:i_CH</td> <td style="border-right: 1px solid black;">ERROR_ID:W</td> <td>エラーコード</td> </tr> <tr> <td style="text-align: right;">先頭アドレス指定</td> <td style="border-left: 1px solid black;">W:i_Address_No</td> <td style="border-right: 1px solid black;">o_UNIT_ERROR:B</td> <td>ユニットエラー</td> </tr> <tr> <td style="text-align: right;">処理点数指定</td> <td style="border-left: 1px solid black;">W:i_Fill_Byte</td> <td style="border-right: 1px solid black;">o_UNIT_ERR_CODE:W</td> <td>ユニットエラーコード</td> </tr> <tr> <td style="text-align: right;">フィルデータ</td> <td style="border-left: 1px solid black;">W:i_Fill_Data</td> <td style="border-right: 1px solid black;">o_ID_Com_End:B</td> <td>ID送信完了</td> </tr> <tr> <td style="text-align: right;">結果受信</td> <td style="border-left: 1px solid black;">B:i_Reception</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		P+MEE-ECLEF-V680D2_Fill				実行命令	B:FB_EN	FB_ENO:B	実行状態	マスタユニット装着 XYアドレス	W:i_Start_IO_No	FB_OK:B	完了フラグ	CC-Link IE Field Network 局番	W:i_Station_No	FB_ERROR:B	異常完了フラグ	チャンネル番号	W:i_CH	ERROR_ID:W	エラーコード	先頭アドレス指定	W:i_Address_No	o_UNIT_ERROR:B	ユニットエラー	処理点数指定	W:i_Fill_Byte	o_UNIT_ERR_CODE:W	ユニットエラーコード	フィルデータ	W:i_Fill_Data	o_ID_Com_End:B	ID送信完了	結果受信	B:i_Reception		
P+MEE-ECLEF-V680D2_Fill																																						
実行命令	B:FB_EN	FB_ENO:B	実行状態																																			
マスタユニット装着 XYアドレス	W:i_Start_IO_No	FB_OK:B	完了フラグ																																			
CC-Link IE Field Network 局番	W:i_Station_No	FB_ERROR:B	異常完了フラグ																																			
チャンネル番号	W:i_CH	ERROR_ID:W	エラーコード																																			
先頭アドレス指定	W:i_Address_No	o_UNIT_ERROR:B	ユニットエラー																																			
処理点数指定	W:i_Fill_Byte	o_UNIT_ERR_CODE:W	ユニットエラーコード																																			
フィルデータ	W:i_Fill_Data	o_ID_Com_End:B	ID送信完了																																			
結果受信	B:i_Reception																																					
対象機器	対象ユニット	ECLEF-V680D2																																				
	対象 CC-Link IE Field Network システム	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>シリーズ</th> <th>モデル</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>MELSEC-Q シリーズ</td> <td>QJ71GF11-T2 ※1 QD77GF16 ※2</td> </tr> <tr> <td>MELSEC-L シリーズ</td> <td>LJ71GF11-T2 ※1</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 シリアル No. の上 5 桁が“14102”以降 ※2 シリアル No. の上 5 桁が“14111”以降</p>	シリーズ	モデル	MELSEC-Q シリーズ	QJ71GF11-T2 ※1 QD77GF16 ※2	MELSEC-L シリーズ	LJ71GF11-T2 ※1																														
シリーズ	モデル																																					
MELSEC-Q シリーズ	QJ71GF11-T2 ※1 QD77GF16 ※2																																					
MELSEC-L シリーズ	LJ71GF11-T2 ※1																																					
対象機器	対象 CPU	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>シリーズ</th> <th>モデル</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>MELSEC-Q シリーズ</td> <td>ユニバーサルモデル QCPU</td> </tr> <tr> <td>MELSEC-L シリーズ</td> <td>LCPU ※1</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 シリアル No. の上 5 桁が“13012”以降</p>	シリーズ	モデル	MELSEC-Q シリーズ	ユニバーサルモデル QCPU	MELSEC-L シリーズ	LCPU ※1																														
	シリーズ	モデル																																				
MELSEC-Q シリーズ	ユニバーサルモデル QCPU																																					
MELSEC-L シリーズ	LCPU ※1																																					
対象機器	GX Works2	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>シリーズ</th> <th>モデル</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>MELSEC-Q シリーズ</td> <td>Version1.11M 以降</td> </tr> <tr> <td>MELSEC-L シリーズ</td> <td>Version1.20W 以降</td> </tr> </tbody> </table>	シリーズ	モデル	MELSEC-Q シリーズ	Version1.11M 以降	MELSEC-L シリーズ	Version1.20W 以降																														
シリーズ	モデル																																					
MELSEC-Q シリーズ	Version1.11M 以降																																					
MELSEC-L シリーズ	Version1.20W 以降																																					
記述言語	ラダー																																					

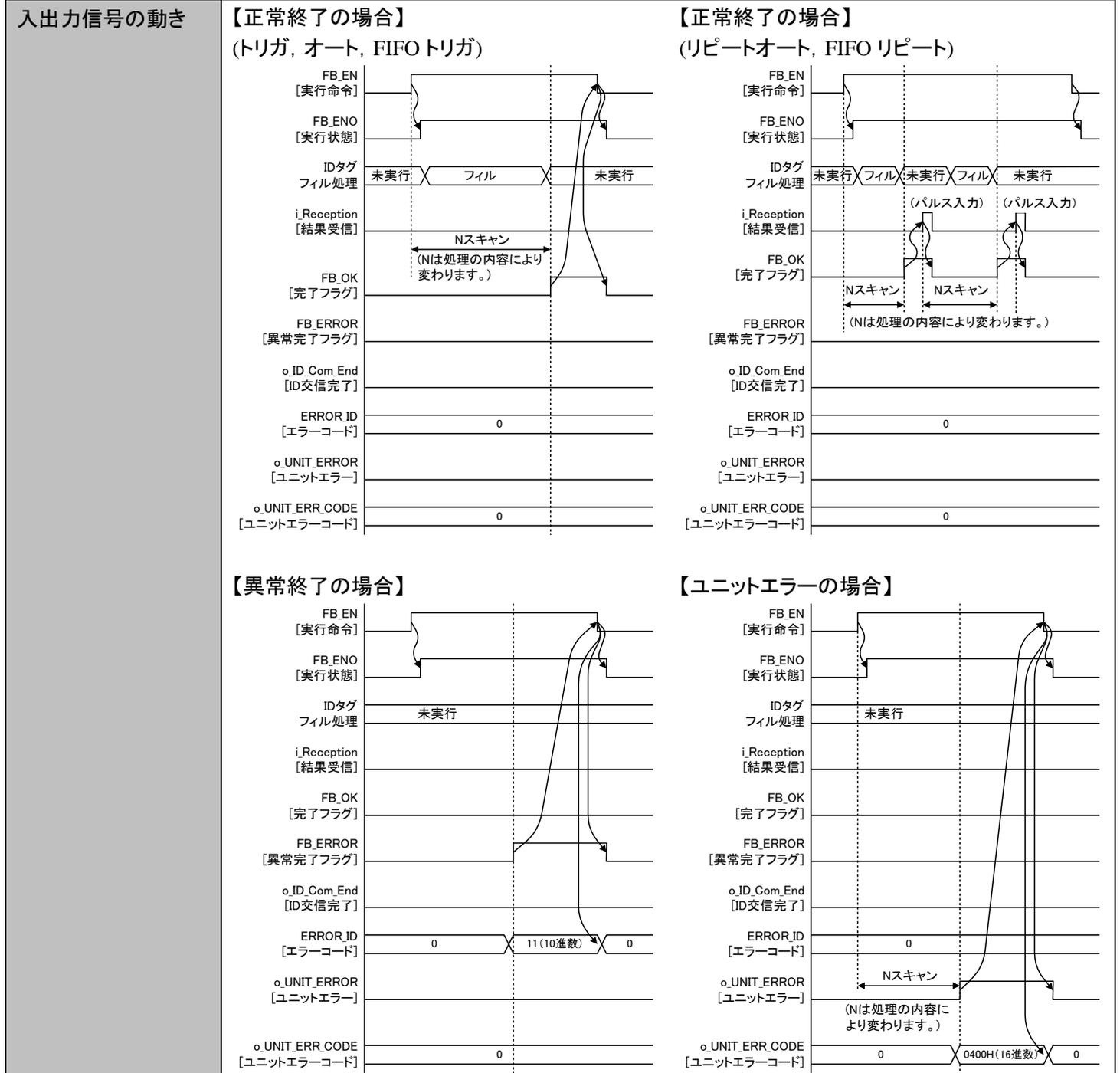
項目	内容																																										
ステップ数	1317Step(MELSEC-Q シリーズ ユニバーサルモデルの場合) ※ プログラムに組み込んだ FB のステップ数は、使用する CPU モデルや、入出力定義によって異なります。																																										
機能説明	<p>①FB_EN(実行命令)の ON で、ID タグの i_Address_No(先頭アドレス指定)から i_Fill_Byte(処理点数指定)で指定されたバイト数を i_Fill_Data(フィルデータ)でフィルします。 フィルが完了すると FB_OK(完了フラグ)が ON します。</p> <div data-bbox="367 459 1316 1388" style="border: 1px dashed black; padding: 10px;">  </div> <p>②P+MEE-ECLEF-V680D2_InitDataSet(イニシャルデータ設定)で指定した処理指定が 0 のときは上位→下位、1 のときは下位→上位のデータ格納順になります。 (例)</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> <p>0: 上位→下位</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>フィルデータ</th> <th>→</th> <th>アドレス</th> <th>ID タグの メモリ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Data1 Data2</td> <td>→</td> <td>0010</td> <td>Data1</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>0011</td> <td>Data2</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>0012</td> <td>Data1</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>0013</td> <td>Data2</td> </tr> </tbody> </table> </td> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> <p>1: 下位→上位</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>フィルデータ</th> <th>→</th> <th>アドレス</th> <th>ID タグの メモリ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Data2 Data1</td> <td>→</td> <td>0010</td> <td>Data1</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>0011</td> <td>Data2</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>0012</td> <td>Data1</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>0013</td> <td>Data2</td> </tr> </tbody> </table> </td> </tr> </table> <p>③P+MEE-ECLEF-V680D2_InitDataSet(イニシャルデータ設定)で指定した送信指定が 2(リピートオート)、4(FIFO リピート)のときは、i_Reception(結果受信)の ON で、次の ID タグの検出を開始します。</p>	<p>0: 上位→下位</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>フィルデータ</th> <th>→</th> <th>アドレス</th> <th>ID タグの メモリ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Data1 Data2</td> <td>→</td> <td>0010</td> <td>Data1</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>0011</td> <td>Data2</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>0012</td> <td>Data1</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>0013</td> <td>Data2</td> </tr> </tbody> </table>	フィルデータ	→	アドレス	ID タグの メモリ	Data1 Data2	→	0010	Data1			0011	Data2			0012	Data1			0013	Data2	<p>1: 下位→上位</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>フィルデータ</th> <th>→</th> <th>アドレス</th> <th>ID タグの メモリ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Data2 Data1</td> <td>→</td> <td>0010</td> <td>Data1</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>0011</td> <td>Data2</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>0012</td> <td>Data1</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>0013</td> <td>Data2</td> </tr> </tbody> </table>	フィルデータ	→	アドレス	ID タグの メモリ	Data2 Data1	→	0010	Data1			0011	Data2			0012	Data1			0013	Data2
<p>0: 上位→下位</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>フィルデータ</th> <th>→</th> <th>アドレス</th> <th>ID タグの メモリ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Data1 Data2</td> <td>→</td> <td>0010</td> <td>Data1</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>0011</td> <td>Data2</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>0012</td> <td>Data1</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>0013</td> <td>Data2</td> </tr> </tbody> </table>	フィルデータ	→	アドレス	ID タグの メモリ	Data1 Data2	→	0010	Data1			0011	Data2			0012	Data1			0013	Data2	<p>1: 下位→上位</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>フィルデータ</th> <th>→</th> <th>アドレス</th> <th>ID タグの メモリ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Data2 Data1</td> <td>→</td> <td>0010</td> <td>Data1</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>0011</td> <td>Data2</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>0012</td> <td>Data1</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>0013</td> <td>Data2</td> </tr> </tbody> </table>	フィルデータ	→	アドレス	ID タグの メモリ	Data2 Data1	→	0010	Data1			0011	Data2			0012	Data1			0013	Data2		
フィルデータ	→	アドレス	ID タグの メモリ																																								
Data1 Data2	→	0010	Data1																																								
		0011	Data2																																								
		0012	Data1																																								
		0013	Data2																																								
フィルデータ	→	アドレス	ID タグの メモリ																																								
Data2 Data1	→	0010	Data1																																								
		0011	Data2																																								
		0012	Data1																																								
		0013	Data2																																								

項目	内容
	<p>④エラーの場合は、FB_ERROR(異常完了フラグ)が ON し、FB の処理を中断します。また、ERROR_ID にはエラーコードをセットします。 エラーコードの詳細は、エラーコード一覧を参照してください。</p> <p>⑤ECLEF-V680D2 がエラーとなった場合は、o_UNIT_ERROR(ユニットエラー)が ON し、処理を中断します。また、o_UNIT_ERR_CODE(ユニットエラーコード)にはエラーコードをセットします。 エラーコードの詳細は、ECLEF-V680D2 ユーザーズマニュアル(詳細編)を参照してください。</p> <p>⑥フィル処理中に FB_EN(実行命令)を OFF した場合は FB の処理を中断します。 ID タグヘデータ書き込み中であれば最後まで書込まれます。</p>
FB コンパイル方式	マクロ型
制約事項・注意事項等	<p>① 本 FB は、エラーを復帰する処理は含んでいません。エラー復帰処理については、お客様のシステムや要求動作に合わせて、別途作成してください。</p> <p>② CC-Link IE Field Network パラメータ設定のリフレッシュデバイスの設定を 1.4 項に従って行ってください。</p> <p>③ グローバルラベルの設定を 1.5 項の内容に従って行ってください。</p> <p>④ 割込みプログラム内で FB を使用することはできません。</p> <p>⑤ 本 FB を複数使用する場合、対象 CC-Link IE Field Network 局番が重複しないように注意してください。</p> <p>⑥ 1 回しか実行されないプログラム(例えば、サブルーチンプログラムや FOR~NEXT)で FB を使用すると、FB_EN(実行命令)の OFF 処理を実行することができず正常な動作ができなくなるため、FB_EN(実行命令)の OFF を実行できるプログラムで使用してください。</p> <p>⑦ 本 FB ではインデックスレジスタ Z5~Z9 を使用しています。割込みプログラムを使用する場合は、当インデックスレジスタを使用しないでください。</p> <p>⑧ ID タグのデータフィルの発信指定、発信設定、処理指定およびオート系コマンド待ち時間設定は、本 FB を実行する前に P+MEE-ECLEF-V680D2_InitDataSet(イニシャルデータ設定)で指定してください。</p> <p>⑨ FB_EN(実行命令)ON 中は、i_Start_IO_No(マスタユニット装着 XY アドレス)、i_Station_No(CC-Link IE Field Network 局番)、i_CH(チャンネル番号)、i_Address_No(先頭アドレス指定)、i_Fill_Byte(処理点数指定)、i_Fill_Data(フィルデータ)の値を変更しないでください。</p> <p>⑩ P+MEE-ECLEF-V680D2_InitDataSet(イニシャルデータ設定)で指定した発信指定が 0(トリガ)、1(オート)、3(FIFO トリガ)のとき、i_Reception(結果受信)は無視されます。</p> <p>⑪ データフィルでは、ID タグの全データ初期化を行うために、ライトプロテクト機能は動作しません。</p> <p>⑫ i_Reception(結果受信)にはパルスを入力してください。</p> <p>⑬ FB 内部でインデックス修飾を用いて Y 信号を操作しているため、本 FB を複数個使用した場合、コンパイル時に 2 重コイルワーニングが発生することがありますが、使用上特に問題はありません。</p>



項目	内容
	<p>⑭ CC-Link IE Field Network システム用 FB は 1 枚のマスタ・ローカルユニットしか制御できません。2 枚以上のマスタ・ローカルユニットを FB で制御する場合には項「付録1 2 枚以上のマスタ・ローカルユニットで FB を使用する方法」をご参照ください。</p> <p>⑮ 本 FB の処理が完了しない場合、i_Start_IO_No(マスタユニット装着 XY アドレス)が間違っていないか、または i_Station_No(CC-Link IE Field Network 局番)はネットワークの局番と一致しているか、または本 FB を実行する前に P+MEE-ECLEF-V680D2_InitDataSet(イニシャルデータ設定)が完了しているか確認ください。</p>

FB 動作 パルス型(複数スキャン実行型)



項目	内容
関連マニュアル	ECLEF-V680D2 ユーザーズマニュアル(詳細編) (50CM-D180188) MELSEC-Q CC-Link IE フィールドネットワークマスタ・ローカルユニットユーザーズマニュアル (SH-080916) MELSEC-L CC-Link IE フィールドネットワークマスタ・ローカルユニットユーザーズマニュアル (SH-080971)

エラーコード

■エラーコード一覧

エラーコード	内容	処置方法
11(10進数)	i_Station_No(CC-Link IE Field Network 局番)の指定が範囲外です。	CC-Link IE Field Network 局番は 1~120 を指定してください。
12(10進数)	i_CH(チャンネル番号)の指定が範囲外であるか無効な値です。	チャンネル番号は, 1 または 2 を指定してください。
14(10進数)	ECLEF-V680D2 が ID 命令実行中です。	ID 命令実行が終了してから FB を起動してください。

使用ラベル

■入カラベル

名称	変数名	データ型	有効範囲	説明
実行命令	FB_EN	ビット	—	ON:FB を起動する。 OFF:FB を起動しない。
マスタユニット装着 XY アドレス	i_Start_IO_No	ワード	対象の CPU ユニットの入出力点数範囲によります。 詳細範囲は、対象 CPU のユーザーズマニュアルを参照してください。	対象の CC-Link IE Field Network システムマスタ・ローカルユニットが装着されている先頭 XY アドレスを 16 進数で指定します。(例えば X10 の場合、H10 を入力してください)
CC-Link IE Field Network 局番	i_Station_No	ワード	1~120(10進数)	接続する ECLEF-V680D2 の局番を入力します。
チャンネル番号	i_CH	ワード	1, 2	書込みを行うチャンネル番号を指定します。
先頭アドレス指定	i_Address_No	ワード	0000~FFFF (16進数)	ID タグヘフィルを行う先頭アドレスを指定します。



名称	変数名	データ型	有効範囲	説明
処理点数指定	i_Fill_Byte	ワード	0001～0800, 0 (16進数) 対象 ID タグのメモリ容量によります。 詳細範囲は、RFID インタフェースユニットユーザーズマニュアル(詳細編)を参照してください。	ID タグへフィルを行う処理バイト数を指定します。 0: ID タグの全データをフィルします。
フィルデータ	i_Fill_Data	ワード	0000～FFFF (16進数)	フィルするデータを指定してください。 フィルは、i_Fill_Byte(処理点数指定)で指定したバイト数のデータを書込みます。
結果受信	i_Reception	ビット	—	複数の ID タグへフィル処理を行う命令を実行した際、次の結果を受信するためにパルスを入力します。 ON: 次の ID タグの検出を開始します。

■出カラベル

名称	変数名	データ型	初期値	説明
実行状態	FB_ENO	ビット	OFF	ON: FB 実行中。 OFF: FB 未実行。
完了フラグ	FB_OK	ビット	OFF	ON: FB 正常完了。 OFF: FB 未完了。
異常完了フラグ	FB_ERROR	ビット	OFF	ON: FB 異常完了。 OFF: FB 未完了。
エラーコード	ERROR_ID	ワード	0	FB 内で発生したエラーコードを格納します。
ユニットエラー	o_UNIT_ERROR	ビット	OFF	ON: RFID インタフェースユニットでエラー発生。 OFF: 正常。
ユニットエラーコード	o_UNIT_ERR_CODE	ワード	0	RFID インタフェースユニットで発生したエラー詳細を格納します。

名称	変数名	データ型	初期値	説明
ID 送信完了	o_ID_Com_End	ビット	OFF	<p>アンテナ未接続などの要因で RFID インタフェースユニット側が 送信を打ち切る際、i_Reception (結果受信)ON 後に ON します。</p> <p>o_UNIT_ERROR [ユニットエラー]</p> <p>o_ID_Com_End [ID送信完了]</p> <p>i_Reception [結果受信]</p>

FB のバージョンアップ履歴

バージョン	日付	内容
1.00A	2015/10/05	新規作成

お願い

本章はファンクションブロックの機能について記載しております。
 ユニットやシーケンサ CPU の使用上の制限事項、組み合わせによる制限事項などについては記載しておりません。
 ご使用にあたりましては、必ず対象製品のユーザーズマニュアルをお読みいただきますようお願い申し上げます。

2.5 P+MEE-ECLEF-V680D2_UIDRead (ID タグの UID リード)

名称

P+MEE-ECLEF-V680D2_UIDRead

機能内容

項目	内容																																					
機能概要	ID タグの UID(個別識別番号)を読出します。																																					
シンボル	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="4">P+MEE-ECLEF-V680D2_UIDRead</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="width: 20%; text-align: right;">実行命令</td> <td style="width: 20%;">B:FB_EN</td> <td style="width: 20%;">FB_ENO:B</td> <td style="width: 30%;">実行状態</td> </tr> <tr> <td style="text-align: right;">マスタユニット装着 XYアドレス</td> <td>W:i_Start_IO_No</td> <td>FB_OK:B</td> <td>完了フラグ</td> </tr> <tr> <td style="text-align: right;">CC-Link IE Field Network局番</td> <td>W:i_Station_No</td> <td>FB_ERROR:B</td> <td>異常完了フラグ</td> </tr> <tr> <td style="text-align: right;">チャンネル番号</td> <td>W:i_CH</td> <td>ERROR_ID:W</td> <td>エラーコード</td> </tr> <tr> <td style="text-align: right;">結果受信</td> <td>B:i_Reception</td> <td>o_UNIT_ERROR:B</td> <td>ユニットエラー</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>o_UNIT_ERR_CODE:W</td> <td>ユニットエラーコード</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>o_UID:W</td> <td>IDタグUID</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>o_ID_Com_End:B</td> <td>ID送信完了</td> </tr> </tbody> </table>		P+MEE-ECLEF-V680D2_UIDRead				実行命令	B:FB_EN	FB_ENO:B	実行状態	マスタユニット装着 XYアドレス	W:i_Start_IO_No	FB_OK:B	完了フラグ	CC-Link IE Field Network局番	W:i_Station_No	FB_ERROR:B	異常完了フラグ	チャンネル番号	W:i_CH	ERROR_ID:W	エラーコード	結果受信	B:i_Reception	o_UNIT_ERROR:B	ユニットエラー			o_UNIT_ERR_CODE:W	ユニットエラーコード			o_UID:W	IDタグUID			o_ID_Com_End:B	ID送信完了
P+MEE-ECLEF-V680D2_UIDRead																																						
実行命令	B:FB_EN	FB_ENO:B	実行状態																																			
マスタユニット装着 XYアドレス	W:i_Start_IO_No	FB_OK:B	完了フラグ																																			
CC-Link IE Field Network局番	W:i_Station_No	FB_ERROR:B	異常完了フラグ																																			
チャンネル番号	W:i_CH	ERROR_ID:W	エラーコード																																			
結果受信	B:i_Reception	o_UNIT_ERROR:B	ユニットエラー																																			
		o_UNIT_ERR_CODE:W	ユニットエラーコード																																			
		o_UID:W	IDタグUID																																			
		o_ID_Com_End:B	ID送信完了																																			
対象機器	対象ユニット	ECLEF-V680D2																																				
	対象 CC-Link IE Field Network システム	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>シリーズ</th> <th>モデル</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>MELSEC-Q シリーズ</td> <td>QJ71GF11-T2 ※1 QD77GF16 ※2</td> </tr> <tr> <td>MELSEC-L シリーズ</td> <td>LJ71GF11-T2 ※1</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 シリアル No. の上 5 桁が“14102”以降 ※2 シリアル No. の上 5 桁が“14111”以降</p>	シリーズ	モデル	MELSEC-Q シリーズ	QJ71GF11-T2 ※1 QD77GF16 ※2	MELSEC-L シリーズ	LJ71GF11-T2 ※1																														
シリーズ	モデル																																					
MELSEC-Q シリーズ	QJ71GF11-T2 ※1 QD77GF16 ※2																																					
MELSEC-L シリーズ	LJ71GF11-T2 ※1																																					
対象機器	対象 CPU	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>シリーズ</th> <th>モデル</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>MELSEC-Q シリーズ</td> <td>ユニバーサルモデル QCPU</td> </tr> <tr> <td>MELSEC-L シリーズ</td> <td>LCPU ※1</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 シリアル No. の上 5 桁が“13012”以降</p>	シリーズ	モデル	MELSEC-Q シリーズ	ユニバーサルモデル QCPU	MELSEC-L シリーズ	LCPU ※1																														
	シリーズ	モデル																																				
MELSEC-Q シリーズ	ユニバーサルモデル QCPU																																					
MELSEC-L シリーズ	LCPU ※1																																					
対象機器	GX Works2	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>シリーズ</th> <th>モデル</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>MELSEC-Q シリーズ</td> <td>Version1.11M 以降</td> </tr> <tr> <td>MELSEC-L シリーズ</td> <td>Version1.20W 以降</td> </tr> </tbody> </table>	シリーズ	モデル	MELSEC-Q シリーズ	Version1.11M 以降	MELSEC-L シリーズ	Version1.20W 以降																														
シリーズ	モデル																																					
MELSEC-Q シリーズ	Version1.11M 以降																																					
MELSEC-L シリーズ	Version1.20W 以降																																					
記述言語	ラダー																																					



項目	内容
ステップ数	1324Step(MELSEC-Q シリーズ ユニバーサルモデルの場合) ※ プログラムに組み込んだ FB のステップ数は、使用する CPU モデルや、入出力定義によって異なります。
機能説明	<p>①FB_EN(実行命令)の ON で、ID タグの UID を読みます。読み出した UID は o_UID(ID タグ UID) で指定した先頭デバイスから格納されます。 読み出しが完了すると FB_OK(完了フラグ)が ON します。</p> <p>②P+MEE-ECLEF-V680D2_InitDataSet(イニシャルデータ設定)で指定した通信指定が 2(リポートオート)、4(FIFO リポート)のときは、i_Reception(結果受信)の ON で、次の ID タグの検出を開始します。</p> <p>③エラーの場合は、FB_ERROR(異常完了フラグ)が ON し、FB の処理を中断します。また、ERROR_ID にはエラーコードをセットします。 エラーコードの詳細は、エラーコード一覧を参照してください。</p> <p>④ECLEF-V680D2 がエラーとなった場合は、o_UNIT_ERROR(ユニットエラー)が ON し、処理を中断します。また、o_UNIT_ERR_CODE(ユニットエラーコード)にはエラーコードをセットします。 エラーコードの詳細は、ECLEF-V680D2 ユーザーズマニュアル(詳細編)を参照してください。</p> <p>⑤読み出し処理中に FB_EN(実行命令)を OFF した場合は FB の処理を中断します。o_UID(ID タグ UID)には読み出したデータは格納されません。</p>
FB コンパイル方式	マクロ型

項目	内容
制約事項・注意事項等	<p>① 本 FB は、エラーを復帰する処理は含んでいません。エラー復帰処理については、お客様のシステムや要求動作に合わせて、別途作成してください。</p> <p>② CC-Link IE Field Network パラメータ設定のリフレッシュデバイスの設定を 1.4 項に従って行ってください。</p> <p>③ グローバルラベルの設定を 1.5 項の内容に従って行ってください。</p> <p>④ 割り込みプログラム内で FB を使用することはできません。</p> <p>⑤ 本 FB を複数使用する場合、対象 CC-Link IE Field Network 局番が重複しないように注意してください。</p> <p>⑥ 1 回しか実行されないプログラム(例えば、サブルーチンプログラムや FOR~NEXT)で FB を使用すると、FB_EN(実行命令)の OFF 処理を実行することができず正常な動作ができなくなるため、FB_EN(実行命令)の OFF を実行できるプログラムで使用してください。</p> <p>⑦ 本 FB ではインデックスレジスタ Z5~Z9 を使用しています。割り込みプログラムを使用する場合は、当インデックスレジスタを使用しないでください。</p> <p>⑧ ID タグの UID リードの発信指定、発信設定、処理指定およびオート系コマンド待ち時間設定は、本 FB を実行する前に P+MEE-ECLEF-V680D2_InitDataSet(イニシャルデータ設定)で指定してください。</p> <p>⑨ o_UID(ID タグ UID)には、読出した UID を格納するエリアの先頭デバイスを必ず指定してください。省略はできません。</p> <p>⑩ FB_EN(実行命令)ON 中は、i_Start_IO_No(マスタユニット装着 XY アドレス)、i_Station_No(CC-Link IE Field Network 局番)、i_CH(チャンネル番号)の値を変更しないでください。</p> <p>⑪ P+MEE-ECLEF-V680D2_InitDataSet(イニシャルデータ設定)で指定した発信指定が 0(トリガ)、1(オート)、3(FIFO トリガ)のとき、i_Reception(結果受信)は無視されます。</p> <p>⑫ i_Reception(結果受信)にはパルスを入力してください。</p> <p>⑬ FB 内部でインデックス修飾を用いて Y 信号を操作しているため、本 FB を複数個使用した場合、コンパイル時に 2 重コイルワーニングが発生することがありますが、使用上特に問題はありません。</p> <p>⑭ CC-Link IE Field Network システム用 FB は 1 枚のマスタ・ローカルユニットしか制御できません。2 枚以上のマスタ・ローカルユニットを FB で制御する場合には項「付録 1 2 枚以上のマスタ・ローカルユニットで FB を使用する方法」をご参照ください。</p> <p>⑮ 本 FB の処理が完了しない場合、i_Start_IO_No(マスタユニット装着 XY アドレス)が間違っていないか、または i_Station_No(CC-Link IE Field Network 局番)はネットワークの局番と一致しているか、または本 FB を実行する前に P+MEE-ECLEF-V680D2_InitDataSet(イニシャルデータ設定)が完了しているか確認ください。</p>
FB 動作	パルス型(複数スキャン実行型)

項目	内容
入出力信号の動き	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%;"> <p>【正常終了の場合】 (トリガ, オート, FIFOトリガ)</p> </div> <div style="width: 50%;"> <p>【正常終了の場合】 (リピートオート, FIFOリピート)</p> </div> <div style="width: 50%;"> <p>【異常終了の場合】</p> </div> <div style="width: 50%;"> <p>【ユニットエラーの場合】</p> </div> </div>
関連マニュアル	<p>ECLEF-V680D2 ユーザーズマニュアル(詳細編) (50CM-D180188)</p> <p>MELSEC-Q CC-Link IE フィールドネットワークマスター・ローカルユニットユーザーズマニュアル (SH-080916)</p> <p>MELSEC-L CC-Link IE フィールドネットワークマスター・ローカルユニットユーザーズマニュアル (SH-080971)</p>

エラーコード

■エラーコード一覧

エラーコード	内容	処置方法
11(10進数)	i_Station_No(CC-Link IE Field Network 局番)の指定が範囲外です。	CC-Link IE Field Network 局番は 1~120 を指定してください。
12(10進数)	i_CH(チャンネル番号)の指定が範囲外であるか無効な値です。	チャンネル番号は, 1 または 2 を指定してください。
14(10進数)	ECLEF-V680D2 が ID 命令実行中です。	ID 命令実行が終了してから FB を起動してください。

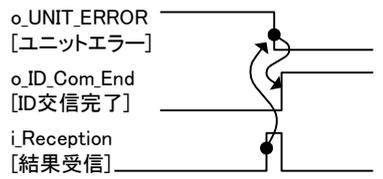
使用ラベル

■入カラベル

名称	変数名	データ型	有効範囲	説明
実行命令	FB_EN	ビット	—	ON:FB を起動する。 OFF:FB を起動しない。
マスタユニット装着 XY アドレス	i_Start_IO_No	ワード	対象の CPU ユニットの 入出力点数範囲によります。 詳細範囲は、対象 CPU のユーザーズ マニュアルを参照し てください。	対象の CC-Link IE Field Network システムマスタ・ロー カルユニットが装着されている 先頭 XY アドレスを 16 進数で 指定します。(例えば X10 の場 合、H10 を入力してください)
CC-Link IE Field Network 局番	i_Station_No	ワード	1~120(10進数)	接続する ECLEF-V680D2 の 局番を入力します。
チャンネル番号	i_CH	ワード	1, 2	書き込みを行うチャンネル番号 を指定します。
結果受信	i_Reception	ビット	—	複数の ID タグから UID の読 出し処理を行う命令を実行し た際、次の結果を受信するた めにパルスを入力します。 ON:次の ID タグの検出を開 始します。



■出カラベル

名称	変数名	データ型	初期値	説明
実行状態	FB_ENO	ビット	OFF	ON:FB 実行中。 OFF:FB 未実行。
完了フラグ	FB_OK	ビット	OFF	ON:FB 正常完了。 OFF:FB 未完了。
異常完了フラグ	FB_ERROR	ビット	OFF	ON:FB 異常完了。 OFF:FB 未完了。
エラーコード	ERROR_ID	ワード	0	FB 内で発生したエラーコードを格納します。
ユニットエラー	o_UNIT_ERROR	ビット	OFF	ON:RFID インタフェースユニットでエラー発生。 OFF:正常。
ユニットエラーコード	o_UNIT_ERR_CODE	ワード	0	RFID インタフェースユニットで発生したエラー詳細を格納します。
ID タグ UID	o_UID	ワード	0	ID タグの UID を格納します。 UID は 4 ワードに格納されます。 UID を格納するエリアの先頭デバイスを必ず指定してください。
ID 交信完了	o_ID_Com_End	ビット	OFF	アンテナ未接続などの要因で RFID インタフェースユニット側が交信を打ち切る際、i_Reception (結果受信)ON 後に ON します。 

FB のバージョンアップ履歴

バージョン	日付	内容
1.00A	2015/10/05	新規作成

お願い

本章はファンクションブロックの機能について記載しております。
 ユニットやシーケンサ CPU の使用上の制限事項、組み合わせによる制限事項などについては記載しておりません。
 ご使用にあたりましては、必ず対象製品のユーザーズマニュアルをお読みいただきますようお願い申し上げます。

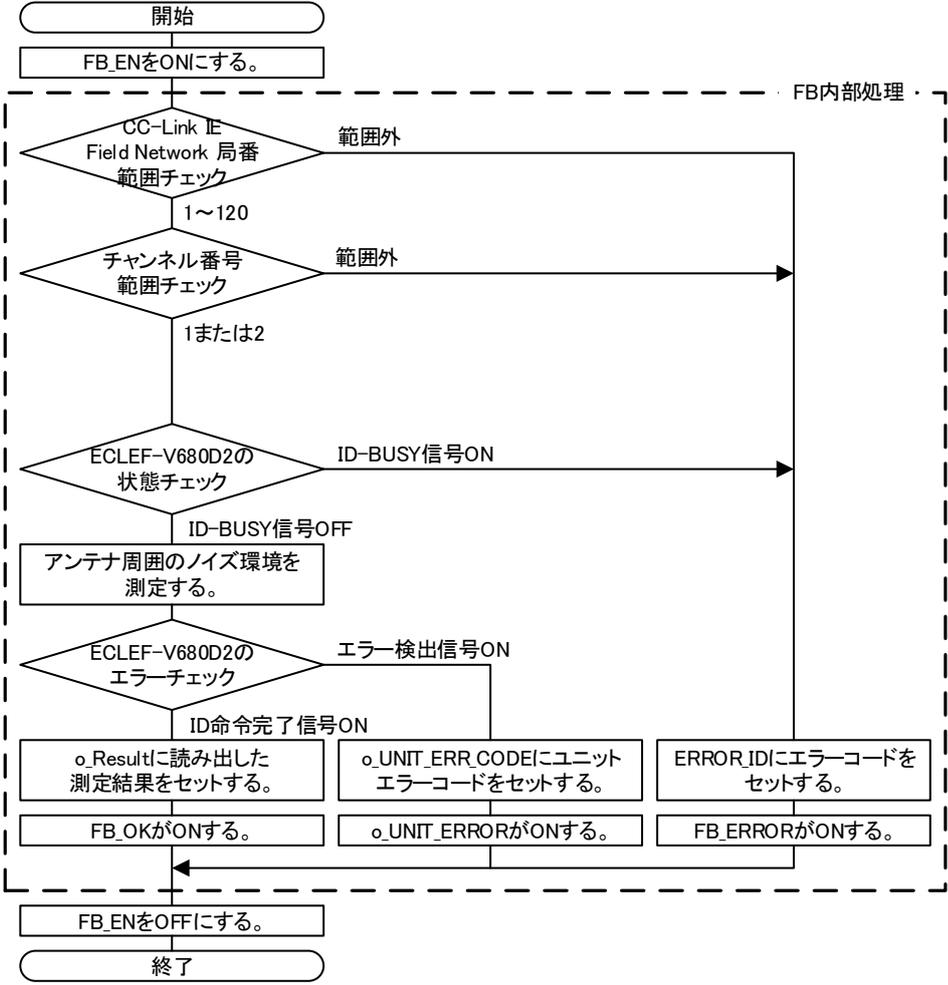
2.6 P+MEE-ECLEF-V680D2_MeasureNoise (ノイズ測定)

名称

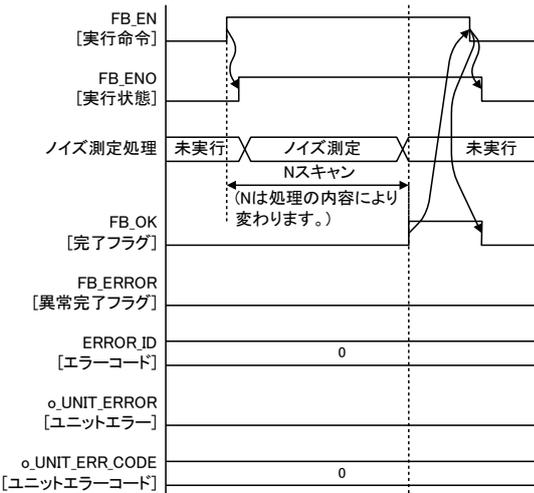
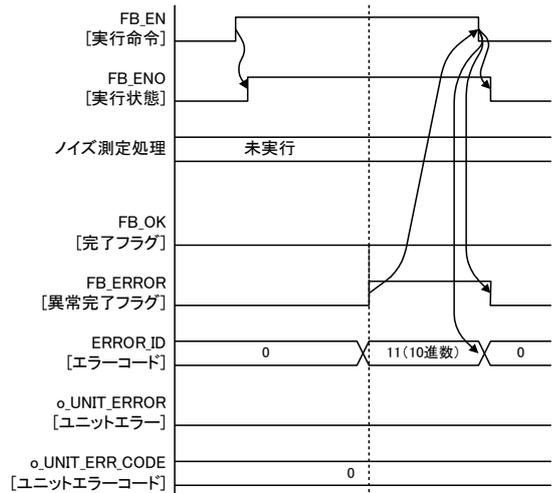
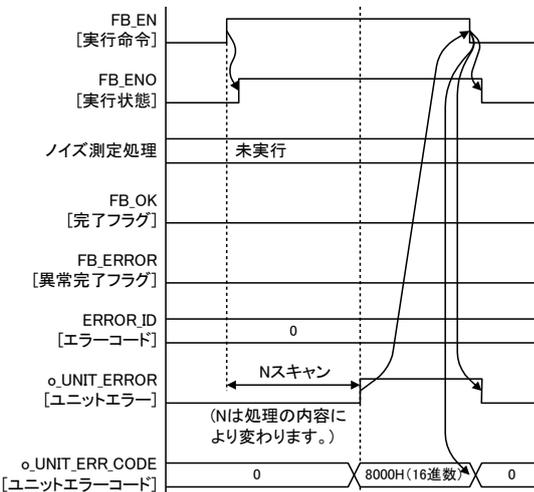
P+MEE-ECLEF-V680D2_MeasureNoise

機能内容

項目	内容																									
機能概要	アンテナ周囲のノイズ環境を測定します。																									
シンボル	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="3">P+MEE-ECLEF-V680D2_MeasureMoise</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="width: 30%;">実行命令</td> <td style="width: 40%;">B:FB_EN</td> <td style="width: 30%;">FB_ENO:B 実行状態</td> </tr> <tr> <td>マスタユニット装着 XYアドレス</td> <td>W:i_Start_IO_No</td> <td>FB_OK:B 完了フラグ</td> </tr> <tr> <td>CC-Link IE Field Network 局番</td> <td>W:i_Station_No</td> <td>FB_ERROR:B 異常完了フラグ</td> </tr> <tr> <td>チャンネル番号</td> <td>W:i_CH</td> <td>ERROR_ID:W エラーコード</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>o_UNIT_ERROR:B ユニットエラー</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>o_UNIT_ERR_CODE:W ユニットエラーコード</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>o_Result:W 測定結果</td> </tr> </tbody> </table>		P+MEE-ECLEF-V680D2_MeasureMoise			実行命令	B:FB_EN	FB_ENO:B 実行状態	マスタユニット装着 XYアドレス	W:i_Start_IO_No	FB_OK:B 完了フラグ	CC-Link IE Field Network 局番	W:i_Station_No	FB_ERROR:B 異常完了フラグ	チャンネル番号	W:i_CH	ERROR_ID:W エラーコード			o_UNIT_ERROR:B ユニットエラー			o_UNIT_ERR_CODE:W ユニットエラーコード			o_Result:W 測定結果
P+MEE-ECLEF-V680D2_MeasureMoise																										
実行命令	B:FB_EN	FB_ENO:B 実行状態																								
マスタユニット装着 XYアドレス	W:i_Start_IO_No	FB_OK:B 完了フラグ																								
CC-Link IE Field Network 局番	W:i_Station_No	FB_ERROR:B 異常完了フラグ																								
チャンネル番号	W:i_CH	ERROR_ID:W エラーコード																								
		o_UNIT_ERROR:B ユニットエラー																								
		o_UNIT_ERR_CODE:W ユニットエラーコード																								
		o_Result:W 測定結果																								
対象機器	対象ユニット	ECLEF-V680D2																								
	対象 CC-Link IE Field Network システム	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>シリーズ</th> <th>モデル</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>MELSEC-Q シリーズ</td> <td>QJ71GF11-T2 ※1 QD77GF16 ※2</td> </tr> <tr> <td>MELSEC-L シリーズ</td> <td>LJ71GF11-T2 ※1</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 シリアル No. の上 5 桁が“14102”以降 ※2 シリアル No. の上 5 桁が“14111”以降</p>	シリーズ	モデル	MELSEC-Q シリーズ	QJ71GF11-T2 ※1 QD77GF16 ※2	MELSEC-L シリーズ	LJ71GF11-T2 ※1																		
	シリーズ	モデル																								
MELSEC-Q シリーズ	QJ71GF11-T2 ※1 QD77GF16 ※2																									
MELSEC-L シリーズ	LJ71GF11-T2 ※1																									
対象 CPU	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>シリーズ</th> <th>モデル</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>MELSEC-Q シリーズ</td> <td>ユニバーサルモデル QCPU</td> </tr> <tr> <td>MELSEC-L シリーズ</td> <td>LCPU ※1</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 シリアル No. の上 5 桁が“13012”以降</p>	シリーズ	モデル	MELSEC-Q シリーズ	ユニバーサルモデル QCPU	MELSEC-L シリーズ	LCPU ※1																			
シリーズ	モデル																									
MELSEC-Q シリーズ	ユニバーサルモデル QCPU																									
MELSEC-L シリーズ	LCPU ※1																									
対象機器	GX Works2	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>シリーズ</th> <th>モデル</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>MELSEC-Q シリーズ</td> <td>Version1.11M 以降</td> </tr> <tr> <td>MELSEC-L シリーズ</td> <td>Version1.20W 以降</td> </tr> </tbody> </table>	シリーズ	モデル	MELSEC-Q シリーズ	Version1.11M 以降	MELSEC-L シリーズ	Version1.20W 以降																		
		シリーズ	モデル																							
		MELSEC-Q シリーズ	Version1.11M 以降																							
MELSEC-L シリーズ	Version1.20W 以降																									
記述言語	ラダー																									

項目	内容
ステップ数	986Step(MELSEC-Q シリーズ ユニバーサルモデルの場合) ※ プログラムに組み込んだ FB のステップ数は、使用する CPU モデルや、入出力定義によって異なります。
機能説明	<p>①FB_EN(実行命令)の ON で、アンテナ周囲のノイズ環境を測定します。測定結果は o_Result(測定結果)で指定した先頭デバイスから格納されます。 測定が完了すると FB_OK(完了フラグ)が ON します。</p>  <pre> graph TD Start([開始]) --> OnFB[FB_ENをONにする。] subgraph FB内部処理 OnFB --> CCLink{CC-Link IE Field Network 局番 範囲チェック 1~120} CCLink -- 範囲外 --> EndFB[FB_ENをOFFにする。] CCLink -- 範囲内 --> Channel{チャンネル番号 範囲チェック 1または2} Channel -- 範囲外 --> EndFB Channel -- 範囲内 --> Status{ECLEF-V680D2の 状態チェック} Status -- ID-BUSY信号ON --> ErrorOn{エラー検出信号ON} Status -- ID-BUSY信号OFF --> Measure[アンテナ周囲のノイズ環境を測定する。] ErrorOn --> SetUnitErr[o_UNIT_ERR_CODEにユニットエラーコードをセットする。] ErrorOn --> SetFBError[FB_ERRORがONする。] Measure --> ErrorCheck{ECLEF-V680D2の エラーチェック} ErrorCheck -- エラー検出信号ON --> SetUnitErr ErrorCheck -- エラー検出信号ON --> SetFBError ErrorCheck -- ID命令完了信号ON --> SetResult[o_Resultに読み出した測定結果をセットする。] ErrorCheck -- ID命令完了信号ON --> SetFBOK[FB_OKがONする。] end EndFB --> OffFB[FB_ENをOFFにする。] OffFB --> End([終了]) </pre> <p>②エラーの場合は、FB_ERROR(異常完了フラグ)が ON し、FB の処理を中断します。また、ERROR_ID にはエラーコードをセットします。 エラーコードの詳細は、エラーコード一覧を参照してください。</p> <p>③ECLEF-V680D2 がエラーとなった場合は、o_UNIT_ERROR(ユニットエラー)が ON し、処理を中断します。また、o_UNIT_ERR_CODE(ユニットエラーコード)にはエラーコードをセットします。 エラーコードの詳細は、ECLEF-V680D2 ユーザーズマニュアル(詳細編)を参照してください。</p> <p>④ノイズ測定中に FB_EN(実行命令)を OFF した場合は FB の処理を中断します。 o_Result(測定結果)にはデータは格納されません。</p>
FB コンパイル方式	マクロ型

項目	内容
制約事項・注意事項等	<p>① 本 FB は、エラーを復帰する処理は含んでいません。エラー復帰処理については、お客様のシステムや要求動作に合わせて、別途作成してください。</p> <p>② CC-Link IE Field Network パラメータ設定のリフレッシュデバイスの設定を 1.4 項に従って行ってください。</p> <p>③ グローバルラベルの設定を 1.5 項の内容に従って行ってください。</p> <p>④ 割り込みプログラム内で FB を使用することはできません。</p> <p>⑤ 本 FB を複数使用する場合、対象 CC-Link IE Field Network 局番が重複しないように注意してください。</p> <p>⑥ 1 回しか実行されないプログラム(例えば、サブルーチンプログラムや FOR~NEXT)で FB を使用すると、FB_EN(実行命令)の OFF 処理を実行することができず正常な動作ができなくなるため、FB_EN(実行命令)の OFF を実行できるプログラムで使用してください。</p> <p>⑦ 本 FB ではインデックスレジスタ Z5~Z9 を使用しています。割り込みプログラムを使用する場合は、当インデックスレジスタを使用しないでください。</p> <p>⑧ o_Result(測定結果)には、ノイズ測定結果を格納するエリアの先頭デバイスを必ず指定してください。省略はできません。</p> <p>⑨ FB_EN(実行命令)ON 中は、i_Start_IO_No(マスタユニット装着 XY アドレス)、i_Station_No(CC-Link IE Field Network 局番)、i_CH(チャンネル番号)の値を変更しないでください。</p> <p>⑩ FB 内部でインデックス修飾を用いて Y 信号を操作しているため、本 FB を複数個使用した場合、コンパイル時に 2 重コイルワーニングが発生することがありますが、使用上特に問題はありません。</p> <p>⑪ CC-Link IE Field Network システム用 FB は 1 枚のマスタ・ローカルユニットしか制御できません。2 枚以上のマスタ・ローカルユニットを FB で制御する場合には項「付録 1 2 枚以上のマスタ・ローカルユニットで FB を使用する方法」をご参照ください。</p> <p>⑫ 本 FB の処理が完了しない場合、i_Start_IO_No(マスタユニット装着 XY アドレス)が間違っていないか、または i_Station_No(CC-Link IE Field Network 局番)はネットワークの局番と一致しているか、または本 FB を実行する前に P+MEE-ECLEF-V680D2_InitDataSet(イニシャルデータ設定)が完了しているか確認ください。</p>
FB 動作	パルス型(複数スキャン実行型)

項目	内容	
入出力信号の動き	<p>【正常終了の場合】</p>  <p>【異常終了の場合】</p> 	<p>【ユニットエラーの場合】</p> 
関連マニュアル	<p>ECLEF-V680D2 ユーザーズマニュアル(詳細編) (50CM-D180188)</p> <p>MELSEC-Q CC-Link IE フィールドネットワークマスター・ローカルユニットユーザーズマニュアル (SH-080916)</p> <p>MELSEC-L CC-Link IE フィールドネットワークマスター・ローカルユニットユーザーズマニュアル (SH-080971)</p>	

エラーコード

■エラーコード一覧

エラーコード	内容	処置方法
11(10進数)	i_Station_No(CC-Link IE Field Network 局番)の指定が範囲外です。	CC-Link IE Field Network 局番は 1~120 を指定してください。
12(10進数)	i_CH(チャンネル番号)の指定が範囲外であるか無効な値です。	チャンネル番号は, 1 または 2 を指定してください。
14(10進数)	ECLEF-V680D2 が ID 命令実行中です。	ID 命令実行が終了してから FB を起動してください。

使用ラベル

■入カラベル

名称	変数名	データ型	有効範囲	説明
実行命令	FB_EN	ビット	—	ON:FB を起動する。 OFF:FB を起動しない。
マスタユニット装着 XY アドレス	i_Start_IO_No	ワード	対象の CPU ユニットの入出力点数範囲によります。 詳細範囲は、対象 CPU のユーザズマニュアルを参照してください。	対象の CC-Link IE Field Network システムマスタ・ローカルユニットが装着されている先頭 XY アドレスを 16 進数で指定します。(例えば X10 の場合、H10 を入力してください)
CC-Link IE Field Network 局番	i_Station_No	ワード	1~120(10進数)	接続する ECLEF-V680D2 の局番を入力します。
チャンネル番号	i_CH	ワード	1, 2	書き込みを行うチャンネル番号を指定します。

■出カラベル

名称	変数名	データ型	初期値	説明
実行状態	FB_ENO	ビット	OFF	ON:FB 実行中。 OFF:FB 未実行。
完了フラグ	FB_OK	ビット	OFF	ON:FB 正常完了。 OFF:FB 未完了。
異常完了フラグ	FB_ERROR	ビット	OFF	ON:FB 異常完了。 OFF:FB 未完了。



名称	変数名	データ型	初期値	説明
エラーコード	ERROR_ID	ワード	0	FB 内で発生したエラーコードを格納します。
ユニットエラー	o_UNIT_ERROR	ビット	OFF	ON:RFID インタフェースユニットでエラー発生。 OFF: 正常。
ユニットエラーコード	o_UNIT_ERR_CODE	ワード	0	RFID インタフェースユニットで発生したエラー詳細を格納します。
測定結果	o_Result	ワード	0	ノイズ測定の測定結果を3ワードに格納します。 格納エリア +0 平均値 0~99(10進数) +1 最大値 0~99(10進数) +2 最小値 0~99(10進数) 測定結果を格納するエリアの先頭デバイスを必ず指定してください。

FB のバージョンアップ履歴

バージョン	日付	内容
1.00A	2015/10/05	新規作成

お願い

本章はファンクションブロックの機能について記載しております。

ユニットやシーケンサ CPU の使用上の制限事項、組み合わせによる制限事項などについては記載しておりません。

ご使用にあたりましては、必ず対象製品のユーザーズマニュアルをお読みいただきますようお願い申し上げます。

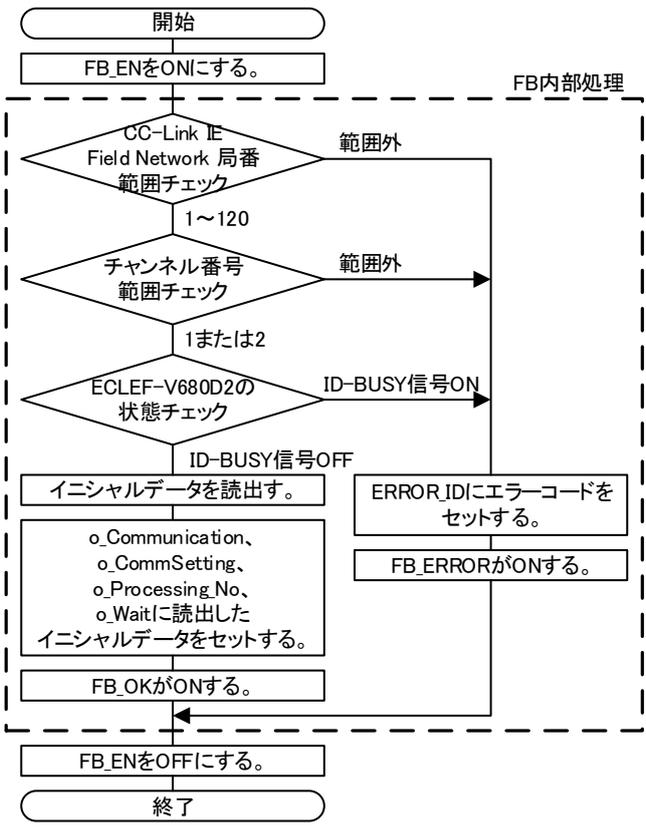
2.7 P+MEE-ECLEF-V680D2_InitDataRead (イニシャルデータリード)

名称

P+MEE-ECLEF-V680D2_InitDataRead

機能内容

項目	内容																																					
機能概要	イニシャルデータを読み出します。																																					
シンボル	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="4">P+MEE-ECLEF-V680D2_InitDataRead</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>実行命令</td> <td>B:FB_EN</td> <td>FB_ENO:B</td> <td>実行状態</td> </tr> <tr> <td>マスタユニット装着 XYアドレス</td> <td>W:i_Start_IO_No</td> <td>FB_OK:B</td> <td>完了フラグ</td> </tr> <tr> <td>CC-Link IE Field Network 局番</td> <td>W:i_Station_No</td> <td>FB_ERROR:B</td> <td>異常完了フラグ</td> </tr> <tr> <td>チャンネル番号</td> <td>W:i_CH</td> <td>ERROR_ID:W</td> <td>エラーコード</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>o_Communication:W</td> <td>交信指定</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>o_CommSetting:W</td> <td>交信設定</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>o_Processing_No:W</td> <td>処理指定</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>o_Wait:W</td> <td>オート系コマンド待ち時間 設定</td> </tr> </tbody> </table>		P+MEE-ECLEF-V680D2_InitDataRead				実行命令	B:FB_EN	FB_ENO:B	実行状態	マスタユニット装着 XYアドレス	W:i_Start_IO_No	FB_OK:B	完了フラグ	CC-Link IE Field Network 局番	W:i_Station_No	FB_ERROR:B	異常完了フラグ	チャンネル番号	W:i_CH	ERROR_ID:W	エラーコード			o_Communication:W	交信指定			o_CommSetting:W	交信設定			o_Processing_No:W	処理指定			o_Wait:W	オート系コマンド待ち時間 設定
P+MEE-ECLEF-V680D2_InitDataRead																																						
実行命令	B:FB_EN	FB_ENO:B	実行状態																																			
マスタユニット装着 XYアドレス	W:i_Start_IO_No	FB_OK:B	完了フラグ																																			
CC-Link IE Field Network 局番	W:i_Station_No	FB_ERROR:B	異常完了フラグ																																			
チャンネル番号	W:i_CH	ERROR_ID:W	エラーコード																																			
		o_Communication:W	交信指定																																			
		o_CommSetting:W	交信設定																																			
		o_Processing_No:W	処理指定																																			
		o_Wait:W	オート系コマンド待ち時間 設定																																			
対象機器	対象ユニット	ECLEF-V680D2																																				
	対象 CC-Link IE Field Network システム	<table border="1"> <thead> <tr> <th>シリーズ</th> <th>モデル</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>MELSEC-Q シリーズ</td> <td>QJ71GF11-T2 ※1 QD77GF16 ※2</td> </tr> <tr> <td>MELSEC-L シリーズ</td> <td>LJ71GF11-T2 ※1</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 シリアル No. の上 5 桁が“14102”以降 ※2 シリアル No. の上 5 桁が“14111”以降</p>	シリーズ	モデル	MELSEC-Q シリーズ	QJ71GF11-T2 ※1 QD77GF16 ※2	MELSEC-L シリーズ	LJ71GF11-T2 ※1																														
シリーズ	モデル																																					
MELSEC-Q シリーズ	QJ71GF11-T2 ※1 QD77GF16 ※2																																					
MELSEC-L シリーズ	LJ71GF11-T2 ※1																																					
対象機器	対象 CPU	<table border="1"> <thead> <tr> <th>シリーズ</th> <th>モデル</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>MELSEC-Q シリーズ</td> <td>ユニバーサルモデル QCPU</td> </tr> <tr> <td>MELSEC-L シリーズ</td> <td>LCPU ※1</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 シリアル No. の上 5 桁が“13012”以降</p>	シリーズ	モデル	MELSEC-Q シリーズ	ユニバーサルモデル QCPU	MELSEC-L シリーズ	LCPU ※1																														
	シリーズ	モデル																																				
MELSEC-Q シリーズ	ユニバーサルモデル QCPU																																					
MELSEC-L シリーズ	LCPU ※1																																					
対象機器	GX Works2	<table border="1"> <thead> <tr> <th>シリーズ</th> <th>モデル</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>MELSEC-Q シリーズ</td> <td>Version1.11M 以降</td> </tr> <tr> <td>MELSEC-L シリーズ</td> <td>Version1.20W 以降</td> </tr> </tbody> </table>	シリーズ	モデル	MELSEC-Q シリーズ	Version1.11M 以降	MELSEC-L シリーズ	Version1.20W 以降																														
シリーズ	モデル																																					
MELSEC-Q シリーズ	Version1.11M 以降																																					
MELSEC-L シリーズ	Version1.20W 以降																																					
記述言語	ラダー																																					

項目	内容
ステップ数	926Step(MELSEC-Q シリーズ ユニバーサルモデルの場合) ※ プログラムに組み込んだ FB のステップ数は、使用する CPU モデルや、入出力定義によって異なります。
機能説明	<p>①FB_EN(実行命令)の ON で、イニシャルデータを読み出します。読出したデータを以下にセットします。o_Communication(交信指定)、o_CommSetting(交信設定)、o_Processing_No(処理指定)、o_Wait(オート系コマンド待ち時間設定)にセットします。読み出しが完了すると FB_OK(完了フラグ)が ON します。</p>  <p>②エラーの場合は、FB_ERROR(異常完了フラグ)が ON し、FB の処理を中断します。また、ERROR_ID にはエラーコードをセットします。エラーコードの詳細は、エラーコード一覧を参照してください。</p>
FB コンパイル方式	マクロ型

項目	内容
制約事項・注意事項等	<ol style="list-style-type: none"> ① 本 FB は、エラーを復帰する処理は含んでいません。エラー復帰処理については、お客様のシステムや要求動作に合わせて、別途作成してください。 ② CC-Link IE Field Network パラメータ設定のリフレッシュデバイスの設定を 1.4 項に従って行ってください。 ③ グローバルラベルの設定を 1.5 項の内容に従って行ってください。 ④ 割り込みプログラム内で FB を使用することはできません。 ⑤ 本 FB を複数使用する場合、対象 CC-Link IE Field Network 局番が重複しないように注意してください。 ⑥ 1 回しか実行されないプログラム(例えば、サブルーチンプログラムや FOR~NEXT)で FB を使用すると、FB_EN(実行命令)の OFF 処理を実行することができず正常な動作ができなくなるため、FB_EN(実行命令)の OFF を実行できるプログラムで使用してください。 ⑦ 本 FB ではインデックスレジスタ Z5~Z9 を使用しています。割り込みプログラムを使用する場合は、当インデックスレジスタを使用しないでください。 ⑧ FB_EN(実行命令)ON 中は、i_Start_IO_No(マスタユニット装着 XY アドレス)、i_Station_No(CC-Link IE Field Network 局番)、i_CH(チャンネル番号)の値を変更しないでください。 ⑨ FB 内部でインデックス修飾を用いて Y 信号を操作しているため、本 FB を複数個使用した場合、コンパイル時に 2 重コイルワーニングが発生することがありますが、使用上特に問題はありません。 ⑩ CC-Link IE Field Network システム用 FB は 1 枚のマスタ・ローカルユニットしか制御できません。2 枚以上のマスタ・ローカルユニットを FB で制御する場合には項「付録 1 2 枚以上のマスタ・ローカルユニットで FB を使用する方法」をご参照ください。 ⑪ 本 FB の処理が完了しない場合、i_Start_IO_No(マスタユニット装着 XY アドレス)が間違っていないか、または i_Station_No(CC-Link IE Field Network 局番)はネットワークの局番と一致しているか、または本 FB を実行する前に P+MEE-ECLEF-V680D2_InitDataSet(イニシャルデータ設定)が完了しているか確認ください。
FB 動作	パルス型(複数スキャン実行型)
入出力信号の動き	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="width: 45%;"> <p>【正常終了の場合】</p> </div> <div style="width: 45%;"> <p>【異常終了の場合】</p> </div> </div>

項目	内容
関連マニュアル	ECLEF-V680D2 ユーザーズマニュアル(詳細編) (50CM-D180188) MELSEC-Q CC-Link IE フィールドネットワークマスタ・ローカルユニットユーザーズマニュアル (SH-080916) MELSEC-L CC-Link IE フィールドネットワークマスタ・ローカルユニットユーザーズマニュアル (SH-080971)

エラーコード

■エラーコード一覧

エラーコード	内容	処置方法
11(10進数)	i_Station_No(CC-Link IE Field Network 局番)の指定が範囲外です。	CC-Link IE Field Network 局番は 1~120 を指定してください。
12(10進数)	i_CH(チャンネル番号)の指定が範囲外であるか無効な値です。	チャンネル番号は, 1 または 2 を指定してください。
14(10進数)	ECLEF-V680D2 が ID 命令実行中です。	ID 命令実行が終了してから FB を起動してください。

使用ラベル

■入カラベル

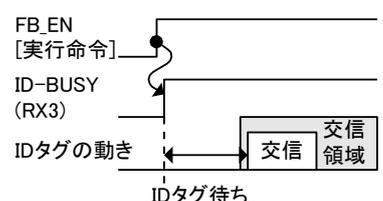
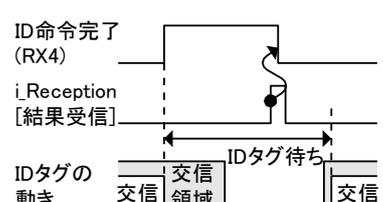
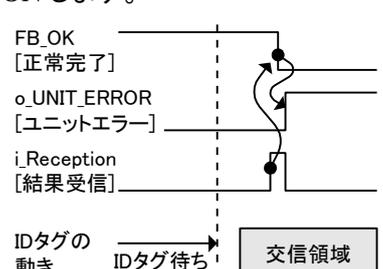
名称	変数名	データ型	有効範囲	説明
実行命令	FB_EN	ビット	—	ON:FB を起動する。 OFF:FB を起動しない。
マスタユニット装着 XY アドレス	i_Start_IO_No	ワード	対象の CPU ユニ ットの入出力点数 範囲によります。 詳細範囲は、対 象 CPU のユーザ ーズマニュアルを 参照してくださ い。	対象の CC-Link IE Field Network システムマスタ・ローカルユニット が装着されている先頭 XY アドレ スを 16 進数で指定します。(例え ば X10 の場合、H10 を入力してく ださい)
CC-Link IE Field Network 局番	i_Station_No	ワード	1~120(10 進数)	接続する ECLEF-V680D2 の局番 を入力します。
チャンネル番号	i_CH	ワード	1, 2	書込みを行うチャンネル番号を指 定します。

■出カラベル

名称	変数名	データ型	初期値	説明
実行状態	FB_ENO	ビット	OFF	ON:FB 実行中。 OFF:FB 未実行。
完了フラグ	FB_OK	ビット	OFF	ON:FB 正常完了。 OFF:FB 未完了。
異常完了フラグ	FB_ERROR	ビット	OFF	ON:FB 異常完了。 OFF:FB 未完了。
エラーコード	ERROR_ID	ワード	0	FB 内で発生したエラーコードを格 納します。
交信指定	o_Communication	ワード	0	ID タグに対する交信方法が格納さ れます。 0:トリガ 1:オート 2:リピートオート 3:FIFOトリガ 4:FIFOリピート



名称	変数名	データ型	初期値	説明										
交信設定	o_CommSetting	ワード	0	<p>ID タグに対するの交信設定が格納されます。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>ビット</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>0</td> <td>ライトベリファイ設定 0: 実行する 1: 実行しない</td> </tr> <tr> <td>1</td> <td>ID タグ交信速度設定 0: 標準モード 1: 高速モード</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>ライトプロテクト設定 0: 有効 1: 無効</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>リード／ライトデータコード設定 0: ASCII/HEX 変換なし 1: ASCII/HEX 変換あり</td> </tr> </tbody> </table> <p>ビット 4～15 は 0。</p>	ビット	内容	0	ライトベリファイ設定 0: 実行する 1: 実行しない	1	ID タグ交信速度設定 0: 標準モード 1: 高速モード	2	ライトプロテクト設定 0: 有効 1: 無効	3	リード／ライトデータコード設定 0: ASCII/HEX 変換なし 1: ASCII/HEX 変換あり
ビット	内容													
0	ライトベリファイ設定 0: 実行する 1: 実行しない													
1	ID タグ交信速度設定 0: 標準モード 1: 高速モード													
2	ライトプロテクト設定 0: 有効 1: 無効													
3	リード／ライトデータコード設定 0: ASCII/HEX 変換なし 1: ASCII/HEX 変換あり													
処理指定	o_Processing_No	ワード	0	<p>ID タグに対するコマンドのデータ処理方法が格納されます。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>コマンド</th> <th>処理指定</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>リード</td> <td rowspan="3">データ格納順 0: 上位→下位 1: 下位→上位</td> </tr> <tr> <td>ライト</td> </tr> <tr> <td>データフィル</td> </tr> </tbody> </table> <p>詳細は、各コマンドの機能説明を参照してください。 上記コマンド以外は、処理指定を使用しません。</p>	コマンド	処理指定	リード	データ格納順 0: 上位→下位 1: 下位→上位	ライト	データフィル				
コマンド	処理指定													
リード	データ格納順 0: 上位→下位 1: 下位→上位													
ライト														
データフィル														

名称	変数名	データ型	初期値	説明
オート系コマンド 待ち時間設定	o_Wait	ワード	0	<p>交信指定がオート系コマンド(オート、リピートオート、FIFO リピート)の場合の、ID タグの検出待ち時間が 0.1 秒単位で格納されます。(例えば 30 秒の場合、K300 が格納されます。)</p> <p>ID タグからの応答があるまで検出待ちの場合は 0 が格納されます。各 FB でコマンドを実行するときの待ち時間を下図に示します。</p> <p>【オート、リピートオート、FIFO リピートの場合】</p>  <p>【リピートオート、FIFO リピートの場合】</p>  <p>i_Reception(結果受信)ON 前に設定した待ち時間が経過したときは、i_Reception(結果受信)ON 後に o_UNIT_ERROR(ユニットエラー)が ON します。</p> 

FB のバージョンアップ履歴

バージョン	日付	内容
1.00A	2015/10/05	新規作成

お願い

本章はファンクションブロックの機能について記載しております。
ユニットやシーケンサ CPU の使用上の制限事項、組み合わせによる制限事項などについては記載しておりません。
ご使用にあたりましては、必ず対象製品のユーザーズマニュアルをお読みいただきますようお願い申し上げます。

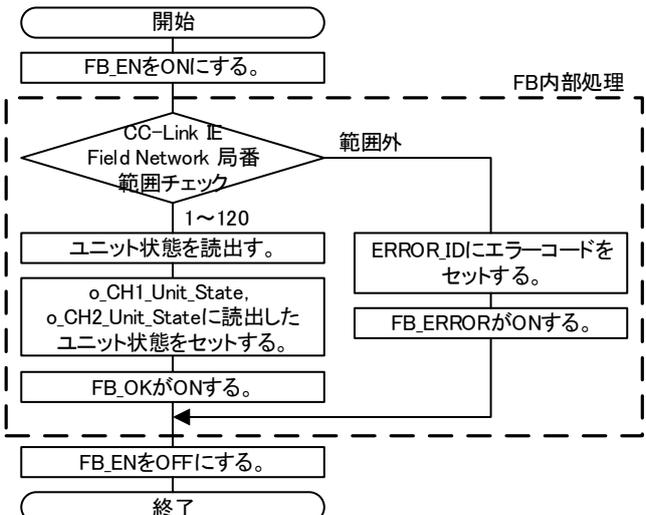
2.8 P+MEE-ECLEF-V680D2_StatusRead (ユニット状態読出し)

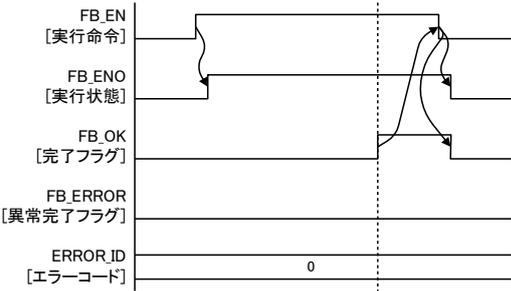
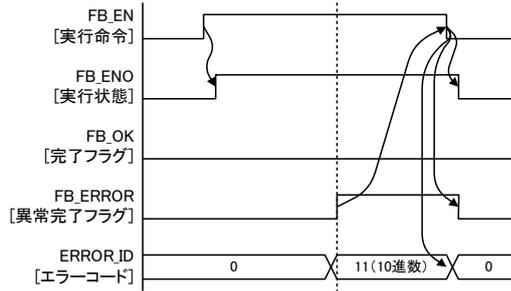
名称

P+MEE-ECLEF-V680D2_StatusRead

機能内容

項目	内容																												
機能概要	ユニット状態を読出します。																												
シンボル	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="3">P+MEE-ECLEF-V680D2_StatusRead</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>実行命令</td> <td>B:FB_EN</td> <td>FB_ENO:B</td> <td>実行状態</td> </tr> <tr> <td>マスタユニット装着 XYアドレス</td> <td>W:i_Start_IO_No</td> <td>FB_OK:B</td> <td>完了フラグ</td> </tr> <tr> <td>CC-Link IE Field Network 局番</td> <td>W:i_Station_No</td> <td>FB_ERROR:B</td> <td>異常完了フラグ</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>ERROR_ID:W</td> <td>エラーコード</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>o_CH1_Unit_State:W</td> <td>ユニット状態(CH1)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>o_CH2_Unit_State:W</td> <td>ユニット状態(CH2)</td> </tr> </tbody> </table>		P+MEE-ECLEF-V680D2_StatusRead			実行命令	B:FB_EN	FB_ENO:B	実行状態	マスタユニット装着 XYアドレス	W:i_Start_IO_No	FB_OK:B	完了フラグ	CC-Link IE Field Network 局番	W:i_Station_No	FB_ERROR:B	異常完了フラグ			ERROR_ID:W	エラーコード			o_CH1_Unit_State:W	ユニット状態(CH1)			o_CH2_Unit_State:W	ユニット状態(CH2)
P+MEE-ECLEF-V680D2_StatusRead																													
実行命令	B:FB_EN	FB_ENO:B	実行状態																										
マスタユニット装着 XYアドレス	W:i_Start_IO_No	FB_OK:B	完了フラグ																										
CC-Link IE Field Network 局番	W:i_Station_No	FB_ERROR:B	異常完了フラグ																										
		ERROR_ID:W	エラーコード																										
		o_CH1_Unit_State:W	ユニット状態(CH1)																										
		o_CH2_Unit_State:W	ユニット状態(CH2)																										
対象機器	対象ユニット	ECLEF-V680D2																											
	対象 CC-Link IE Field Network システム	<table border="1"> <thead> <tr> <th>シリーズ</th> <th>モデル</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>MELSEC-Q シリーズ</td> <td>QJ71GF11-T2 ※1 QD77GF16 ※2</td> </tr> <tr> <td>MELSEC-L シリーズ</td> <td>LJ71GF11-T2 ※1</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 シリアル No. の上 5 桁が“14102”以降 ※2 シリアル No. の上 5 桁が“14111”以降</p>	シリーズ	モデル	MELSEC-Q シリーズ	QJ71GF11-T2 ※1 QD77GF16 ※2	MELSEC-L シリーズ	LJ71GF11-T2 ※1																					
	シリーズ	モデル																											
	MELSEC-Q シリーズ	QJ71GF11-T2 ※1 QD77GF16 ※2																											
MELSEC-L シリーズ	LJ71GF11-T2 ※1																												
対象 CPU	<table border="1"> <thead> <tr> <th>シリーズ</th> <th>モデル</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>MELSEC-Q シリーズ</td> <td>ユニバーサルモデル QCPU</td> </tr> <tr> <td>MELSEC-L シリーズ</td> <td>LCPU ※1</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 シリアル No. の上 5 桁が“13012”以降</p>	シリーズ	モデル	MELSEC-Q シリーズ	ユニバーサルモデル QCPU	MELSEC-L シリーズ	LCPU ※1																						
シリーズ	モデル																												
MELSEC-Q シリーズ	ユニバーサルモデル QCPU																												
MELSEC-L シリーズ	LCPU ※1																												
GX Works2	<table border="1"> <thead> <tr> <th>シリーズ</th> <th>モデル</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>MELSEC-Q シリーズ</td> <td>Version1.11M 以降</td> </tr> <tr> <td>MELSEC-L シリーズ</td> <td>Version1.20W 以降</td> </tr> </tbody> </table>	シリーズ	モデル	MELSEC-Q シリーズ	Version1.11M 以降	MELSEC-L シリーズ	Version1.20W 以降																						
シリーズ	モデル																												
MELSEC-Q シリーズ	Version1.11M 以降																												
MELSEC-L シリーズ	Version1.20W 以降																												
記述言語	ラダー																												
ステップ数	607Step(MELSEC-Q シリーズ ユニバーサルモデルの場合) ※ プログラムに組み込んだ FB のステップ数は、使用する CPU モデルや、入出力定義によって異なります。																												

項目	内容
機能説明	<p>①FB_EN(実行命令)の ON で、ユニット状態を読み出します。読み出したユニット状態は o_Unit_State(ユニット状態)にセットします。 読み出しが完了するとFB_OK(完了フラグ)が ON します。</p>  <pre> graph TD Start([開始]) --> FB_EN_ON[FB_ENをONにする。] subgraph FB内部処理 FB_EN_ON --> RangeCheck{CC-Link IE Field Network 局番 範囲チェック} RangeCheck -- 範囲外 --> SetError[ERROR_IDにエラーコードをセットする。] SetError --> FB_ERROR_ON[FB_ERRORがONする。] RangeCheck -- 1~120 --> ReadStatus[ユニット状態を読み出す。] ReadStatus --> SetStatus[o_CH1_Unit_State, o_CH2_Unit_Stateに読み出したユニット状態をセットする。] SetStatus --> FB_OK_ON[FB_OKがONする。] end FB_ERROR_ON --> FB_OK_ON FB_OK_ON --> FB_EN_OFF[FB_ENをOFFにする。] FB_EN_OFF --> End([終了]) </pre> <p>②本 FB は FB_EN(実行命令)の ON で 1 回のみ動作します。 ③エラーの場合は、FB_ERROR(異常完了フラグ)が ON し、FB の処理を中断します。また、ERROR_ID にはエラーコードをセットします。 エラーコードの詳細は、エラーコード一覧を参照してください。</p>
FB コンパイル方式	マクロ型
制約事項・注意事項等	<p>① 本 FB は、エラーを復帰する処理は含んでいません。エラー復帰処理については、お客様のシステムや要求動作に合わせて、別途作成してください。</p> <p>② CC-Link IE Field Network パラメータ設定のリフレッシュデバイスの設定を 1.4 項に従って行ってください。</p> <p>③ グローバルラベルの設定を 1.5 項の内容に従って行ってください。</p> <p>④ 割込みプログラム内で FB を使用することはできません。</p> <p>⑤ 本 FB を複数使用する場合、対象 CC-Link IE Field Network 局番が重複しないように注意してください。</p> <p>⑥ 1 回しか実行されないプログラム(例えば、サブルーチンプログラムや FOR~NEXT)で FB を使用すると、FB_EN(実行命令)の OFF 処理を実行することができず正常な動作ができなくなるため、FB_EN(実行命令)の OFF を実行できるプログラムで使用してください。</p> <p>⑦ 本 FB ではインデックスレジスタ Z5~Z9 を使用しています。割込みプログラムを使用する場合は、当インデックスレジスタを使用しないでください。</p> <p>⑧ FB_EN(実行命令)ON 中は、i_Start_IO_No(マスタユニット装着 XY アドレス)、i_Station_No(CC-Link IE Field Network 局番)の値を変更しないでください。</p> <p>⑨ FB 内部でインデックス修飾を用いて Y 信号を操作しているため、本 FB を複数個使用した場合、コンパイル時に 2 重コイルワーニングが発生することがありますが、使用上特に問題はありません。</p>

項目	内容
	<p>⑩ CC-Link IE Field Network システム用 FB は 1 枚のマスタ・ローカルユニットしか制御できません。2 枚以上のマスタ・ローカルユニットを FB で制御する場合には項「付録1 2 枚以上のマスタ・ローカルユニットで FB を使用する方法」をご参照ください。</p> <p>⑪ 本 FB の処理が完了しない場合、i_Start_IO_No(マスタユニット装着 XY アドレス)が間違っていないか、または i_Station_No(CC-Link IE Field Network 局番)はネットワークの局番と一致しているか、または本 FB を実行する前に P+MEE-ECLEF-V680D2_InitDataSet(イニシャルデータ設定)が完了しているか確認ください。</p>
FB 動作	パルス型(複数スキャン実行型)
入出力信号の動き	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="width: 45%;"> <p>【正常終了の場合】</p>  </div> <div style="width: 45%;"> <p>【異常終了の場合】</p>  </div> </div>
関連マニュアル	<p>ECLEF-V680D2 ユーザーズマニュアル(詳細編) (50CM-D180188)</p> <p>MELSEC-Q CC-Link IE フィールドネットワークマスタ・ローカルユニットユーザーズマニュアル (SH-080916)</p> <p>MELSEC-L CC-Link IE フィールドネットワークマスタ・ローカルユニットユーザーズマニュアル (SH-080971)</p>

エラーコード

■エラーコード一覧

エラーコード	内容	処置方法
11(10進数)	i_Station_No(CC-Link IE Field Network 局番)の指定が範囲外です。	CC-Link IE Field Network 局番は 1~120 を指定してください。

使用ラベル

■入カラベル

名称	変数名	データ型	有効範囲	説明
実行命令	FB_EN	ビット	—	ON:FB を起動する。 OFF:FB を起動しない。
マスタユニット装着 XY アドレス	i_Start_IO_No	ワード	対象のCPU ユニットの 入出力点数範囲によります。 詳細範囲は、対象 CPU のユーザーズ マニュアルを参照し てください。	対象の CC-Link IE Field Network システムマスタ・ロー カルユニットが装着されている 先頭 XY アドレスを 16 進数で 指定します。(例えば X10 の場 合、H10 を入力してください)
CC-Link IE Field Network 局番	i_Station_No	ワード	1~120(10進数)	接続する ECLEF-V680D2 の 局番を入力します。

■出カラベル

名称	変数名	データ型	初期値	説明
実行状態	FB_ENO	ビット	OFF	ON:FB 実行中。 OFF:FB 未実行。
完了フラグ	FB_OK	ビット	OFF	ON:FB 正常完了。 OFF:FB 未完了。
異常完了フラグ	FB_ERROR	ビット	OFF	ON:FB 異常完了。 OFF:FB 未完了。
エラーコード	ERROR_ID	ワード	0	FB 内で発生したエラーコードを 格納します。



名称	変数名	データ型	初期値	説明
ユニット状態	o_CH1_Unit_State (CH1) o_CH2_Unit_State (CH2)	ワード	0	RFID インタフェースユニットの状態を確認できます。 <u>ビット0:アンテナエラー</u> 0:正常、もしくはアンテナ未接続。 1:設定アンテナと異なるアンテナが接続されています。 <u>ビット1:未使用</u> <u>ビット2:テストモード</u> 0:RUN モード中。 1:テストモード中。 <u>ビット3~15:未使用</u>

FB のバージョンアップ履歴

バージョン	日付	内容
1.00A	2015/10/05	新規作成

お願い

本章はファンクションブロックの機能について記載しております。
ユニットやシーケンサ CPU の使用上の制限事項、組み合わせによる制限事項などについては記載しておりません。
ご使用にあたりましては、必ず対象製品のユーザーズマニュアルをお読みいただきますようお願い申し上げます。

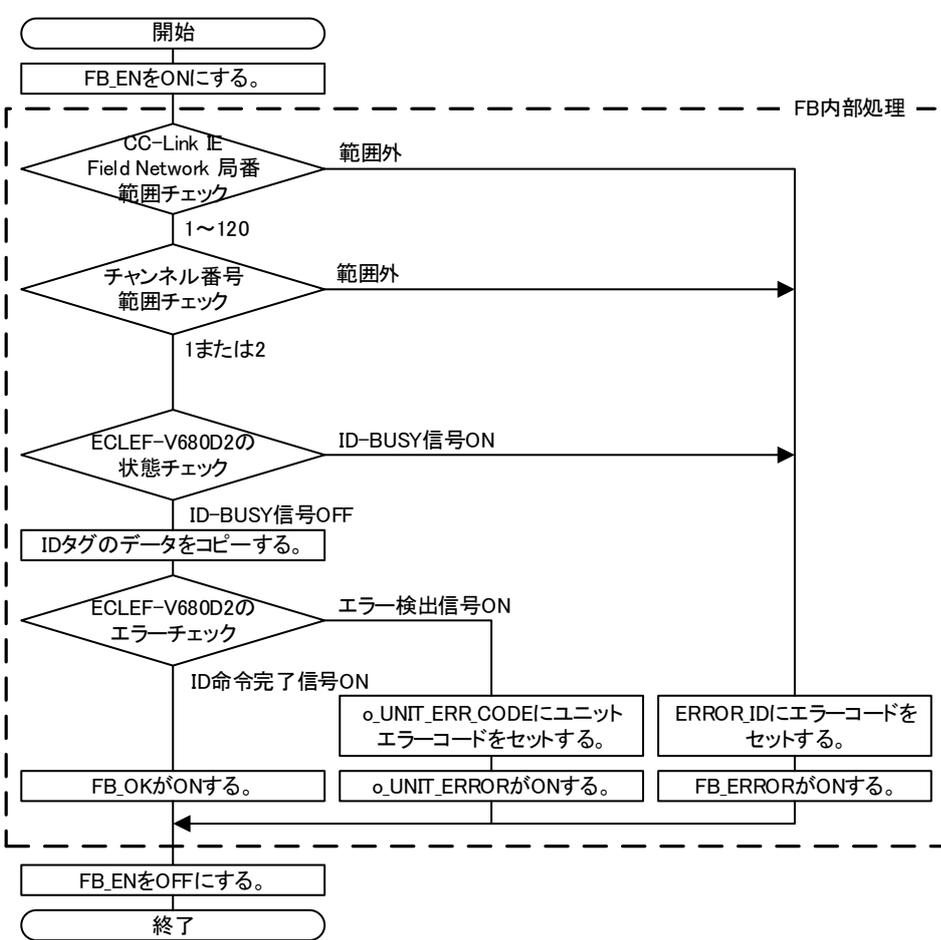
2.9 P+MEE-ECLEF-V680D2_Copy (ID タグ間のコピー)

名称

P+MEE-ECLEF-V680D2_Copy

機能内容

項目	内容																																	
機能概要	チャンネル 1 とチャンネル 2 の間で ID タグのデータをコピーします。																																	
シンボル	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="4" style="text-align: center;">P+MEE-ECLEF-V680D2_Copy</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="width: 20%;">実行命令</td> <td style="width: 20%;">B:FB_EN</td> <td style="width: 20%;">FB_ENO:B</td> <td style="width: 20%;">実行状態</td> </tr> <tr> <td>マスタユニット装着 XYアドレス</td> <td>W:i_Start_IO_No</td> <td>FB_OK:B</td> <td>完了フラグ</td> </tr> <tr> <td>CC-Link IE Field Network局番</td> <td>W:i_Station_No</td> <td>FB_ERROR:B</td> <td>異常完了フラグ</td> </tr> <tr> <td>チャンネル番号</td> <td>W:i_CH</td> <td>ERROR_ID:W</td> <td>エラーコード</td> </tr> <tr> <td>コピー元先頭アドレス指定</td> <td>W:i_Src_Address</td> <td>o_UNIT_ERROR:B</td> <td>ユニットエラー</td> </tr> <tr> <td>処理点数指定</td> <td>W:i_Copy_Byte</td> <td>o_UNIT_ERR_CODE:W</td> <td>ユニットエラーコード</td> </tr> <tr> <td>コピー先先頭アドレス指定</td> <td>W:i_Des_Address</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		P+MEE-ECLEF-V680D2_Copy				実行命令	B:FB_EN	FB_ENO:B	実行状態	マスタユニット装着 XYアドレス	W:i_Start_IO_No	FB_OK:B	完了フラグ	CC-Link IE Field Network局番	W:i_Station_No	FB_ERROR:B	異常完了フラグ	チャンネル番号	W:i_CH	ERROR_ID:W	エラーコード	コピー元先頭アドレス指定	W:i_Src_Address	o_UNIT_ERROR:B	ユニットエラー	処理点数指定	W:i_Copy_Byte	o_UNIT_ERR_CODE:W	ユニットエラーコード	コピー先先頭アドレス指定	W:i_Des_Address		
P+MEE-ECLEF-V680D2_Copy																																		
実行命令	B:FB_EN	FB_ENO:B	実行状態																															
マスタユニット装着 XYアドレス	W:i_Start_IO_No	FB_OK:B	完了フラグ																															
CC-Link IE Field Network局番	W:i_Station_No	FB_ERROR:B	異常完了フラグ																															
チャンネル番号	W:i_CH	ERROR_ID:W	エラーコード																															
コピー元先頭アドレス指定	W:i_Src_Address	o_UNIT_ERROR:B	ユニットエラー																															
処理点数指定	W:i_Copy_Byte	o_UNIT_ERR_CODE:W	ユニットエラーコード																															
コピー先先頭アドレス指定	W:i_Des_Address																																	
対象機器	対象ユニット	ECLEF-V680D2																																
	対象 CC-Link IE Field Network システム	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%;">シリーズ</th> <th style="width: 50%;">モデル</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">MELSEC-Q シリーズ</td> <td>QJ71GF11-T2 ※1</td> </tr> <tr> <td>QD77GF16 ※2</td> </tr> <tr> <td>MELSEC-L シリーズ</td> <td>LJ71GF11-T2 ※1</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 シリアル No. の上 5 桁が“14102”以降 ※2 シリアル No. の上 5 桁が“14111”以降</p>	シリーズ	モデル	MELSEC-Q シリーズ	QJ71GF11-T2 ※1	QD77GF16 ※2	MELSEC-L シリーズ	LJ71GF11-T2 ※1																									
シリーズ	モデル																																	
MELSEC-Q シリーズ	QJ71GF11-T2 ※1																																	
	QD77GF16 ※2																																	
MELSEC-L シリーズ	LJ71GF11-T2 ※1																																	
対象機器	対象 CPU	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%;">シリーズ</th> <th style="width: 50%;">モデル</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>MELSEC-Q シリーズ</td> <td>ユニバーサルモデル QCPU</td> </tr> <tr> <td>MELSEC-L シリーズ</td> <td>LCPU ※1</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 シリアル No. の上 5 桁が“13012”以降</p>	シリーズ	モデル	MELSEC-Q シリーズ	ユニバーサルモデル QCPU	MELSEC-L シリーズ	LCPU ※1																										
	シリーズ	モデル																																
MELSEC-Q シリーズ	ユニバーサルモデル QCPU																																	
MELSEC-L シリーズ	LCPU ※1																																	
対象機器	GX Works2	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%;">シリーズ</th> <th style="width: 50%;">モデル</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>MELSEC-Q シリーズ</td> <td>Version1.11M 以降</td> </tr> <tr> <td>MELSEC-L シリーズ</td> <td>Version1.20W 以降</td> </tr> </tbody> </table>	シリーズ	モデル	MELSEC-Q シリーズ	Version1.11M 以降	MELSEC-L シリーズ	Version1.20W 以降																										
シリーズ	モデル																																	
MELSEC-Q シリーズ	Version1.11M 以降																																	
MELSEC-L シリーズ	Version1.20W 以降																																	
記述言語	ラダー																																	

項目	内容
ステップ数	1002Step(MELSEC-Q シリーズ ユニバーサルモデルの場合) ※ プログラムに組み込んだ FB のステップ数は、使用する CPU モデルや、入出力定義によって異なります。
機能説明	<p>①FB_EN(実行命令)の ON で、コピー元の ID タグのデータを読み出し、コピー先の ID タグヘデータを書込みます。 コピーが完了すると FB_OK(完了フラグ)が ON します。</p>  <p>②コピー元の 発信指定はトリガまたはオートのみ指定可能です。コピー先の 発信指定は選択できず、トリガで実行します。</p> <p>③エラーの場合は、FB_ERROR(異常完了フラグ)が ON し、FB の処理を中断します。また、ERROR_ID にはエラーコードをセットします。 エラーコードの詳細は、エラーコード一覧を参照してください。</p> <p>④ECLEF-V680D2 がエラーとなった場合は、o_UNIT_ERROR(ユニットエラー)が ON し、処理を中断します。また、o_UNIT_ERR_CODE(ユニットエラーコード)にはエラーコードをセットします。 エラーコードの詳細は、ECLEF-V680D2 ユーザーズマニュアル(詳細編)を参照してください。</p> <p>⑤コピー処理中に FB_EN(実行指令)を OFF した場合は FB の処理を中断します。 ID タグヘデータ書き込み中であれば最後まで書込まれます。</p>
FB コンパイル方式	マクロ型

項目	内容
制約事項・注意事項等	<p>① 本 FB は、エラーを復帰する処理は含んでいません。エラー復帰処理については、お客様のシステムや要求動作に合わせて、別途作成してください。</p> <p>② CC-Link IE Field Network パラメータ設定のリフレッシュデバイスの設定を 1.4 項に従って行ってください。</p> <p>③ グローバルラベルの設定を 1.5 項の内容に従って行ってください。</p> <p>④ 割込みプログラム内で FB を使用することはできません。</p> <p>⑤ 本 FB を複数使用することはできません。</p> <p>⑥ 本 FB ではインデックスレジスタ Z5～Z9 を使用しています。割込みプログラムを使用する場合は、当インデックスレジスタを使用しないでください。</p> <p>⑦ ID タグ間のコピーの交信指定、およびオート系コマンド待ち時間設定は、本 FB を実行する前に P+MEE-ECLEF-V680D2_InitDataSet(イニシャルデータ設定)で指定してください。</p> <p>⑧ FB_EN(実行命令)ON 中は、i_Start_IO_No(マスタユニット装着 XY アドレス)、i_Station_No(CC-Link IE Field Network 局番)、i_CH(チャンネル番号)、i_Src_Address(コピー元先頭アドレス指定)、i_Copyt_Byte(処理点数指定)、i_Des_Address(コピー先アドレス指定)の値を変更しないでください。</p> <p>⑨ FB 内部でインデックス修飾を用いて Y 信号を操作しているため、本 FB を複数個使用した場合、コンパイル時に 2 重コイルワーニングが発生することがありますが、使用上特に問題はありません。</p> <p>⑩ CC-Link IE Field Network システム用 FB は 1 枚のマスタ・ローカルユニットしか制御できません。2 枚以上のマスタ・ローカルユニットを FB で制御する場合には項「付録1 2 枚以上のマスタ・ローカルユニットで FB を使用する方法」をご参照ください。</p> <p>⑪ 本 FB の処理が完了しない場合、i_Start_IO_No(マスタユニット装着 XY アドレス)が間違っていないか、または i_Station_No(CC-Link IE Field Network 局番)はネットワークの局番と一致しているか、または本 FB を実行する前に P+MEE-ECLEF-V680D2_InitDataSet(イニシャルデータ設定)が完了しているか確認ください。</p>
FB 動作	パルス型(複数スキャン実行型)

項目	内容
入出力信号の動き	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 48%;"> <p>【正常終了の場合】</p> </div> <div style="width: 48%;"> <p>【異常終了の場合】</p> </div> <div style="width: 48%;"> <p>【ユニットエラーの場合】</p> </div> </div>
関連マニュアル	<p>ECLEF-V680D2 ユーザーズマニュアル(詳細編) (50CM-D180188)</p> <p>MELSEC-Q CC-Link IE フィールドネットワークマスター・ローカルユニットユーザーズマニュアル (SH-080916)</p> <p>MELSEC-L CC-Link IE フィールドネットワークマスター・ローカルユニットユーザーズマニュアル (SH-080971)</p>

エラーコード

■エラーコード一覧

エラーコード	内容	処置方法
11(10進数)	i_Station_No(CC-Link IE Field Network 局番)の指定が範囲外です。	CC-Link IE Field Network 局番は 1~120 を指定してください。
12(10進数)	i_CH(チャンネル番号)の指定が範囲外であるか無効な値です。	チャンネル番号は, 1 または 2 を指定してください。
14(10進数)	ECLEF-V680D2 が ID 命令実行中です。	ID 命令実行が終了してから FB を起動してください。

使用ラベル

■入カラベル

名称	変数名	データ型	有効範囲	説明
実行命令	FB_EN	ビット	—	ON:FB を起動する。 OFF:FB を起動しない。
マスタユニット装着 XY アドレス	i_Start_IO_No	ワード	対象の CPU ユニットの 入出力点数範囲によります。 詳細範囲は、対象 CPU のユーザズ マニュアルを参照し てください。	対象の CC-Link IE Field Network システムマスタ・ロー カルユニットが装着されている 先頭 XY アドレスを 16 進数で 指定します。(例えば X10 の場 合、H10 を入力してください)
CC-Link IE Field Network 局番	i_Station_No	ワード	1~120(10進数)	接続する ECLEF-V680D2 の 局番を入力します。
チャンネル番号	i_CH	ワード	1, 2	コピー元のチャンネル番号を 指定します。
コピー元先頭アドレス指定	i_Src_Address	ワード	0000~FFFF (16進数)	コピー元の ID タグの先頭アド レスを指定します。
処理点数指定	i_Copy_Byte	ワード	0001~0800 (16進数)	コピーを行うバイト数を指定し ます。
コピー先先頭アドレス指定	i_Des_Address	ワード	0000~FFFF (16進数)	コピー先の ID タグの先頭アド レスを指定します。



■出カラベル

名称	変数名	データ型	初期値	説明
実行状態	FB_ENO	ビット	OFF	ON:FB 実行中。 OFF:FB 未実行。
完了フラグ	FB_OK	ビット	OFF	ON:FB 正常完了。 OFF:FB 未完了。
異常完了フラグ	FB_ERROR	ビット	OFF	ON:FB 異常完了。 OFF:FB 未完了。
エラーコード	ERROR_ID	ワード	0	FB 内で発生したエラーコードを格納します。
ユニットエラー	o_UNIT_ERROR	ビット	OFF	ON:RFID インタフェースユニットでエラー発生。 OFF:正常。
ユニットエラーコード	o_UNIT_ERR_CODE	ワード	0	RFID インタフェースユニットで発生したエラー詳細を格納します。

FB のバージョンアップ履歴

バージョン	日付	内容
1.00A	2015/10/05	新規作成

お願い

本章はファンクションブロックの機能について記載しております。
 ユニットやシーケンサ CPU の使用上の制限事項、組み合わせによる制限事項などについては記載しておりません。
 ご使用にあたりましては、必ず対象製品のユーザーズマニュアルをお読みいただきますようお願い申し上げます。

付録1. 2枚以上のマスタ・ローカルユニットでFBを使用する方法

CC-Link IE Field Network マスタ・ローカルユニットを2枚以上使用し、2枚目以降のCC-Link IE Field Network マスタ・ローカルユニットでFBを使用する場合、以下の手順にてMELSOFT LibraryのCC-Link IE Field Network マスタ・ローカルユニット用FBから2枚目以降用のFBを作成する必要があります。

2枚目以降用のFBの作成には4つの作業が必要で、概要を以下に列挙します。

- 1) ネットワークパラメータの入力
- 2) グローバルラベルの設定
- 3) 2枚目用FBを作成するためのMELSOFT Libraryをコピー
- 4) 2枚目用FBを作成するためのデバイス置換

付録1.1 ネットワークパラメータの入力

① 2枚目用のネットワークパラメータの入力

2枚目用のネットワークパラメータを、以下のように設定してください。

項目	内容
ネットワーク種別	局種別を設定します。 「CC IE Field (マスタ局)」を選択します。
先頭 I/O No.	マスタ・ローカルユニットの先頭入出力番号を、16点単位で設定します。 「0020」を設定します。
ネットワーク No.	ネットワーク No. を設定します。 「2」を設定します。
総(子)局数	「1」を設定します。
モード	「オンライン(標準モード)」を設定します。

☐ ネットワーク構成設定を CC IE Field構成ウィンドウで設定する

	ユニット1	ユニット2	ユニット3	ユニット4
ネットワーク種別	CC IE Field(マスタ局)	CC IE Field(マスタ局)	なし	なし
先頭I/O No.	0000	0020		
ネットワークNo.	1	2		
総(子)局数	1	1		
グループNo.				
局番	0	0		
モード	オンライン(標準モード)	オンライン(標準モード)		
	ネットワーク構成設定	ネットワーク構成設定		
	ネットワーク動作設定	ネットワーク動作設定		
	リフレッシュパラメータ	リフレッシュパラメータ		
	割込み設定	割込み設定		
	局番をパラメータで設定	局番をパラメータで設定		

② 2 枚目用のネットワーク構成設定の設定

2 枚目用のネットワーク構成設定を、以下のように設定してください。

項目	内容
局番	1
局種別	「インテリジェントデバイス局」を設定します。
RX/R _Y 設定	以下のように設定します。 点数：32 先頭：0000
R _{Ww} /R _{Wr} 設定	以下のように設定します。 点数：1024 先頭：0000

ネットワーク構成を設定します。

割付方法
 点数／先頭
 先頭／最終

リフレッシュデバイスの表示欄の内容は、リフレッシュパラメータの設定内容に従って変更されます。
 リフレッシュパラメータを変更した場合は、リフレッシュパラメータを設定終了後、本画面を開きなおしてください。

台数	局番	局種別	RX/R _Y 設定			R _{Ww} /R _{Wr} 設定			リフレッシュデバイス				予約/エラー-無効局	
			点数	先頭	最終	点数	先頭	最終	RX	R _Y	R _{Ww}	R _{Wr}		
0	0	マスタ局												
1	1	インテリジェントデバイス局	32	0000	001F	1024	0000	03FF						設定なし

③ 2 枚目用のリフレッシュパラメータの設定

2 枚目用のリフレッシュパラメータを、以下のように設定してください。

項目	内容
特殊リレー(SB) リフレッシュデバイス	特殊リレー(SB)の先頭デバイス No.を設定します。 「SB200」を設定します。
特殊レジスタ(SW) リフレッシュデバイス	特殊レジスタ(SW)の先頭デバイス No.を設定します。 「SW200」を設定します。
リモート入力(RX) リフレッシュデバイス	リモートユニットに割り当てるリモート入力(RX)の先頭デバイス No.を設定します。 「X1800」を設定します。
リモート出力(RY) リフレッシュデバイス	リモートユニットに割り当てるリモート出力(RY)の先頭デバイス No.を設定します。 「Y1800」を設定します。
リモートレジスタ(RW _r) リフレッシュデバイス	リモートユニットに割り当てるリモートレジスタ(RW _r)の先頭デバイス No.を設定します。 「WB00」を設定します。
リモートレジスタ(RW _w) リフレッシュデバイス	リモートユニットに割り当てるリモートレジスタ(RW _w)の先頭デバイス No.を設定します。 「W1000」を設定します。

割付方法

点数/先頭
 先頭/最終

	リンク側					CPU側			
	デバイス名	点数	先頭	最終		デバイス名	点数	先頭	最終
SB転送	SB	512	0000	01FF	↔	SB	512	0200	03FF
SW転送	SW	512	0000	01FF	↔	SW	512	0200	03FF
転送1	RX	2048	0000	07FF	↔	X	2048	1800	1FFF
転送2	RY	2048	0000	07FF	↔	Y	2048	1800	1FFF
転送3	RW _r	1280	0000	04FF	↔	W	1280	000B00	000FFF
転送4	RW _w	1280	0000	04FF	↔	W	1280	001000	0014FF
転送5					↔				
転送6					↔				
転送7					↔				
転送8					↔				

デフォルト チェック 設定終了 キャンセル

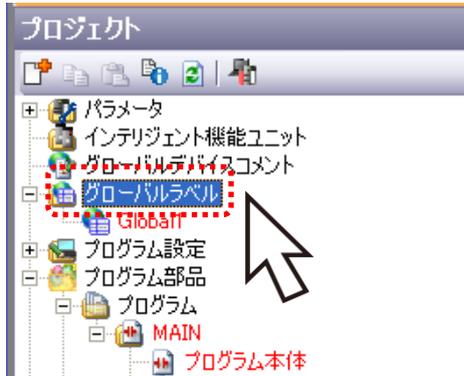
付録1.2 グローバルラベルの設定

2枚目で使用するグローバルラベルを入力します。

1枚目で使用するラベル名と2枚目で使用するラベル名が同一にならないように定義します。

以下では2枚目のグローバルラベルの設定を説明します。

(1)ナビゲーションウィンドウのプロジェクトタブにある「グローバルラベル」を選択します。



(2)M_RY2 リモート出力(RY)の設定を行います。

項目	内容
クラス	「VAR_GLOBAL」を選択します。
ラベル名	「M_RY2」を入力します。
データ型	「ビット」を選択します。
デバイス	付録 1.1 にて入力したリモート出力(RY)に「Z9」を付加して入力します。 「Y1800Z9」を入力します。

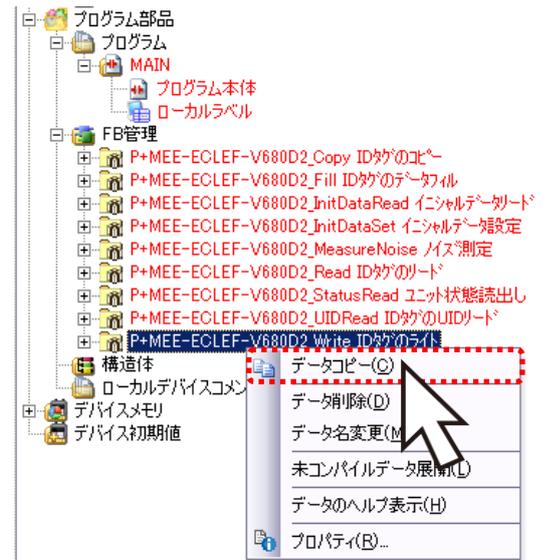
(3)M_RWw2 リモートレジスタ(RWw)の設定を行います。

項目	内容
クラス	「VAR_GLOBAL」を選択します。
ラベル名	「M_RWw2」を入力します。
データ型	「ワード[符号付き]」を選択します。
デバイス	付録 1.1 にて入力したリモート出力(RWw)に「Z8」を付加して入力します。 「W1000Z8」を入力します。

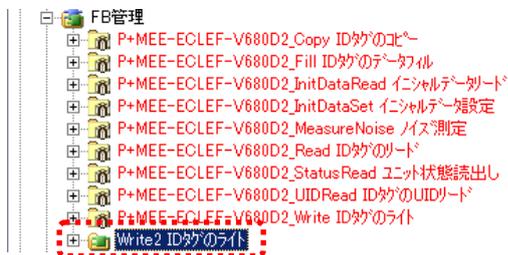
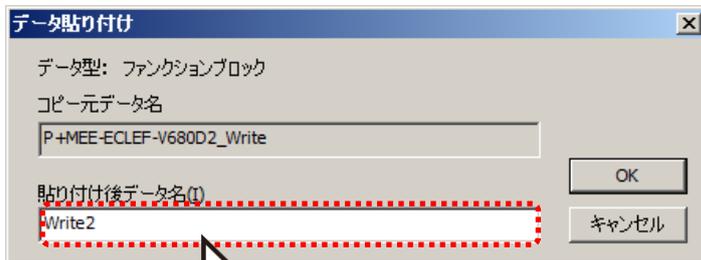
	クラス	ラベル名	データ型	定数値	デバイス	コメント
1	VAR_GLOBAL	M_RY	ビット	...	Y1 000Z9	R/Yリフレッシュデバイス
2	VAR_GLOBAL	M_RWw	ワード[符号付き]	...	W6 00Z8	RWwリフレッシュデバイス
3	VAR_GLOBAL	M_RY2	ビット	...	Y1 800Z9	R/Yリフレッシュデバイス
4	VAR_GLOBAL	M_RWw2	ワード[符号付き]	...	W1 000Z8	RWwリフレッシュデバイス
5				...		

付録1.3 2 枚目用 FB を作成するための MELSOFT Library をコピー

(1)ナビゲーションウィンドウのプロジェクトタブにある、2 枚目用に必要な FB を選択して、データコピーします。



(2)ナビゲーションウィンドウのプロジェクトタブにある、【FB 管理】に、先にコピーした FB をデータ貼り付けすると、貼り付け後の FB 名称を入力する画面が表示されるので、貼り付け後の FB 名称を入力します。(例:Write2)

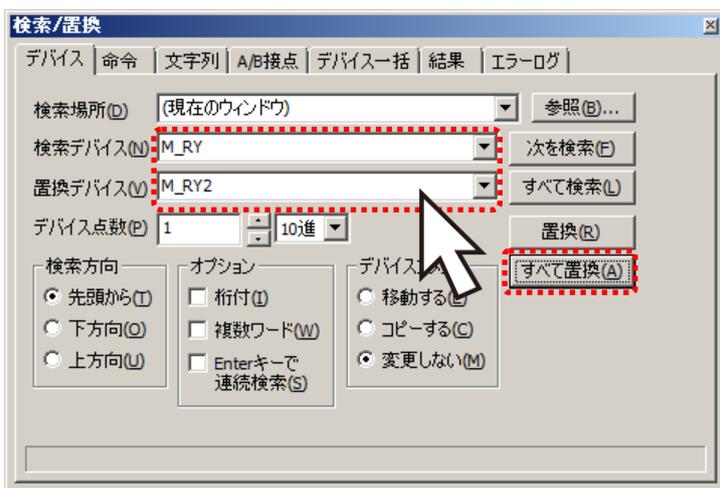
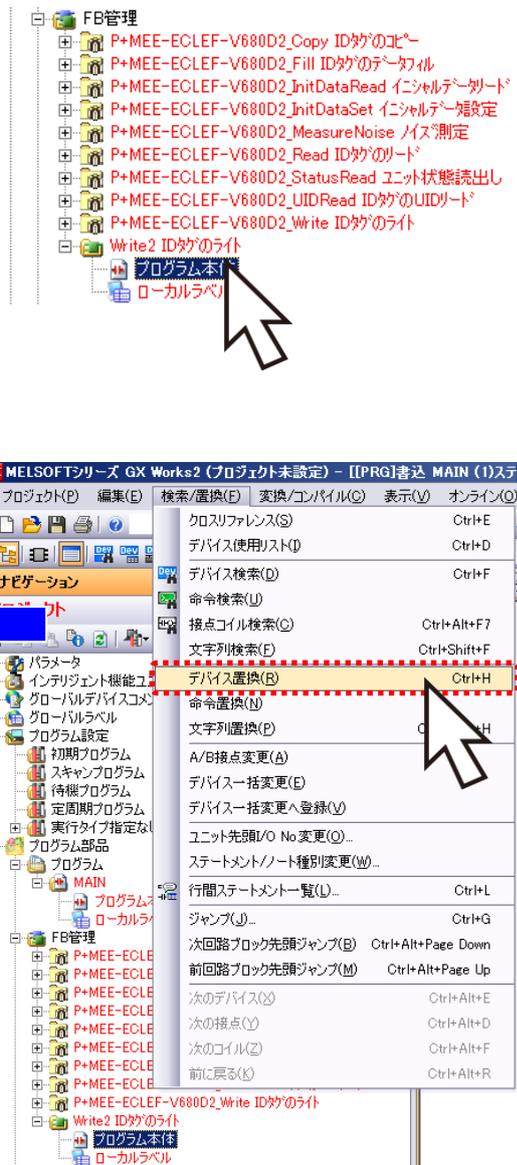


【ポイント】

※P+. . . の“+”という文字は入力することができません。

付録1.4 2 枚目用 FB を作成するためのデバイス置換

- (3) コピーした FB の M_RY と M_RWw をデバイス一括置換します。
 追加した FB の「プログラム本体」を開き、メニューの「検索/置換 (E)」を選択、「デバイス置換 (R)」を選択し、「検索/置換」画面を表示します。
 検索場所を「(現在のウィンドウ)」検索デバイスを「M_RY」置換デバイスを「M_RY2」に指定し、デバイス一括置換します。
 また、「M_RWw」も同様に「M_RWw2」にデバイス一括置換してください。



以上で 2 枚目の CC-Link マスタ・ローカル用 FB の使用が可能になります。

【ポイント】

- ① 2 枚目の CC-Link マスタ・ローカルユニットで使用する FB が複数ある場合には (2)と(3)の手順を繰り返してください。
- ② 3 枚以上の CC-Link マスタ・ローカルユニットで FB を使用する場合には、設定する「グローバルラベル名」・FB のデータ貼り付けする際の「貼り付け後データ名」、デバイスを置換する際の「置換デバイス」を 1 枚目、2 枚目と重複しないよう設定してください。

【注意事項】

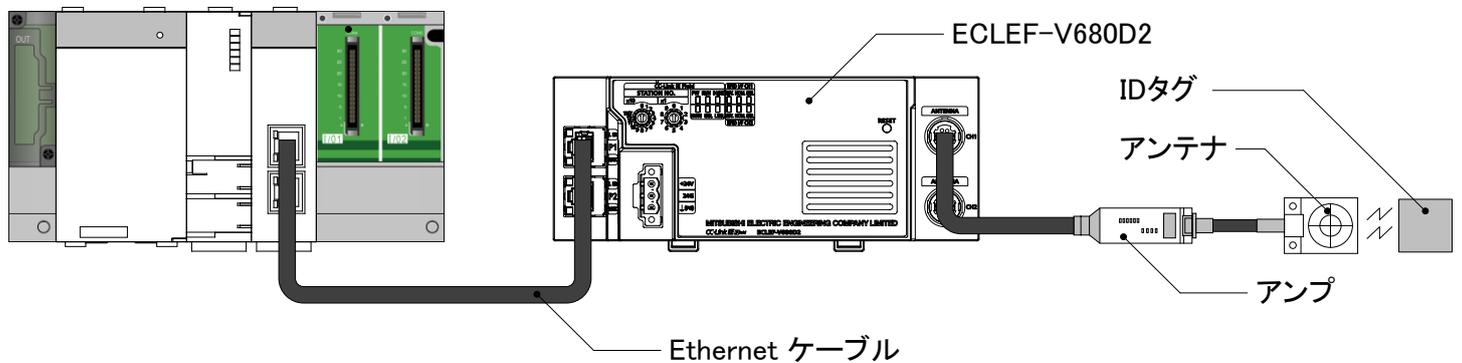
MELSOFT Library のバージョンアップがあったとき、MELSOFT Library の FB は再度、インポートを行うことでバージョンアップを行うことができますが、今回の手順で作成した 2 枚目以降用 FB は再度インポートを行っても、バージョンアップを行うことができません。

そのため、今回の手順で作成した FB をバージョンアップする場合には、MELSOFT Library のバージョンアップ後、再度、この作業を行うことで、バージョンアップを行います。

付録2. FB ライブラリ使用例

CC-Link IE Field Network システムを利用して、ID タグヘデータ書込みする場合の使用例です。

(1)システム構成



(2)デバイス使用一覧

■外部入力(指令)

デバイス	FB 名称	用途(ON 時の内容)
M1000	P+MEE-ECLEF-V680D2_InitDataSet	イニシャルデータ設定指令
M1002		イニシャルデータ設定指令保持
M1010	P+MEE-ECLEF-V680D2_Read	ID タグのリード指令
M1011		ID タグのリード結果受信
M1012		ID タグのリード指令保持
M1020	P+MEE-ECLEF-V680D2_Write	ID タグのライト指令
M1021		ID タグのライト結果受信
M1022		ID タグのライト指令保持
M1030	P+MEE-ECLEF-V680D2_Fill	ID タグのデータフィル指令
M1031		ID タグのデータフィル結果受信
M1032		ID タグのデータフィル指令保持
M1040	P+MEE-ECLEF-V680D2_UIDRead	ID タグの UID リード指令
M1041		ID タグの UID リード結果受信
M1042		ID タグの UID リード指令保持
M1050	P+MEE-ECLEF-V680D2_MeasureNoise	ノイズ測定指令
M1051		ノイズ測定指令保持
M1060	P+MEE-ECLEF-V680D2_InitDataRead	イニシャルデータリード指令
M1061		イニシャルデータリード指令保持

デバイス	FB 名称	用途(ON 時の内容)
M1070	P+MEE-ECLEF-V680D2_StatusRead	ユニット状態読出し指令
M1071		ユニット状態読出し指令保持
M1080	P+MEE-ECLEF-V680D2_Copy	ID タグ間のコピー指令
M1081		ID タグ間のコピー指令保持
M1200	P+MEE-ECLEF-V680D2_InitDataSet P+MEE-ECLEF-V680D2_Read P+MEE-ECLEF-V680D2_Write P+MEE-ECLEF-V680D2_Fill P+MEE-ECLEF-V680D2_UIDRead P+MEE-ECLEF-V680D2_MeasureNoise P+MEE-ECLEF-V680D2_InitDataRead P+MEE-ECLEF-V680D2_StatusRead P+MEE-ECLEF-V680D2_Copy	インタロック用接点 (2 個以上の FB が同時に実行されないようにします。)

■外部入力(データ)

デバイス	FB 名称	用途(ON 時の内容)
D2300～ D2303	P+MEE-ECLEF-V680D2_Write	ID タグに書込むデータを指定します。(最大 61 ワード)

■外部出力(確認)

デバイス	FB 名称	用途(ON 時の内容)	
D1000	P+MEE-ECLEF-V680D2_InitDataSet	イニシャルデータ設定時、FB エラーコード格納	
D1001		イニシャルデータ設定時、ユニットエラーコード格納	
M1003		イニシャルデータ設定時、FB 実行中	
M1004		イニシャルデータ設定時、FB 正常完了	
M1005		イニシャルデータ設定時、FB 異常完了	
M1006		イニシャルデータ設定時、ユニットエラー	
D1010		P+MEE-ECLEF-V680D2_Read	ID タグのリード時、FB エラーコード格納
D1011	ID タグのリード時、ユニットエラーコード格納		
D1200～ D1203	ID タグから読出したデータを格納します。(最大 61 ワード)		
M1013	ID タグのリード時、FB 実行中		
M1014	ID タグのリード時、FB 正常完了		
M1015	ID タグのリード時、FB 異常完了		
M1016	ID タグのリード時、ユニットエラー		
M1017	ID タグのリード時、ID 交信完了		
D1020	P+MEE-ECLEF-V680D2_Write		ID タグのライト時、FB エラーコード格納

デバイス	FB 名称	用途(ON 時の内容)
D1021		ID タグのライト時、ユニットエラーコード格納
M1023		ID タグのライト時、FB 実行中
M1024		ID タグのライト時、FB 正常完了
M1025		ID タグのライト時、FB 異常完了
M1026		ID タグのライト時、ユニットエラー
M1027		ID タグのライト時、ID 送信完了
D1030		P+MEE-ECLEF-V680D2_Fill
D1031	ID タグのデータフィル時、ユニットエラーコード格納	
M1033	ID タグのデータフィル時、FB 実行中	
M1034	ID タグのデータフィル時、FB 正常完了	
M1035	ID タグのデータフィル時、FB 異常完了	
M1036	ID タグのデータフィル時、ユニットエラー	
M1037	ID タグのデータフィル時、ID 送信完了	
D1040	P+MEE-ECLEF-V680D2_UIDRead	ID タグの UID リード時、FB エラーコード格納
D1041		ID タグの UID リード時、ユニットエラーコード格納
D1042～ D1045		ID タグの UID リード時、ID タグ UID 格納 (4 ワード)
M1043		ID タグの UID リード時、FB 実行中
M1044		ID タグの UID リード時、FB 正常完了
M1045		ID タグの UID リード時、FB 異常完了
M1046		ID タグの UID リード時、ユニットエラー
M1047		ID タグの UID リード時、ID 送信完了
D1050		P+MEE-ECLEF-V680D2_MeasureNoise
D1051	ノイズ測定時、ユニットエラーコード格納	
D1052～ D1054	ノイズ測定時、測定結果格納 (3 ワード)	
M1052	ノイズ測定時、FB 実行中	
M1053	ノイズ測定時、FB 正常完了	
M1054	ノイズ測定時、FB 異常完了	
M1055	ノイズ測定時、ユニットエラー	
D1060	P+MEE-ECLEF-V680D2_InitDataRead	イニシャルデータリード時、FB エラーコード格納
D1061		イニシャルデータリード時、送信指定格納
D1062		イニシャルデータリード時、送信設定格納
D1063		イニシャルデータリード時、処理指定格納
D1064		イニシャルデータリード時、オート系コマンド待ち時間設定格納
M1062		イニシャルデータリード時、FB 実行中



デバイス	FB 名称	用途(ON 時の内容)	
M1063		イニシャルデータリード時、FB 正常完了	
M1064		イニシャルデータリード時、FB 異常完了	
D1070	P+MEE-ECLEF-V680D2_StatusRead	ユニット状態読出し時、FB エラーコード格納	
D1071		ユニット状態読出し時、ユニット状態格納 (CH1)	
D1072		ユニット状態読出し時、ユニット状態格納 (CH2)	
M1072		ユニット状態読出し時、FB 実行中	
M1073		ユニット状態読出し時、FB 正常完了	
M1074		ユニット状態読出し時、FB 異常完了	
D1080		P+MEE-ECLEF-V680D2_Copy	ID タグ間のデータコピー時、FB エラーコード格納
D1081			ID タグ間のデータコピー時、ユニットエラーコード格納
M1082	ID タグ間のデータコピー時、FB 実行中		
M1083	ID タグ間のデータコピー時、FB 正常完了		
M1084	ID タグ間のデータコピー時、FB 異常完了		
M1085	ID タグ間のデータコピー時、ユニットエラー		

■共通設定

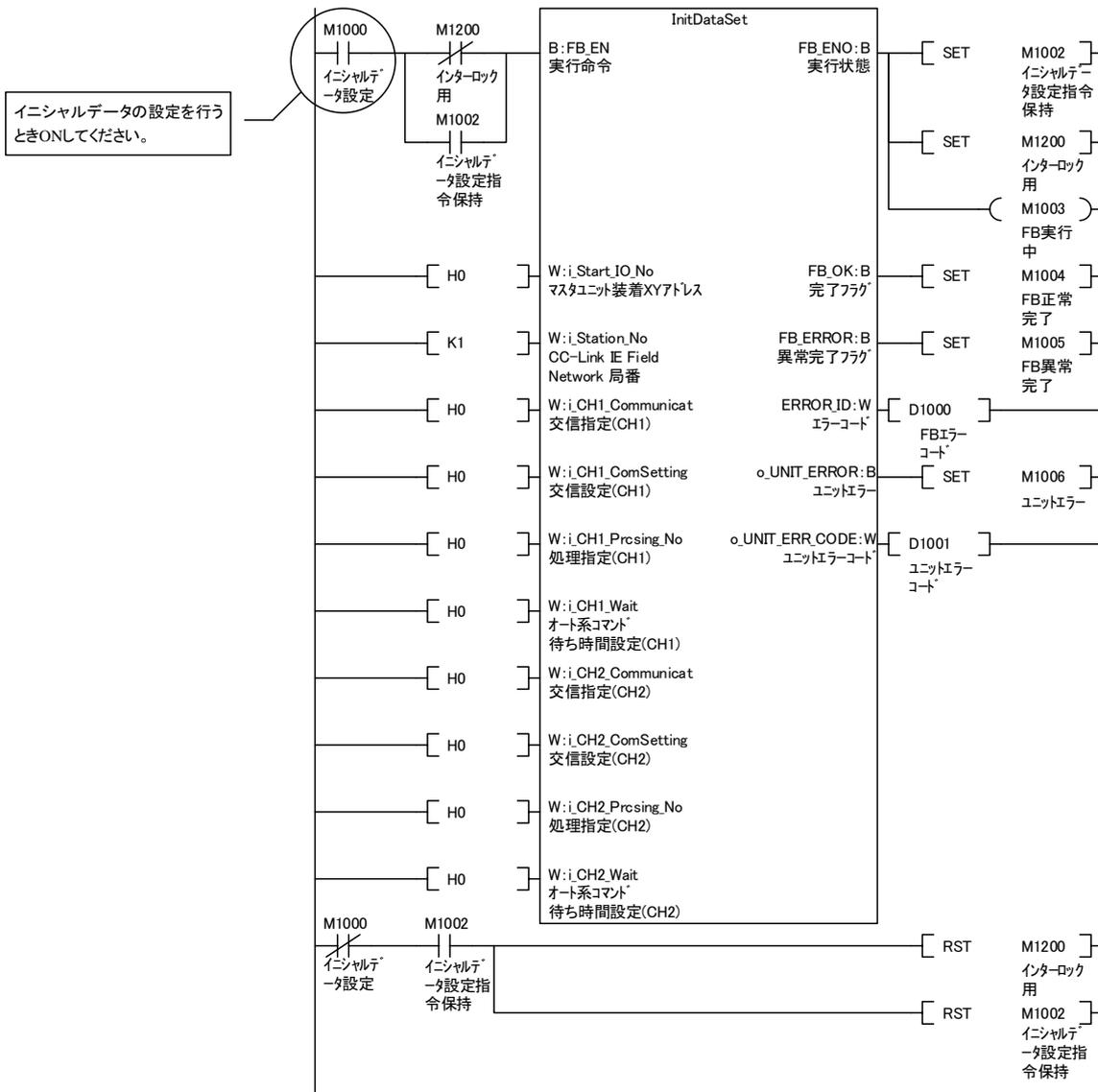
入出力項目	値	説明
マスタユニット装着 XY アドレス	H0	通信を行う CC-Link IE Field Network システムマスタ・ローカルユニットが装着されている先頭 XY アドレスを指定します。
CC-Link IE Field Network 局番	K1	接続する RFID システムの局番を入力します。
オート系コマンド待ち時間設定	K0	本使用例では、i_Communication(交信指定)が 2(リピートオート)の場合に、ID タグの検出待ち時間を 0.1 秒単位で指定します。本使用例では、ID タグからの応答があるまで処理を継続します。

(5) プログラム

(a) P+MEE-ECLEF-V680D2_InitDataSet (イニシャルデータ設定)

次の条件でイニシャルデータの設定を行います。

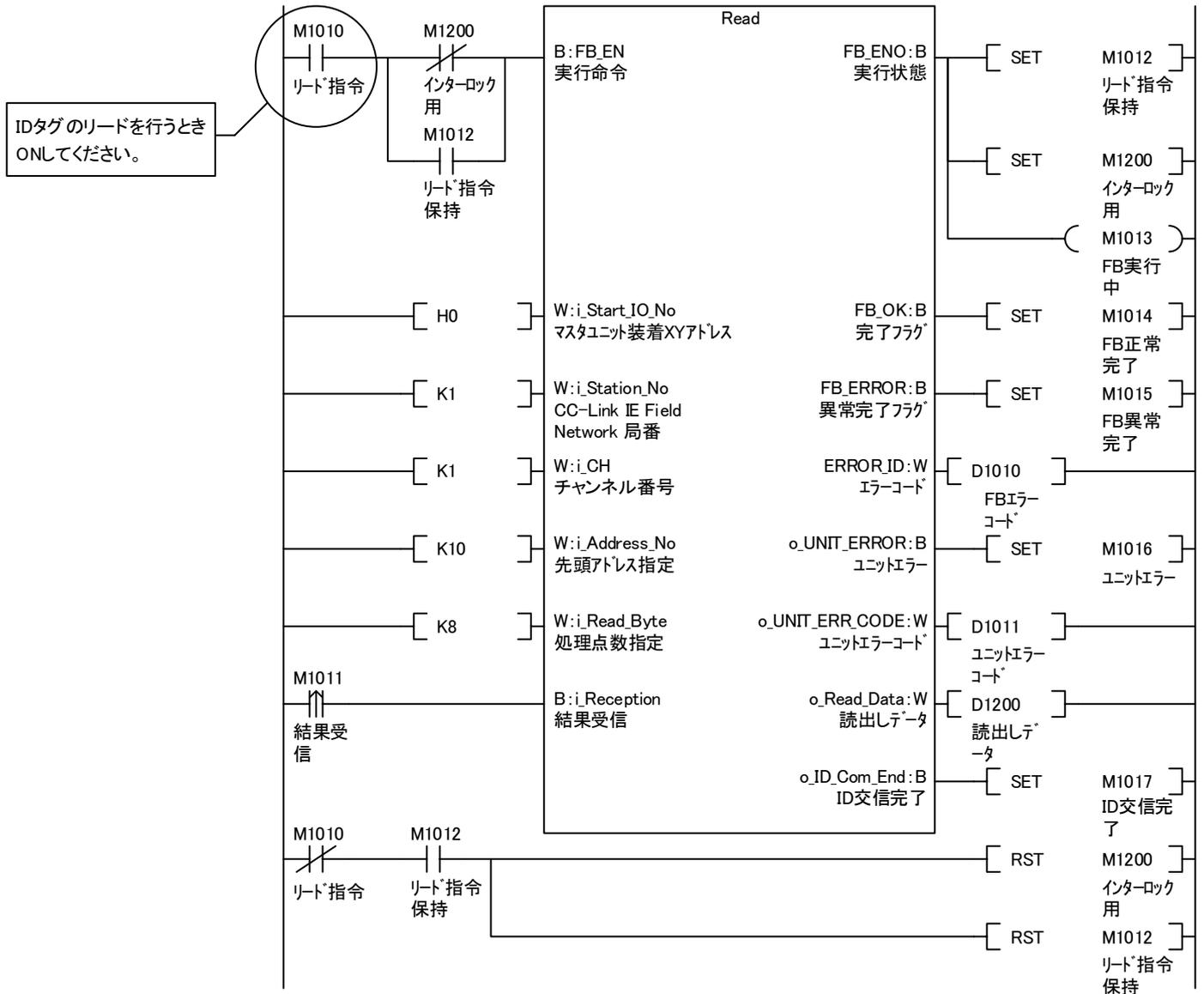
- ・マスタユニット装着 XY アドレス……………0
- ・CC-Link IE Field Network 局番……………1
- ・交信指定 ……………0 (トリガ)
- ・交信設定 ……………0 (ライトベリファイ設定 : 実行する
ID タグ交信速度設定 : 標準モード
ライトプロテクト設定 : 有効
リード/ライトデータコード設定: ASCII/HEX 変換なし)
- ・処理指定 ……………0
- ・オート系コマンド待ち時間設定 ……………0 (ID タグから応答があるまで検出待ちをします。)



(b) P+MEE-ECLEF-V680D2_Read (ID タグのリード)

次の条件で ID タグのリードを行います。

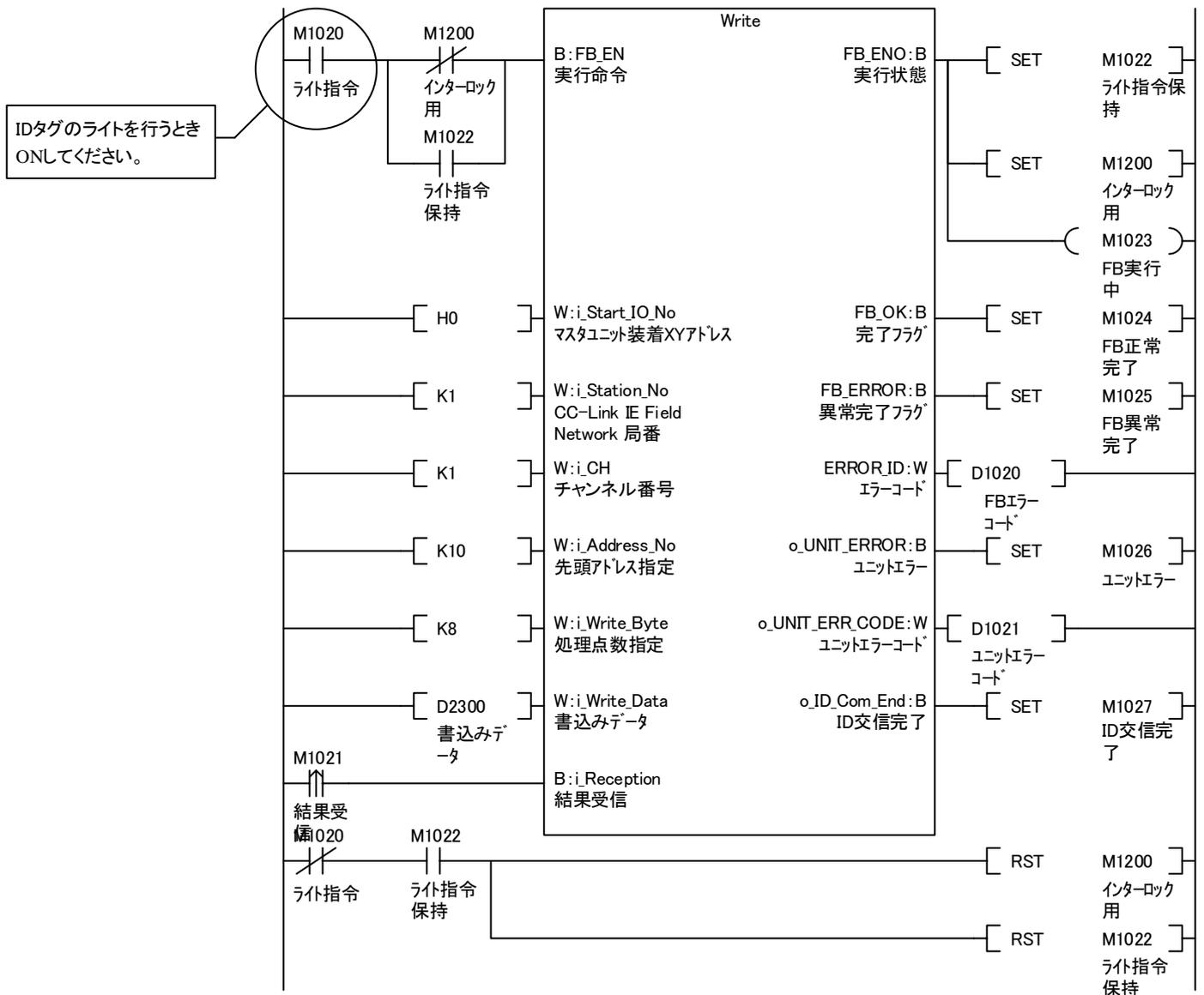
- ・マスタユニット装着 XY アドレス……………0
- ・CC-Link IE Field Network 局番……………1
- ・チャンネル番号……………1
- ・先頭アドレス指定……………10
- ・処理点数指定……………8 (8 バイト)



(c) P+MEE-ECLEF-V680D2_Write (ID タグのライト)

次の条件で ID タグのライトを行います。

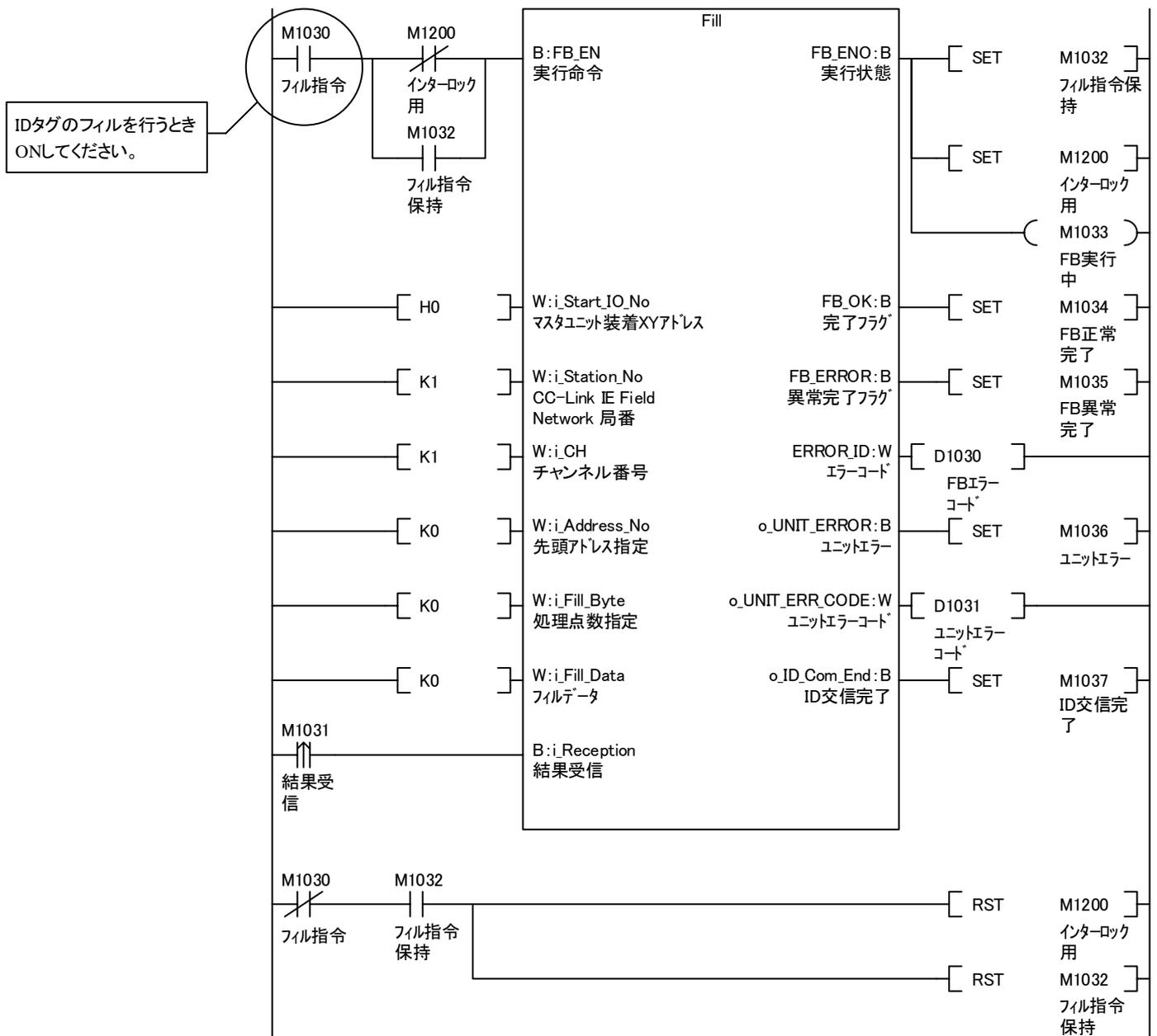
- ・マスタユニット装着 XY アドレス……………0
- ・CC-Link IE Field Network 局番……………1
- ・チャンネル番号……………1
- ・先頭アドレス指定……………10
- ・処理点数指定……………8 (8 バイト)
- ・書き込みデータ……………D2300~D2303



(d) P+MEE-ECLEF-V680D2_Fill (ID タグのデータフィル)

次の条件で ID タグのデータフィルを行います。

- ・マスタユニット装着 XY アドレス……………0
- ・CC-Link IE Field Network 局番……………1
- ・チャンネル番号……………1
- ・先頭アドレス指定……………0
- ・処理点数指定……………0 (全データ指定)
- ・フィルデータ……………0

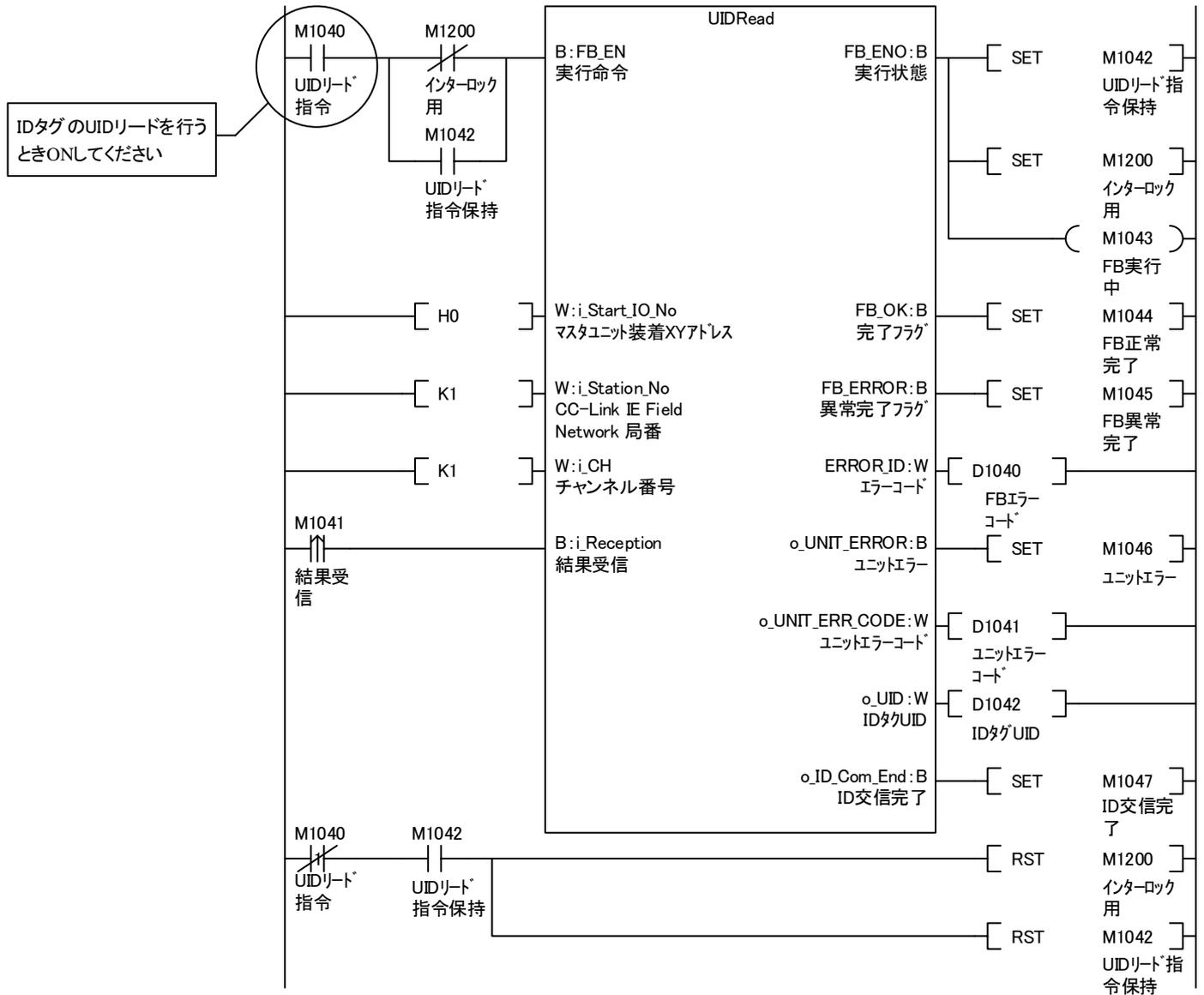


IDタグのフィルを行うとき ONしてください。

(e) P+MEE-ECLEF-V680D2_UIDRead (ID タグの UID リード)

次の条件で ID タグの UID リードを行います。

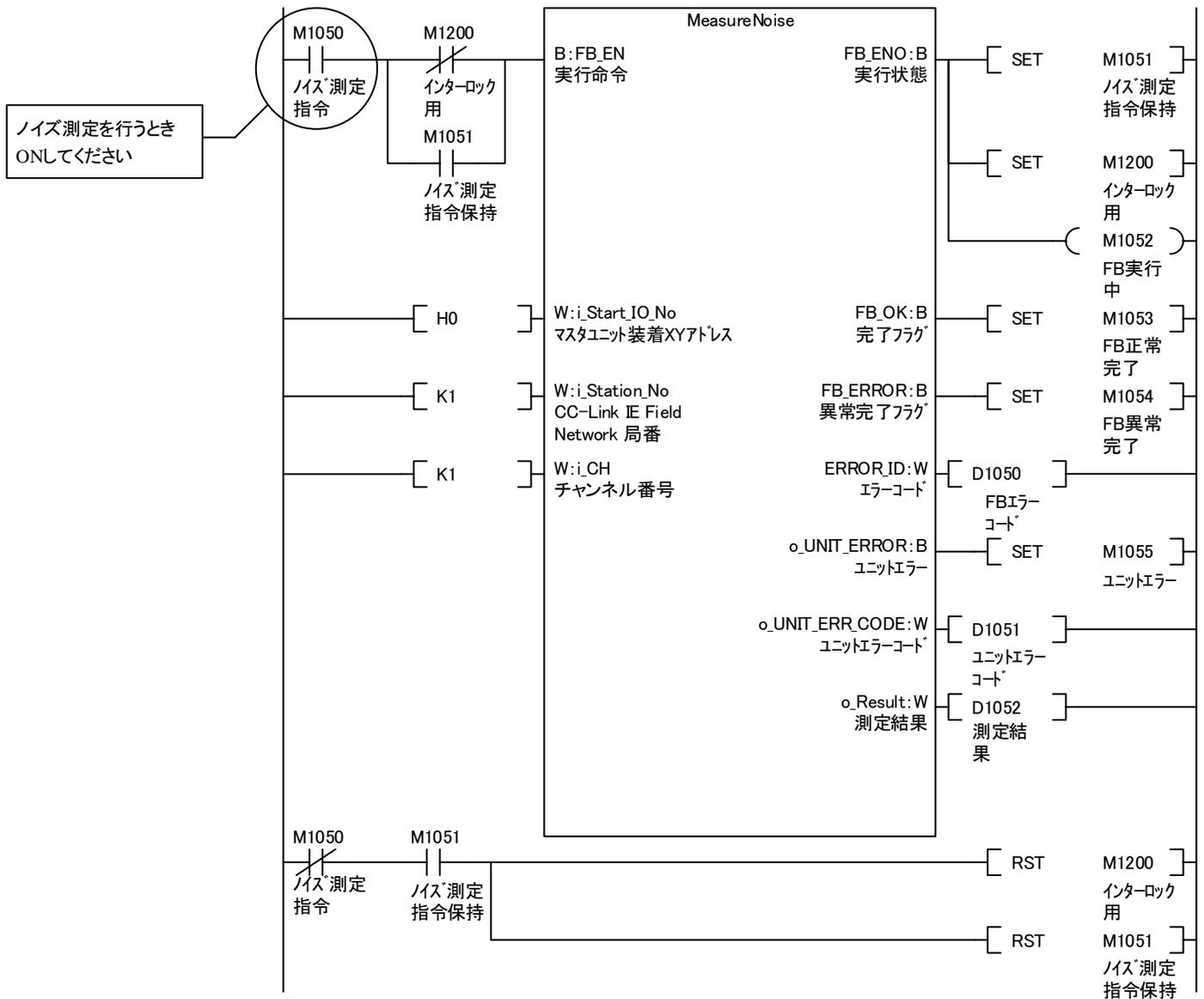
- ・マスタユニット装着 XY アドレス……………0
- ・CC-Link IE Field Network 局番……………1
- ・チャンネル番号……………1



(f) P+MEE-ECLEF-V680D2_MeasureNoise (ノイズ測定)

次の条件でノイズ測定を行います。

- ・マスタユニット装着 XY アドレス……………0
- ・CC-Link IE Field Network 局番……………1
- ・チャンネル番号……………1

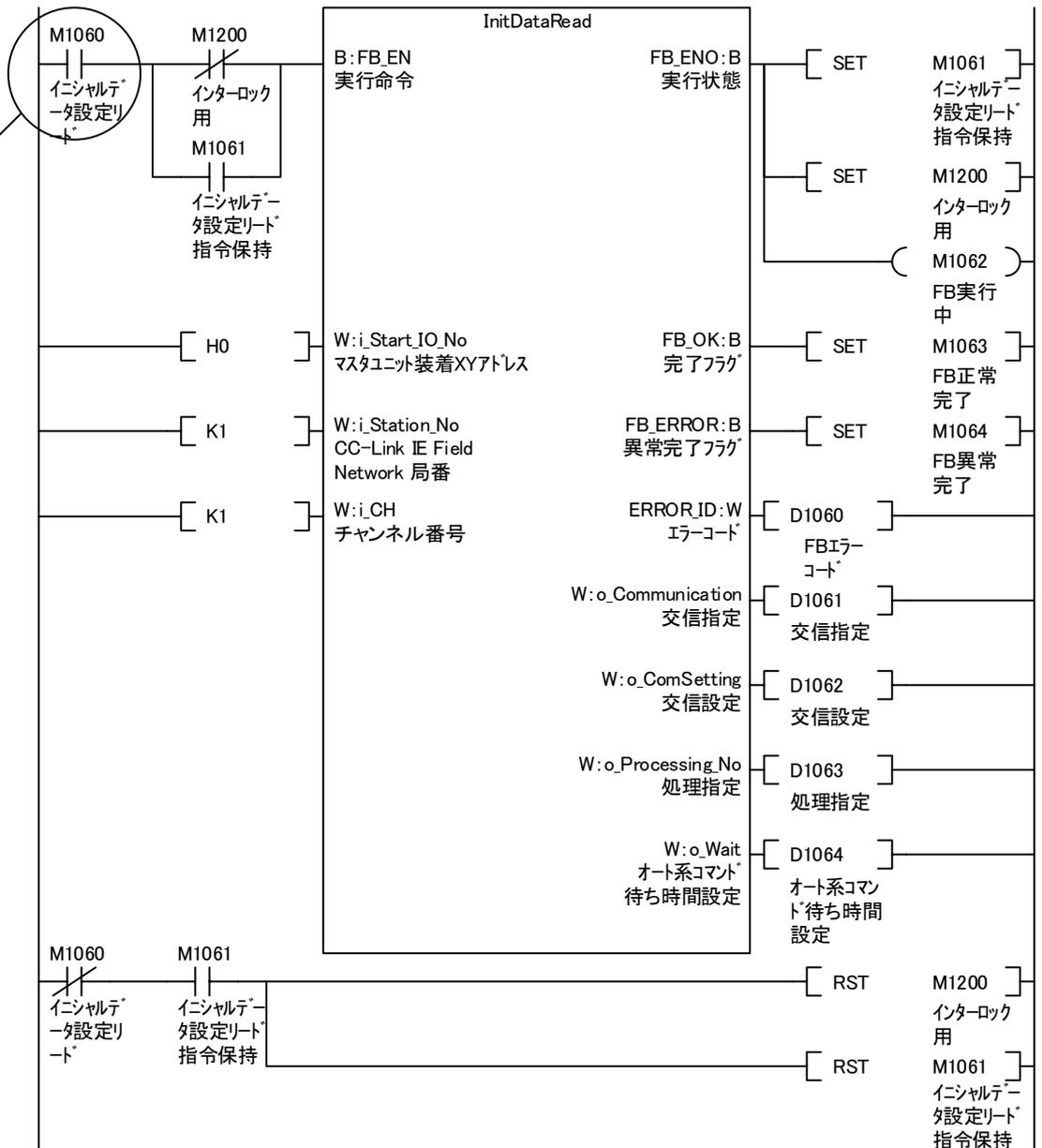


(g) P+MEE-ECLEF-V680D2_InitDataRead (イニシャルデータリード)

次の条件でイニシャルデータを読み出します。

- ・マスタユニット装着 XY アドレス……………0
- ・CC-Link IE Field Network 局番……………1
- ・チャンネル番号……………1

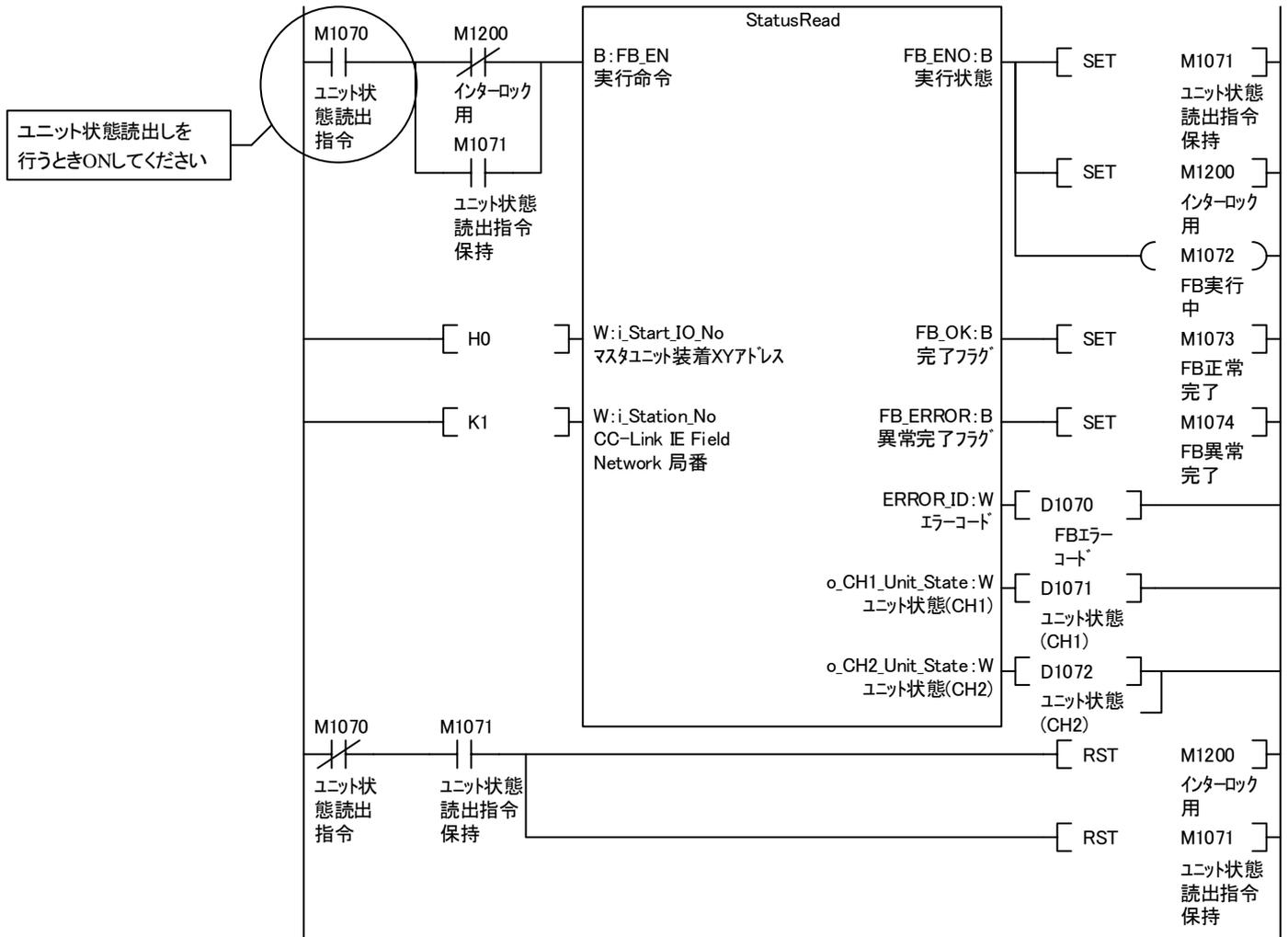
イニシャルデータの
リードを行うときONして
ください



(h) P+MEE-ECLEF-V680D2_StatusRead (ユニット状態読出し)

次の条件でユニット状態を読出します。

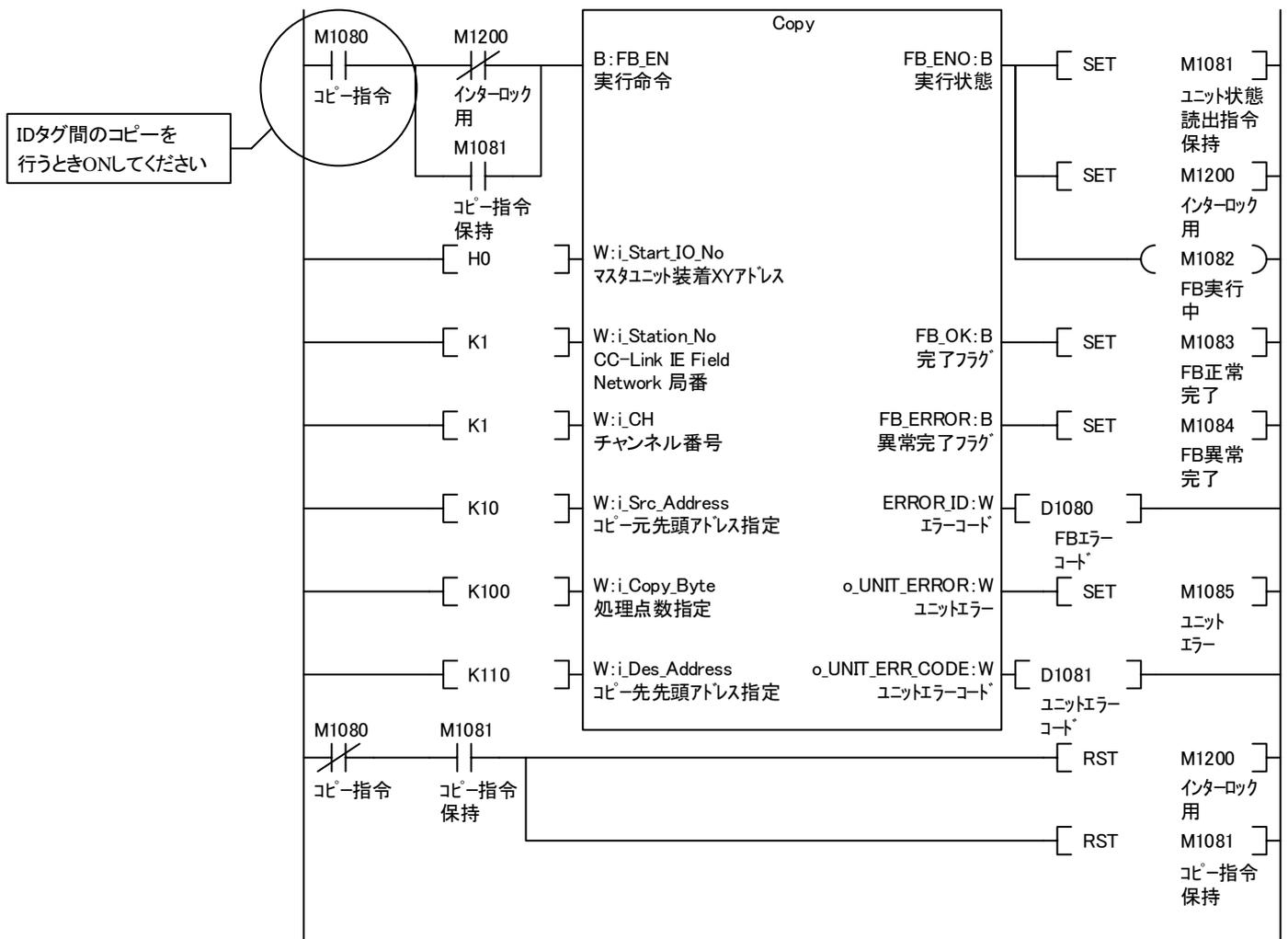
- ・マスタユニット装着 XY アドレス……………0
- ・CC-Link IE Field Network 局番……………1



(i) P+MEE-ECLEF-V680D2_Copy (ID タグ間のコピー)

次の条件で ID タグ間のコピーを行います。

- ・マスタユニット装着 XY アドレス……………0
- ・CC-Link IE Field Network 局番……………1
- ・チャンネル番号……………1
- ・コピー元先頭アドレス指定 ……………10
- ・処理点数指定 ……………100 (100 バイト)
- ・コピー先先頭アドレス指定 ……………110



三菱電機エンジニアリング株式会社

営業統括部

〒102-0073 東京都千代田区九段北1-13-5(ヒューリック九段ビル)
TEL(03)3288-1743

東日本営業支社 TEL(03)3288-1743

中日本営業支社 TEL(052)565-3435

西日本営業支社 TEL(06)6347-2926

中 四 国 支 店 TEL(082)248-5390

九 州 支 店 TEL(092)721-2202

技術お問い合わせ

名古屋事業所 技術サポート

TEL(0568)36-2068

受付/9:00~12:00, 13:00~17:00 月曜~金曜
(土・日・祝日, 春季・夏季・年末年始の休日を除く通常業務日)

三菱電機エンジニアリング株式会社FA機器の最新情報を掲載
スマート工場実現に向けトータルソリューションでサポートします

MEEFAN

検索



<https://www.mee.co.jp/sales/fa/meefan/>

形名	ECLEF-V680D-M1QF1J
	50CM-D180203-B(2309)MEE